社　　会
(歴史的分野)

発行者の番号 略　　称	教科書の記号 番　　号	総ページ数	検定済年
2　東　　書	歴史　721	276	平成23年
17　教　　出	歴史　722	286	
35　清　　水	歴史　723	312	
46　帝　　国	歴史　724	280	
116　日　　文	歴史　725	288	
225　自由社	歴史　727	288	
227　育鵬社	歴史　728	290	

１　調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊　数	発　行　者　の　略　称
７　冊	**東書、教出、清水、帝国、日文、自由社、育鵬社**

２　学習指導要領における教科・分野の目標等

【社会科の目標】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【歴史的分野の目標】

(1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。

(2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。

(3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。

(4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

【参考・中学校学習指導要領解説　社会編　第１章「総説」　第３節「改訂の要点」から抜粋】

(2) 各分野の改訂の要点

＜歴史的分野＞

歴史的分野における改訂の要点は、主に次の５点である。

ア　「我が国の歴史の大きな流れ」を理解する学習の一層の重視

基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得の重視という趣旨を踏まえて、「我が国の歴史の大きな流れ」を理解するための学習を一層重視した。

（ア）「我が国の歴史の大きな流れ」を理解という目標の一層の明確化

（イ）学習内容の構造化と焦点化

（ウ）各時代の特色をとらえる学習の新設

（エ）古代までの学習の大観化

イ　歴史について考察する力や説明する力の育成

中教審答申が示す言語活動の充実という趣旨を踏まえて、時代の特色や時代の転換について考えたり表現したりする学習を行うようにした。

（ア）政治面などの変革の特色を考えて時代の転換の様子をとらえる学習

（イ）時代の区分やその移り変わりに気付く学習

（ウ）思考・判断・表現する学習と確かな理解

ウ　近現代学習の一層の重視

従前は、内容の「（５）近現代の日本と世界」という単一の大項目であったものを、「（５）近代の日本と世界」と「（６）現代の日本と世界」の二つの大項目として構成した。これは、近現代の学習を一層重視し、現代の社会についての理解が深まるように配慮したものである。

エ　様々な伝統や文化の学習の重視

内容の（１）の「イ　身近な地域の歴史を調べる活動」において、具体的な事柄を通して受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めるようにした。それとともに、各時代の文化をはじめとする学習において、伝統や文化の特色の理解につながるような学習内容を一層重視した。

オ　我が国の歴史の背景となる世界の歴史の扱いの充実

我が国の歴史の大きな流れの理解のために、その背景となる世界の歴史の扱いを充実させた。また、国際関係が重きを占める近現代の学習を重視することで、我が国の歴史の展開を世界の動きと一層関連付けて学習するようにした。

3　教科書の調査研究

（1）　内容

ア　調査研究の総括表（調査結果は**「別紙１」**）

調　査　研　究　事　項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 時代区分別のページ数、割合	歴史・目標（１）	ページ数、％
b 歴史上の人物を取り上げている箇所数	歴史・目標（２）	箇所
c 現在に伝わる文化遺産を取り上げている箇所数	歴史・目標（２）	箇所
d 国際関係・文化交流を取り上げている箇所数	歴史・目標（３）	箇所
e 世界の歴史について取り上げた箇所数	歴史 学習指導要領改訂の要点 オ	箇所
f 東京に関する歴史的事象(身近な地域の歴史)を取り上げている箇所数	歴史・目標（２）（４）	箇所
g 言語活動を取り上げている箇所数	歴史・目標（１）（４） 社会科改訂の趣旨 （２）言語活動の充実	箇所

イ　調査項目の具体的な内容（調査結果は**「別紙２」**）

①　調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項のｂ、ｃ、ｄ、ｆ、ｇとの関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

ｂ　歴史上の人物名と主な業績等
ｃ　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目
ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目
ｆ　東京に関する歴史的事象を取り上げている内容
ｇ　言語活動を取り上げている事例の内容
＊　我が国の領域をめぐる問題の扱い
＊　神話・伝承を知り、日本の文化や伝統に関心をもたせる資料
＊　北朝鮮による拉致問題の扱い

②　調査対象事項を設定した理由等

歴史的分野の学習では、歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てることをねらいとしている。調査研究の総括表で取り上げた事項の内容を、具体的に調査することにより、各社の方針を明確にする。

より深めたり、あるいは国民としての自覚を育てたりするために、歴史的分野の学習においては、歴史上の人物、文化遺産、我が国の歴史に見られる国際関係や文化交流について、目標の(1)(2)(3)(4)により取り上げていることが多い。したがって、これらの事項について記述されている箇所数を調査するとともに、各時代の人物や歴史的事象（事項）の内容を調査し、比較することとした。

また、東京都教育委員会の教育目標の基本方針１「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」により、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて、扱い方、取り上げている項目、記述の概要を調査した。

そして、学習指導要領の内容の取扱いにより、考古学などの成果を活用するとともに、神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるように留意するため、神話や伝承を知り、日本の文化や伝統に関心をもたせる資料について、取り上げている資料名、記述の概要を調査した。

③　調査研究の方法

b　歴史上の人物名とその主な業績等を抽出し、時代区分により整理する。

c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目を、時代区分により分類整理する。

d　国際関係や文化交流を示す事項を、アジア諸国とそれ以外の国々との関係に時代区分により分類整理する。

f　東京に関する歴史的事象を取り上げている内容を調査する。

「身近な地域の歴史や具体的な事象の学習」については、これらを取り上げることでその時代の様子を実感させ、生徒の歴史に対する興味・関心を高めることが求められることから調査する。

g　言語活動を取り上げている事例の内容を整理する。

必要な資料を選択して有効に活用することで、歴史的事象を一面的にとらえるのではなく、様々な角度から考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育成することは大切であることから、言語活動として取り上げている内容を調査する。

＊　我が国の領域をめぐる問題の扱いについて

学習指導要領の内容の取扱い「近代の日本と世界」において、「領土の画定などを取り扱うようにすること」から、我が国の領域をめぐる問題について正しく理解できるようにするため、北方領土、竹島等に関する記述の概要を調査する。

＊　神話・伝承を知り、日本の文化や伝統に関心をもたせる資料について

学習指導要領の内容の取扱い「神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせる」ことにより、その扱いの有無、取り上げている資料、記述の概要を調査する。

＊　北朝鮮による拉致問題の扱いについて

東京都教育委員会教育目標の基本方針１「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」により、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて、扱い方、取り上げている項目、記述の概要を調査する。

（２）構成上の工夫（調査結果は「別紙３」）

以下の観点により、箇条書きで記述する。

ア　資料等の活用と作業的、体験的な学習活動

学習指導要領の指導計画の作成と内容の取扱い「資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図るようにする」ことから、調査する。

イ　適切な課題を設けて行う学習

「生徒の主体的な学習を促し、課題を解決する能力を一層培う」ことから、調査する。

ウ　発展的な内容の扱い

学習指導要領第１章総則　第４指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項２（７）「生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、生徒の興味・関心等に応じた発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導」を行うとあることから、調査する。

エ　コンピュータや情報通信ネットワークの活用

「資料の収集、処理や発表などに当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるようにする」ことから、調査する。

「別紙１」【（１）内容　ア　調査研究の総括表】（中学校　社会　歴史的分野）

項目／発行者	a 時代区分別のページ数、割合						b 歴史上の人物を取り上げている箇所数						c 現在に伝わる文化遺産を取り上げている箇所数						d 国際関係・文化交流を取り上げている箇所数						e 世界の歴史について取り上げた箇所数				f 東京に関する歴史的事象（身近な地域の歴史）を取り上げている箇所数						g 言語活動を取り上げている箇所数					
	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近代の日本と世界	現代の日本と世界	計	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近代の日本と世界	現代の日本と世界	計	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近代の日本と世界	現代の日本と世界	計	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近代の日本と世界	現代の日本と世界	計	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	計	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近代の日本と世界	現代の日本と世界	計	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近代の日本と世界	現代の日本と世界	計
東　書	40 16.9%	32 13.5%	42 17.7%	92 38.8%	31 13.1%	237	58	79	122	134	52	445	173	106	187	210	12	688	23	12	25	82	32	174	31	7	14	52	2	2	19	27	11	61	15	12	18	39	11	95
教　出	40 15.7%	36 14.2%	44 17.3%	102 40.2%	32 12.6%	254	45	96	124	137	19	421	159	120	166	166	12	623	22	16	22	82	25	167	29	12	15	56	1	2	19	33	11	66	15	18	18	49	15	115
清　水	52 19.3%	32 11.9%	56 20.7%	102 37.8%	28 10.4%	270	60	60	165	87	14	386	144	91	156	171	17	579	21	11	24	78	31	165	29	10	16	55	5	2	21	27	10	65	14	9	15	23	8	69
帝　国	38 15.6%	36 14.8%	52 21.3%	94 38.5%	24 9.8%	244	41	89	141	112	25	408	153	124	194	191	11	673	20	14	28	76	33	171	24	4	19	47	5	6	17	26	6	60	10	12	11	28	5	66
日　文	44 17.2%	36 14.1%	52 20.3%	96 37.5%	28 10.9%	256	56	83	129	134	9	411	135	93	162	156	10	556	20	10	20	69	23	142	29	7	15	51	4	2	17	28	12	63	17	13	18	37	11	96
自由社	54 22.1%	26 10.7%	42 17.2%	96 39.3%	26 10.7%	244	85	83	182	123	66	539	181	81	148	137	14	561	24	11	22	78	25	160	31	6	11	48	4	2	20	27	6	59	5	5	6	6	3	25
育鵬社	46 19.7%	26 11.2%	50 21.5%	90 38.6%	21 9.0%	233	82	104	218	215	69	688	195	89	199	209	21	713	24	12	24	91	26	177	24	4	11	39	3	4	20	34	9	70	3	3	3	6	3	18
平均値	44.9 18.1%	32.0 12.9%	48.3 19.5%	96.0 38.7%	27.1 10.9%	248.3	61.0	84.9	154.4	134.6	36.3	471.2	162.9	100.6	173.1	177.1	13.9	627.6	22.0	12.3	23.6	79.4	27.9	165.2	28.1	7.1	14.4	49.7	3.4	2.9	19.0	28.9	9.3	63.5	11.3	10.3	12.7	26.9	8.0	69.2

a　「時代区分別のページ数、割合」については、各社の教科書の目次から各時代区分のページ数を算出した。
b「歴史上の人物を取り上げている箇所数」については、時代区分別に、歴史上の人物について取り上げている箇所数を数えた。
c「現在に伝わる文化遺産を取り上げている箇所数」については、時代区分別に、文化遺産について記述している用語または箇所数を数えた。
d「国際関係・文化交流を取り上げている箇所数」については、時代区分別に、我が国と外国との国際関係・文化交流について記述している箇所数を数えた。
e「世界の歴史について取り上げた箇所数」については、時代区分別に、世界の歴史について記述している箇所数を数えた。
f「東京に関する歴史的事象（身近な地域の歴史）を取り上げている箇所数」については、時代区分別に、現在の東京都域内における歴史的事象について取り上げている箇所数を数えた。
g「言語活動を取り上げている箇所数」は、大項目別にそれぞれ学習活動として提示している言語活動の箇所数を数えた。

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　東　書　】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで

シャカ	（仏教）
イエス	（キリスト教）
ムハンマド	（イスラム教）
ハンムラビ王	（法律）
ユークリッド	（数学）
アルキメデス	（数学）
アレクサンドロス大王	（マケドニアの王）
アラー	（イスラム教唯一神）
孔子	（儒教）
始皇帝	（中国統一）
相沢忠洋	（岩宿遺跡）
倭の奴国の王	（金印）
卑弥呼	（邪馬台国女王）
光武帝	（金印）
桓帝	（後漢書）
霊帝	（後漢書）
好太王（広開土王）	（高句麗石碑）
讃	（倭の五王）
珍	（倭の五王）
済	（倭の五王）
興	（倭の五王）
ワカタケル大王・武	（鉄剣）
蘇我氏	（崇仏論争）
物部氏	（崇仏論争）
推古天皇	（女帝）
聖徳太子	（摂政）
蘇我馬子	（聖徳太子の政治）
小野妹子	（遣隋使）
天武天皇	（壬申の乱）
持統天皇	（藤原京）
中大兄皇子（天智天皇）	（大化の改新）
中臣（藤原）鎌足	（大化の改新）
蘇我蝦夷	（豪族）
蘇我入鹿	（豪族）
大友皇子	（壬申の乱）
長屋王	（貴族）
聖武天皇	（大仏建立）
光明皇后	（大仏建立）
行基	（大仏建立）
大伴家持	（万葉集）
阿倍仲麻呂	（唐の高官）
鑑真	（戒律）
桓武天皇	（平安京）
坂上田村麻呂	（征夷大将軍）
最澄	（天台宗）
空海	（真言宗）
菅原道真	（遣唐使廃止）
アテルイ	（蝦夷指導者）
藤原氏	（摂関政治）

中世

平将門	（平将門の乱）
藤原純友	（藤原純友の乱）
源氏	（有力武士団）
平氏	（有力武士団）
源義家	（東北戦乱平定）
藤原氏	（摂関家）
後三条天皇	（政治改革）
白河天皇（上皇）	（院政）
平清盛	（平氏政権）
源義朝	（平治の乱）
後白河上皇	（保元の乱）
源頼朝	（鎌倉幕府）
源義経	（源平合戦）
奥州藤原氏	（中尊寺金色堂）
源頼家	（２代将軍）
北条時政	（執権政治）
北条政子	（頼朝の妻）
後鳥羽上皇	（承久の乱）
源実朝	（３代将軍）
北条泰時	（御成敗式目）
湯浅氏	（阿氏河荘地頭）
藤原定家	（新古今和歌集）
西行	（新古今和歌集）
鴨長明	（方丈記）
運慶	（金剛力士像）
兼好法師	（徒然草）
法然	（浄土宗）
親鸞	（浄土真宗）
一遍	（時宗）
日蓮	（日蓮宗）
栄西	（臨済宗）
道元	（曹洞宗）
チンギス・ハン	（モンゴル帝国）
フビライ・ハン	（元寇）
北条時宗	（元寇）
マルコ・ポーロ	（東方見聞録）
後醍醐天皇	（建武の新政）
楠木正成	（建武の新政）
足利尊氏	（南北朝の動乱）
藤原道長	（摂関政治）
藤原頼通	（摂関政治）
紀貫之	（古今和歌集）
紫式部	（源氏物語）
清少納言	（枕草子）
藤原威子	（天皇の妃）
伴善男	（伴大納言絵巻）
源信	（伴大納言絵巻）
亀井南冥	（金印研究）
足利義満	（南北朝統一）
足利氏	（室町幕府）
李成桂	（朝鮮建国）
尚氏	（琉球王国）
コシャマイン	（アイヌ）
足利義教	（６代将軍）
足利義政	（８代将軍）
細川氏	（応仁の乱）
山名氏	（応仁の乱）
山名持豊（宗全）	（応仁の乱）
細川勝元	（応仁の乱）
毛利元就	（戦国大名）
上杉謙信	（戦国大名）
武田信玄	（戦国大名）
島津貴久	（戦国大名）
今川義元	（戦国大名）
南部	（戦国大名）
伊達	（戦国大名）
織田	（戦国大名）
三好	（戦国大名）
長宗我部	（戦国大名）
大友	（戦国大名）
島津	（戦国大名）
龍造寺	（戦国大名）
毛利	（戦国大名）
尼子	（戦国大名）
浅井	（戦国大名）
朝倉	（戦国大名）
上杉	（戦国大名）
最上	（戦国大名）
秋田	（戦国大名）
観阿弥	（能）
世阿弥	（能）
上杉氏	（足利学校）
雪舟	（水墨画）
善阿弥	（作庭）

近世

ミケランジェロ	（ダビデ）
ボッティチェリ	（ビーナスの誕生）
ムハンマド	（イスラム教）
レオナルド・ダ・ビンチ	（モナリザ）
ルター	（宗教改革）
カルバン	（宗教改革）
バスコ・ダ・ガマ	（インド航路）
コロンブス	（アメリカ大陸を発見）
マゼラン	（世界一周）
ザビエル	（キリスト教を布教）
伊東マンショ	（天正遣欧使節）
大友宗麟	（キリシタン大名）
千々石ミゲル	（少年使節）
中浦ジュリアン	（少年使節）
原マルチノ	（少年使節）
織田信長	（天下統一を進める）
今川義元	（桶狭間の戦い）
足利義昭	（１５代将軍）
武田勝頼	（長篠の戦い）
明智光秀	（本能寺の変）
豊臣秀吉	（太閤検地、刀狩）
伊達	（戦国大名）
北条	（戦国大名）
武田	（戦国大名）
今川	（戦国大名）
徳川	（戦国大名）
長宗我部	（戦国大名）
島津	（戦国大名）
毛利	（戦国大名）
明智	（戦国大名）
柴田	（戦国大名）
浅井	（戦国大名）
朝倉	（戦国大名）
上杉	（戦国大名）
李舜臣	（秀吉軍を撃退）
李参平	（有田焼）
狩野永徳	（屏風絵）
狩野山楽	（屏風絵）
千利休	（わび茶）
阿国	（かぶき踊り）
徳川家康	（江戸幕府）
石田三成	（関ヶ原の戦い）
徳川家光	（参勤交代）
南部（盛岡）	（主な大名）
伊達（仙台）	（主な大名）
松平（会津）	（主な大名）
徳川（水戸）	（主な大名）
徳川（甲府）	（主な大名）
徳川（尾張）	（主な大名）
藤堂（津）	（主な大名）
徳川（紀伊）	（主な大名）
蜂須賀（徳島）	（主な大名）
山内（高知）	（主な大名）
伊達（宇和島）	（主な大名）
島津（鹿児島）	（主な大名）
細川（熊本）	（主な大名）
有馬（久留米）	（主な大名）
鍋島（佐賀）	（主な大名）
宗（府中）	（主な大名）
黒田（福岡）	（主な大名）
毛利（萩）	（主な大名）
浅野（広島）	（主な大名）
池田（岡山）	（主な大名）
池田（鳥取）	（主な大名）
井伊（彦根）	（主な大名）
松平（福井）	（主な大名）
前田（金沢）	（主な大名）
真田（松代）	（主な大名）
酒井（前橋）	（主な大名）
上杉（米沢）	（主な大名）
酒井（庄内）	（主な大名）
佐竹（秋田）	（主な大名）
津軽（津軽）	（主な大名）
山田長政	（日本町指導者）
徳川秀忠	（２代将軍）
天草四郎	（島原・天草一揆）
キリスト	（踏絵）
マリア	（踏絵）
シャクシャイン	（アイヌの首長）
三井家	（両替商）
鴻池家	（両替商）
徳川綱吉	（儒学奨励）
井原西鶴	（日本永代蔵）
近松門左衛門	（人形浄瑠璃）
坂田藤十郎	（歌舞伎役者）
市川団十郎	（歌舞伎役者）
松尾芭蕉	（俳諧）
俵屋宗達	（装飾画）
尾形光琳	（装飾画）
菱川師宣	（浮世絵）
徳川吉宗	（享保の改革）
田沼意次	（株仲間を奨励）
松平定信	（寛政の改革）
志筑忠雄	（長崎通訳）
ケンペル	（日本誌）
レザノフ	（長崎上陸）
ラクスマン	（ロシアの使節）
大黒屋光太夫	（ロシア漂流）
本居宣長	（古事記伝）
杉田玄白	（解体新書を翻訳）
伊能忠敬	（日本地図を作成）
徳川家斉	（１１代将軍）
鈴木春信	（錦絵）
喜多川歌麿	（美人画）
葛飾北斎	（風景画）
歌川広重	（風景画）
十返舎一九	（東海道中膝栗毛）
滝沢馬琴	（南総里見八犬伝）
与謝蕪村	（俳句）
小林一茶	（俳句）
緒方洪庵	（適塾）
シーボルト	（医学塾）
渡辺崋山	（蛮社の獄）
高野長英	（蛮社の獄）
大塩平八郎	（大阪で乱を起こす）
水野忠邦	（天保の改革）
蠣崎氏	（アイヌ交易）
松前氏	（松前藩）
東洲斎写楽	（歌舞伎役者の絵）
豊臣秀頼	（豊臣政権）
間宮林蔵	（北方探検）
近藤重蔵	（北方探検）

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　東　書　】（中学校　社会　歴史的分野）

近代						現代			
ニュートン	（科学の実験）	袁世凱	（中国軍閥）	嵐寛重郎	（映画スター）	マッカーサー	（GHQの最高指令官）	下村脩	（ノーベル賞受賞）
ロック	（思想家）	フェノロサ	（東京美術学校の設立）	阪東妻三郎	（映画スター）	昭和天皇	（人間宣言）	根岸英一	（ノーベル賞受賞）
ボルテール	（思想家）	岡倉天心	（日本画）	西田幾多郎	（善の研究）	ネルー	（インド初代首相）	鈴木章	（ノーベル賞受賞）
モンテスキュー	（法の精神）	横山大観	（無我）	志賀直哉	（白樺派）	毛沢東	（中華人民共和国建国）		
ルソー	（社会契約論）	狩野芳崖	（日本画）	谷崎潤一郎	（短編小説）	蔣介石	（国民党）		
クロムウェル	（ピューリタン革命）	高村光雲	（彫刻）	芥川龍之介	（蜘蛛の糸）	吉田茂	（サンフランシスコ平和条約調印）		
ワシントン	（アメリカ大統領）	黒田清輝	（湖畔）	小林多喜二	（プロレタリア文学）	久保山愛吉	（ビキニ水爆実験で被爆）		
ナポレオン	（フランス軍人）	ロダン	（彫刻）	安井曾太郎	（美術）	岸信介	（安保闘争）		
ワット	（蒸気機関）	荻原守衛	（彫刻）	梅原龍三郎	（美術）	鳩山一郎	（日ソ共同宣言調印）		
マルクス	（社会主義）	滝廉太郎	（荒城の月）	山田耕筰	（洋楽）	ケネディ	（キューバ危機）		
ビスマルク	（ドイツ統一）	二葉亭四迷	（小説）	宮城道雄	（邦楽）	フルシチョフ	（キューバ危機）		
リンカン	（南北戦争）	樋口一葉	（にごりえ）	ルーズベルト	（ニューディール）	田中角栄	（日中共同声明）		
洪秀全	（太平天国）	夏目漱石	（坊っちゃん）	ムッソリーニ	（ファシスト党）	佐藤栄作	（沖縄の日本復帰）		
ペリー	（日本開国）	森鴎外	（舞姫）	ヒトラー	（ナチス）	池田勇人	（所得倍増）		
井伊直弼	（日米修好通商条約）	北里柴三郎	（医学）	浜口雄幸	（海軍軍縮条約）	ブッシュ	（マルタ会談）		
吉田松陰	（松下村塾）	野口英世	（黄熱病の研究）	蔣介石	（国民党）	ゴルバチョフ	（マルタ会談）		
木戸孝允	（長州藩）	小泉八雲	（物語）	斎藤実	（満州国承認）	緒方貞子	（国連難民高等弁務官）		
西郷隆盛	（薩摩藩）	高峰譲吉	（タカジアスターゼ）	リットン	（国際連盟調査団）	小泉純一郎	（自衛隊海外派遣）		
大久保利通	（薩摩藩）	志賀潔	（赤痢菌発見）	松岡洋右	（国際連盟脱退）	ニクソン	（アメリカ大統領訪中）		
徳川慶喜	（大政奉還）	大森房吉	（地震計を発明）	毛沢東	（中国共産党指導者）	細川護熙	（連立内閣）		
坂本龍馬	（薩長同盟）	木村栄	（緯度の変化の研究）	近衛文麿	（挙国一致）	萱野茂	（アイヌ民族初の国会議員）		
三条実美	（公家）	長岡半太郎	（原子模型の研究）	チャーチル	（イギリス首相）	大塚詩子	（青年海外協力隊）		
明治天皇	（五箇条の御誓文）	鈴木梅太郎	（ビタミンB1の発見）	アンネ・フランク	（アンネの日記）	オバマ	（核廃絶をめざす）		
福沢諭吉	（学問のすゝめ）	リズレー	（牛乳を初めて販売）	東条英機	（首相）	片寄平蔵	（常磐炭鉱の発見）		
中江兆民	（東洋のルソー）	町田房蔵	（アイスクリーム販売）	昭和天皇	（玉音放送）	黒沢明	（映画監督）		
新島襄	（同志社創設）	内海兵吉	（和風パン製造）	楮山ヒロ子	（原爆ドーム保存運動）	溝口健二	（映画監督）		
山口尚芳	（女子留学生）	クラーク	（横浜ベーカリー）	河本一郎	（原爆ドーム保存運動）	今上天皇	（結婚式テレビ中継）		
津田梅子	（女子英語塾の創設者）	高島嘉右衛門	（最初のガス灯）	ナセル	（エジプト首相）	手塚治虫	（アニメ）		
渋沢栄一	（実業家）	下岡蓮杖	（日本人カメラマン）	ベングリオン	（イスラエル建国）	宮崎駿	（アニメ）		
ゴッホ	（ジャポニズム）	ジョセフ彦	（海外新聞発行）	石井十次	（孤児の救済）	長嶋茂雄	（テレビの時代）		
歌川広重	（浮世絵）	松方正義	（松方財政）	留岡幸助	（家庭学校）	力道山	（テレビの時代）		
板垣退助	（自由民権運動）	島崎藤村	（若菜集）	ビゴー	（風刺画）	王貞治	（テレビの時代）		
岩倉具視	（右大臣）	田中正造	（足尾鉱毒事件）	溥儀	（満州国元首）	大鵬	（テレビの時代）		
植木枝盛	（思想家）	パブロ・ピカソ	（ゲルニカ）	ルイ１４世	（ベルサイユ宮殿）	松本清張	（社会派推理小説）		
大隈重信	（立憲改進党）	レーニン	（ロシア革命）	勝海舟	（江戸城明渡し）	司馬遼太郎	（歴史小説）		
伊藤博文	（初代内閣総理大臣）	スターリン	（ヤルタ会談）	石川啄木	（韓国併合の短歌）	川端康成	（純文学）		
川上音二郎	（俳優）	ウィルソン	（国際連盟）			大江健三郎	（純文学）		
黒田清隆	（内閣総理大臣）	新渡戸稲造	（国際連盟本部の事務局次長）			湯川秀樹	（ノーベル賞受賞）		
セシル・ローズ	（イギリスのケープ植民地の首相）	柳宗悦	（民芸評論家）			朝永振一郎	（ノーベル賞受賞）		
小村寿太郎	（関税自主権回復）	ガンディー	（非暴力・不服従）			江崎玲於奈	（ノーベル賞受賞）		
井上馨	（欧化政策）	桂太郎	（内閣総理大臣）			福井謙一	（ノーベル賞受賞）		
陸奥宗光	（日英通商航海条約）	吉野作造	（民本主義）			利根川進	（ノーベル賞受賞）		
与謝野晶子	（歌人）	美濃部達吉	（天皇機関説）			白川英樹	（ノーベル賞受賞）		
幸徳秋水	（社会主義者）	原敬	（政党内閣）			野依良治	（ノーベル賞受賞）		
内村鑑三	（キリスト教徒）	市川房枝	（女性参政権）			小柴昌俊	（ノーベル賞受賞）		
東郷平八郎	（日本艦隊司令官）	平塚らいてう	（青鞜）			田中耕一	（ノーベル賞受賞）		
寺内正毅	（米騒動）	加藤高明	（普通選挙法）			南部陽一郎	（ノーベル賞受賞）		
安重根	（伊藤博文暗殺）	犬養毅	（五・一五事件）			益川敏英	（ノーベル賞受賞）		
孫文	（辛亥革命）	山田少年	（全国水平社）			小林誠	（ノーベル賞受賞）		

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　教　出　】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで		中世				近世					
孔子	（儒教）	チンギス・ハン	（モンゴル帝国）	今川	（守護大名）	ボッティチェリ	（春）	徳川（水戸）	（主な大名）	田沼意次	（老中）
シャカ	（仏教）	フビライ・ハン	（元寇）	土岐	（守護大名）	レオナルド＝ダ＝ビンチ	（最後の晩餐）	稲葉（小田原）	（主な大名）	松平定信	（寛政の改革）
クフ王	（ピラミッド）	マルコ・ポーロ	（東方見聞録）	山名	（守護大名）	ミケランジェロ	（最後の審判）	徳川（甲府）	（主な大名）	上杉鷹山	（米沢藩改革）
ハンムラビ王	（ハンムラビ法典）	源氏	（武士団）	赤松	（守護大名）	コペルニクス	（地動説）	徳川（名古屋）	（主な大名）	本居宣長	（古事記伝）
始皇帝	（中国統一）	平氏	（武士団）	大友	（守護大名）	ガリレイ	（地動説）	藤堂（安濃津）	（主な大名）	平田篤胤	（国学）
イエス	（キリスト教）	平将門	（平将門の乱）	島津	（守護大名）	ルター	（宗教改革）	徳川（和歌山）	（主な大名）	杉田玄白	（解体新書）
委奴国王	（金印）	藤原純友	（藤原純友の乱）	大内	（守護大名）	カルバン	（宗教改革）	蜂須賀（徳島）	（主な大名）	平賀源内	（発電機）
卑弥呼	（邪馬台国女王）	白河天皇	（院政）	斯波	（守護大名）	コロンブス	（アメリカ大陸到達）	松平（高松）	（主な大名）	伊能忠敬	（全国地図）
ワカタケル大王・武	（鉄剣）	藤原氏	（摂関家）	小笠原	（守護大名）	バスコ＝ダ＝ガマ	（インド航路発見）	山内（高知）	（主な大名）	安藤昌益	（封建制の批判）
広開土王（好太王）	（高句麗石碑）	平清盛	（平氏政権）	上杉	（守護大名）	マゼラン	（世界一周達成）	松平（松山）	（主な大名）	十返舎一九	（東海道中膝栗毛）
ムハンマド	（イスラム教）	源義家	（東北戦乱平定）	宗氏	（対馬の島主）	フランシスコ＝ザビエル	（キリスト教の布教）	島津（鹿児島）	（主な大名）	滝沢馬琴	（南総里見八犬伝）
アッラー	（イスラム教唯一神）	源義経	（源平合戦）	李成桂	（朝鮮建国）	大村氏	（キリシタン大名）	細川（熊本）	（主な大名）	小林一茶	（俳諧）
蘇我馬子	（豪族）	源頼朝	（鎌倉幕府）	尚巴志	（琉球王国）	大友氏	（キリシタン大名）	有馬（久留米）	（主な大名）	喜多川歌麿	（美人画）
推古天皇	（女帝）	奥州藤原氏	（中尊寺金色堂）	コシャマイン	（アイヌ）	有馬氏	（キリシタン大名）	鍋島（佐賀）	（主な大名）	東洲斎写楽	（役者絵）
聖徳太子	（摂政）	源義朝	（平治の乱）	安藤氏	（十三港）	豊臣秀吉	（全国統一）	黒田（福岡）	（主な大名）	葛飾北斎	（風景画）
小野妹子	（遣隋使）	源義仲	（源平合戦）	山名氏	（応仁の乱）	伊達政宗	（戦国大名）	小笠原（小倉）	（主な大名）	歌川広重	（風景画）
蘇我氏	（豪族）	坂上田村麻呂	（征夷大将軍）	武田信玄	（戦国大名）	支倉常長	（ヨーロッパ派遣）	毛利（萩）	（主な大名）	緒方洪庵	（適塾）
煬帝	（隋皇帝）	北条政子	（頼朝の妻）	朝倉氏	（一乗谷）	バリニャーノ	（宣教師）	浅野（広島）	（主な大名）	シーボルト	（鳴滝塾）
中大兄皇子（天智天皇）	（大化の改新）	北条時政	（執権政治）	北条氏	（小田原）	伊東マンショ	（少年使節）	松平（松江）	（主な大名）		
中臣鎌足（藤原鎌足）	（大化の改新）	後鳥羽上皇	（承久の乱）	南部	（戦国大名）	千々石ミゲル	（少年使節）	池田（岡山）	（主な大名）		
天武天皇	（壬申の乱・律令国家）	北条義時	（承久の乱）	伊達	（戦国大名）	中浦ジュリアン	（少年使節）	池田（鳥取）	（主な大名）		
持統天皇	（藤原京）	源実朝	（３代将軍）	佐竹	（戦国大名）	原マルチノ	（少年使節）	酒井（小浜）	（主な大名）		
阿倍仲麻呂	（遣唐使）	北条泰時	（御成敗式目）	今川	（戦国大名）	武田勝頼	（戦国大名）	井伊（彦根）	（主な大名）		
鑑真	（戒律）	順徳上皇	（承久の乱）	織田	（戦国大名）	織田信長	（楽市楽座）	松平（福井）	（主な大名）		
聖武天皇	（大仏建立）	土御門上皇	（承久の乱）	三好	（戦国大名）	今川義元	（戦国大名）	前田（金沢）	（主な大名）		
柿本人麻呂	（万葉集）	法然	（浄土宗）	長宗我部	（戦国大名）	足利義昭	（征夷大将軍）	真田（松代）	（主な大名）		
大伴家持	（万葉集）	親鸞	（浄土真宗）	大友	（戦国大名）	武田氏	（長篠の戦い）	松平（高田）	（主な大名）		
行基	（大仏建立）	日蓮	（日蓮宗）	島津	（戦国大名）	毛利氏	（戦国大名）	酒井（前橋）	（主な大名）		
大国主神	（神話）	一遍	（時宗）	竜造寺	（戦国大名）	明智光秀	（本能寺の変）	牧野（長岡）	（主な大名）		
長屋王	（広大な邸宅）	栄西	（臨済宗）	毛利	（戦国大名）	徳川家康	（江戸幕府）	松平（村上）	（主な大名）		
山上憶良	（貧窮問答歌）	道元	（曹洞宗）	尼子	（戦国大名）	島津氏	（戦国大名）	保科（会津）	（主な大名）		
桓武天皇	（平安京）	北条氏	（禅宗保護）	浅井	（戦国大名）	北条氏	（戦国大名）	上杉（米沢）	（主な大名）		
坂上田村麻呂	（征夷大将軍）	鴨長明	（方丈記）	武田	（戦国大名）	今川	（戦国大名）	酒井（庄内）	（主な大名）		
藤原氏	（摂関政治）	兼好法師	（徒然草）	上杉	（戦国大名）	徳川	（戦国大名）	津軽（弘前）	（主な大名）		
藤原道長	（摂関政治）	藤原定家	（新古今和歌集）	最上	（戦国大名）	長宗我部	（戦国大名）	天草四郎	（島原・天草一揆）		
藤原頼通	（摂関政治）	運慶	（金剛力士像）	秋田	（戦国大名）	明智	（戦国大名）	山田長政	（日本町のかしら）		
最澄	（天台宗）	無学祖元	（円覚寺）	観阿弥	（能楽）	浅井	（戦国大名）	宗氏	（朝鮮通信使）		
空海	（真言宗）	聖武天皇	（竹林寺）	世阿弥	（能楽）	朝倉	（戦国大名）	シャクシャイン	（アイヌ指導者）		
紀貫之	（古今和歌集）	行基	（竹林寺）	足利義政	（銀閣）	柴田	（戦国大名）	三井	（有力商家）		
紫式部	（源氏物語）	杜世忠	（元の使者）	雪舟	（水墨画）	上杉	（戦国大名）	鴻池	（有力商家）		
清少納言	（枕草子）	北条時宗	（元寇）	善阿弥	（作庭）	伊達	（戦国大名）	佐竹氏	（秋田藩）		
紀広純	（伊治呰麻呂の乱）	竹崎季長	（御家人）	蓮如	（浄土真宗）	李舜臣	（朝鮮水軍大将）	井原西鶴	（浮世草子）		
伊治呰麻呂	（伊治呰麻呂の乱）	安達泰盛	（恩賞担当）	富樫氏	（加賀の守護）	狩野永徳	（屏風絵）	近松門左衛門	（人形浄瑠璃）		
阿弖流為	（蝦夷の族長）	後醍醐天皇	（建武の新政）			千利休	（茶の湯）	松尾芭蕉	（奥の細道）		
悪路王	（阿弖流為の戦い）	楠木正成	（新興武士）			出雲の阿国	（かぶき踊り）	俵屋宗達	（屏風絵）		
		足利尊氏	（征夷大将軍）			豊臣氏	（大阪城）	尾形光琳	（障壁絵）		
		足利義満	（南北朝の合一）			石田三成	（関ヶ原の戦い）	菱川師宣	（浮世絵）		
		足利氏	（室町幕府）			徳川秀忠	（２代将軍）	徳川綱吉	（５代将軍）		
		細川氏	（管領）			徳川家光	（３代将軍）	新井白石	（儒学者）		
		畠山氏	（管領）			南部（盛岡）	（主な大名）	野國總管	（甘薯栽培）		
		足利義持	（４代将軍）			伊達（仙台）	（主な大名）	青木昆陽	（甘薯栽培）		
		佐竹	（守護大名）			本多（白河）	（主な大名）	徳川吉宗	（８代将軍）		
		武田	（守護大名）			奥平（宇都宮）	（主な大名）	大岡忠相	（町奉行）		

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　教　出　】（中学校　社会　歴史的分野）

近代						現代	
エリザベス１世	（絶対王政）	黒田清隆	（内閣総理大臣）	市川房枝	（女性参政権）	マッカーサー	（ＧＨＱ最高司令官）
クロムウェル	（ピューリタン革命）	植木枝盛	（思想家）	加藤高明	（普通選挙法）	昭和天皇	（人間宣言）
ルイ１４世	（絶対王政）	中江兆民	（思想家）	山田孝野次郎	（全国水平社）	黒澤明	（映画監督）
ロック	（思想家）	知里幸恵	（アイヌ文化）	西田幾多郎	（善の研究）	湯川秀樹	（ノーベル物理学賞受賞）
モンテスキュー	（法の精神）	モナシノウク	（アイヌ文化）	柳田国男	（民俗学）	毛沢東	（中華人民共和国主席）
ルソー	（社会契約論）	セシル＝ローズ	（ケープ植民地の首相）	志賀直哉	（白樺派）	吉田茂	（サンフランシスコ平和会議）
ワシントン	（アメリカ大統領）	陸奥宗光	（日英通商航海条約）	谷崎潤一郎	（文学作家）	ワレサ	（連帯の指導者）
ナポレオン	（フランス軍人）	山県有朋	（内閣総理大臣）	芥川龍之介	（文学作家）	岸信介	（新日米安全保障条約）
マルクス	（資本論）	八田與一	（台湾のダム建設）	小林多喜二	（プロレタリア文学）	アイゼンハワー	（新日米安全保障条約）
リンカーン	（南北戦争）	内村鑑三	（キリスト教徒）	ルーズベルト	（ニューディール政策）	田中角栄	（日中共同声明）
ビスマルク	（ドイツ帝国）	幸徳秋水	（社会主義者）	ヒトラー	（ナチ党）	周恩来	（日中共同声明）
ナイティンゲール	（従軍看護婦）	東郷平八郎	（日本艦隊司令官）	ムッソリーニ	（ファシスト党）	佐藤栄作	（沖縄返還）
デュナン	（国際赤十字社）	与謝野晶子	（みだれ髪）	スターリン	（５か年計画）	池田	（所得倍増）
洪秀全	（太平天国）	安重根	（伊藤博文暗殺）	張作霖	（中国軍閥）	金正日	（日朝平壌宣言）
高杉晋作	（長州藩）	孫文	（辛亥革命）	浜口首相	（海軍軍縮条約）	小泉純一郎	（日朝平壌宣言）
ラックスマン	（ロシア使節）	袁世凱	（中国軍閥）	溥儀	（満州国）	オバマ	（アメリカ大統領）
松平定信	（寛政の改革）	スコット	（イギリス南極探検家）	毛沢東	（中国共産党）	鳩山由紀夫	（政権交代）
大塩平八郎	（幕府への反乱）	アムンゼン	（ノルウェー南極探検家）	近衛	（和平交渉打切り）	久保山愛吉	（第五福龍丸）
間宮林蔵	（北方探検）	白瀬矗	（日本の南極探検家）	チャーチル	（イギリス首相）	佐々木禎子	（原爆の子の像）
伊能忠敬	（全国地図）	田中正造	（足尾鉱毒事件）	アンネ＝フランク	（アンネの日記）		
近藤重蔵	（北方探検）	新島襄	（同志社英学校）	東条英機	（首相）		
渡辺崋山	（蛮社の獄）	野口英世	（黄熱病の研究）	昭和天皇	（終戦ラジオ放送）		
高野長英	（蛮社の獄）	北里柴三郎	（医学）	浅川巧	（朝鮮民族美術館）		
徳川斉昭	（水戸藩主）	長岡半太郎	（物理学）	浅川伯教	（朝鮮民族美術館）		
水野忠邦	（天保の改革）	森鴎外	（舞姫）	杉原千畝	（ユダヤ人救済）		
ペリー	（開国）	樋口一葉	（にごりえ）	勝海舟	（軍艦奉行）		
堀田正睦	（老中）	夏目漱石	（坊っちゃん）	片山潜	（社会運動）		
井伊直弼	（日米修好通商条約）	島崎藤村	（若菜集）	小村寿太郎	（条約改正）		
吉田松陰	（松下村塾）	石川啄木	（一握の砂）	森有礼	（日本公使）		
西郷隆盛	（薩摩藩）	正岡子規	（俳句）	ハリス	（アメリカ総領事）		
大久保利通	（薩摩藩）	黒田清輝	（湖畔）	山口尚芳	（岩倉使節団）		
木戸孝允	（長州藩）	岡倉天心	（日本画）	和宮	（公武合体）		
坂本龍馬	（薩長同盟）	横山大観	（無我）	豊田佐吉	（力織機発明）		
徳川家茂	（１４代将軍）	滝廉太郎	（学校唱歌）				
明治天皇	（五箇条の御誓文）	坪内逍遥	（小説神髄）				
徳川慶喜	（大政奉還）	二葉亭四迷	（浮雲）				
山内豊信	（土佐藩前藩主）	レーニン	（ロシア革命）				
後藤象二郎	（土佐藩）	ウィルソン	（１４カ条の講和原則）				
岩倉具視	（王政復古の大号令）	新渡戸稲造	（国際連盟本部事務次長）				
伊藤博文	（初代内閣総理大臣）	蔣介石	（国民党）				
福沢諭吉	（学問のすゝめ）	ガンディー	（非暴力・不服従）				
葛飾北斎	（パリ万博）	柳宗悦	（民芸評論家）				
横井小楠	（肥後藩）	石橋湛山	（ジャーナリスト）				
三条実美	（太政大臣）	桂太郎	（組閣）				
モース	（大森貝塚）	西園寺公望	（立憲政友会総裁）				
フェノロサ	（東京美術学校）	尾崎行雄	（政治家）				
クラーク	（札幌農学校）	犬養毅	（五・一五事件）				
ムンドル	（三角西港）	吉野作造	（民本主義）				
津田梅子	（女子留学生）	美濃部達吉	（憲法学者）				
板垣退助	（自由民権運動）	寺内正毅	（米騒動）				
尚泰	（琉球藩王）	原敬	（政党内閣）				
大隈重信	（立憲改進党）	平塚らいてう	（青鞜）				

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　清　水　】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで				中世				近世			
ウィラード＝リビー博士	（炭素１４の発見）	紀貫之	（古今和歌集）	チンギス＝ハン	（モンゴル帝国）	山名持豊	（応仁の乱）	ルター	（宗教改革）	石田三成	（関ヶ原の戦い）
相沢忠洋	（岩宿遺跡）	紫式部	（源氏物語）	フビライ	（元寇）	足利義政	（８代将軍）	カルバン	（宗教改革）	豊臣氏	（大阪夏の陣）
ガウタマ＝シッダールタ（シャカ）	（仏教）	清少納言	（枕草子）	マルコ・ポーロ	（東方見聞録）	足利義視	（義政の弟）	バスコ＝ダ＝ガマ	（インド航路）	徳川秀忠	（２代将軍）
イエス	（キリスト教）	一条天皇	（宮廷生活）	藤原氏	（摂関家）	日野富子	（義尚の母）	コロンブス	（アメリカ到達）	徳川家光	（３代将軍）
アリストテレス	（哲学）	藤原定子	（一条天皇のきさき）	平清盛	（太政大臣）	足利義尚	（義政の子）	マゼラン	（世界周航）	南部（盛岡）	（主な大名）
孔子	（儒教）	藤原彰子	（一条天皇のきさき）	源義朝	（平治の乱）	蓮如	（一向宗布教）	武田信玄	（戦国大名）	伊達（仙台）	（主な大名）
始皇帝	（中国統一）	清原元輔	（清少納言の父）	後白河天皇（上皇）	（保元の乱）	斯波氏	（管領家）	上杉謙信	（戦国大名）	松平（山形）	（主な大名）
委奴国王	（金印）	和泉式部	（和泉式部日記）	源頼朝	（鎌倉幕府）	畠山氏	（三管家）	毛利元就	（戦国大名）	丹羽（二本松）	（主な大名）
卑弥呼	（邪馬台国女王）	菅原孝標女	（更級日記）	源義仲	（源平争乱）	雪舟	（水墨画）	今川	（戦国大名）	上杉（米沢）	（主な大名）
仁徳天皇	（大山古墳）			源義経	（源平争乱）			徳川	（戦国大名）	保科（会津）	（主な大名）
ワカタケル	（鉄剣）			平氏	（武士のかしら）			織田	（戦国大名）	本多（白河）	（主な大名）
玄奘（三蔵法師）	（西遊記）			源氏	（武士のかしら）			三好	（戦国大名）	徳川（水戸）	（主な大名）
ムハンマド	（イスラーム）			北条氏	（執権政治）			竜造寺	（戦国大名）	土井（古河）	（主な大名）
アッラー	（イスラーム唯一の神）			源実朝	（３代将軍）			毛利	（戦国大名）	徳川（館林）	（主な大名）
蘇我氏	（ヤマト王権豪族）			後鳥羽上皇	（承久の乱）			山名	（戦国大名）	稲葉（小田原）	（主な大名）
物部氏	（ヤマト王権豪族）			北条泰時	（御成敗式目）			浅井	（戦国大名）	徳川（名古屋）	（主な大名）
推古天皇	（女性の天皇）			北条政子	（尼将軍）			上杉	（戦国大名）	藤堂（安濃津）	（主な大名）
聖徳太子	（摂政）			一遍	（時宗）			大内義隆	（守護大名）	徳川（和歌山）	（主な大名）
小野妹子	（遣隋使）			織田信長	（天下人）			陶晴賢	（下剋上）	蜂須賀（徳島）	（主な大名）
中大兄皇子（天智天皇）	（大化の改新）			上杉謙信	（上洛志向）			尼子氏	（戦国大名）	松平（高松）	（主な大名）
中臣鎌足（藤原鎌足）	（大化の改新）			法然	（浄土宗）			朝倉氏	（分国法）	山内（土佐）	（主な大名）
天武天皇	（壬申の乱）			親鸞	（浄土真宗）			伊達氏	（分国法）	松平（松山）	（主な大名）
聖武天皇	（鎮護国家）			日蓮	（日蓮宗）			北条氏	（戦国大名）	小笠原（小倉）	（主な大名）
藤原氏	（摂関政治）			道元	（曹洞宗）			武田氏	（分国法）	細川（熊本）	（主な大名）
光明皇后	（鎮護国家）			栄西	（臨済宗）			フランシスコ＝ザビエル	（イエズス会）	島津（鹿児島）	（主な大名）
行基	（布教）			藤原定家	（新古今和歌集）			織田信長	（全国統一）	立花（柳川）	（主な大名）
鑑真	（唐招提寺）			西行	（新古今和歌集）			中浦ジュリアン	（天正遣欧少年使節）	有馬（久留米）	（主な大名）
長屋王	（天武天皇の孫、貴族）			鴨長明	（方丈記）			伊東マンショ	（天正遣欧少年使節）	宗（対馬）	（主な大名）
阿倍仲麻呂	（遣唐使）			菅原道真	（北野天満宮）			原マルティノ	（天正遣欧少年使節）	鍋島（佐賀）	（主な大名）
素戔嗚尊	（神話）			北条時宗	（元寇）			千々石ミゲル	（天正遣欧少年使節）	黒田（福岡）	（主な大名）
奇稲田姫	（神話）			竹崎季長	（蒙古襲来絵詞）			大村	（キリシタン大名）	毛利（萩）	（主な大名）
大国主神	（神話）			後醍醐天皇	（建武の新政）			大友	（キリシタン大名）	浅野（広島）	（主な大名）
綾門日女命	（出雲神話）			楠木正成	（倒幕）			有馬	（キリシタン大名）	水野（福山）	（主な大名）
八束水臣津野命	（出雲神話）			足利尊氏	（征夷大将軍）			今川義元	（桶狭間の戦い）	松平（松江）	（主な大名）
桓武天皇	（平安京）			新田義貞	（御家人）			足利義昭	（追放）	池田（岡山）	（主な大名）
坂上田村麻呂	（征夷大将軍）			光明天皇	（北朝）			豊臣秀吉	（全国統一）	森（津山）	（主な大名）
最澄	（天台宗）			足利義満	（南北朝の統一）			明智光秀	（本能寺の変）	池田（鳥取）	（主な大名）
空海	（真言宗）			上杉氏	（おもな守護大名）			柴田勝家	（秀吉に倒される）	榊原（姫路）	（主な大名）
藤原道長	（摂関政治）			武田氏	（おもな守護大名）			最上氏	（戦国大名）	本多（郡山）	（主な大名）
藤原頼通	（摂関政治）			今川氏	（おもな守護大名）			佐竹氏	（戦国大名）	酒井（小浜）	（主な大名）
平将門	（平将門の乱）			土岐氏	（おもな守護大名）			長宗我部氏	（四国平定）	松平（桑名）	（主な大名）
藤原純友	（藤原純友の乱）			大友氏	（おもな守護大名）			島津氏	（九州平定）	井伊（彦根）	（主な大名）
藤原威子	（藤原道長の娘）			今川氏	（おもな守護大名）			李舜臣	（文永の役）	松平（福井）	（主な大名）
源氏	（武士のかしら）			赤松氏	（おもな守護大名）			狩野永徳	（襖絵）	戸田（大垣）	（主な大名）
平氏	（武士のかしら）			一色氏	（おもな守護大名）			狩野山楽	（襖絵）	徳川（甲府）	（主な大名）
清原（藤原）清衡	（中尊寺金色堂）			李成桂	（朝鮮王朝）			長谷川等伯	（襖絵）	前田（金沢）	（主な大名）
奥州藤原氏	（平泉）			尚氏	（琉球王国）			千利休	（侘び茶）	前田（富山）	（主な大名）
後三条天皇	（天皇中心の政治）			コシャマイン	（アイヌ）			阿国	（歌舞伎踊り）	松平（高田）	（主な大名）
白河天皇・上皇	（院政）			細川氏	（管領）			前田利家	（信長配下）	真田（松代）	（主な大名）
鳥羽上皇	（荘園寄進）			山名氏	（有力守護大名）			ルイス・フロイス	（日本史）	酒井（前橋）	（主な大名）
菅原道真	（遣唐使派遣停止）			細川勝元	（応仁の乱）			徳川家康	（江戸幕府）	奥平（宇都宮）	（主な大名）

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　清　水　】（中学校　社会　歴史的分野）

近世				近代				現代	
松平（村上）	（主な大名）	新井白石	（西洋紀聞）	エカチェリーナ２世	（ロシア皇帝）	魯迅	（日本留学）	マッカーサー	（連合国軍総司令部）
酒井（庄内）	（主な大名）	前野良沢	（解体新書）	ラクスマン	（ロシア使節）	ファン＝ボイ＝チャウ	（日本留学）	毛沢東	（中華人民共和国成立）
佐竹（秋田）	（主な大名）	杉田玄白	（解体新書）	ワシントン	（アメリカ大統領）	康有為	（日本亡命）	吉田茂	（日米安全保障条約）
津軽（弘前）	（主な大名）	シーボルト	（鳴滝塾）	ナポレオン	（フランス軍人）	犬養毅	（五・一五事件）	スターリン	（共産党指導者）
宇喜多秀家	（改易）	高野長英	（蘭学者）	マルクス	（共産党宣言）	藤野厳九郎	（魯迅の師）	葛飾北斎	（北斎漫画）
福島正則	（改易）	十返舎一九	（東海道中膝栗毛）	ビスマルク	（ドイツ宰相）	田中正造	（足尾鉱毒事件）	手塚治虫	（漫画の新地平）
松平忠直	（改易）	滝沢馬琴	（南総里見八犬伝）	リンカン	（奴隷解放宣言）	渋沢栄一	（大阪紡績会社）	伊藤博文	（首相）
蒲生忠郷	（改易）	喜多川歌麿	（美人画）	大塩平八郎	（大塩平八郎の乱）	幸徳秋水	（社会主義者）	ビゴー	（フランス人漫画家）
マリア	（踏絵）	歌川広重	（風景画）	水野忠邦	（天保の改革）	黒田清輝	（湖畔）	長谷川町子	（サザエさん）
キリスト	（踏絵）	小林一茶	（俳諧）	徳川斉昭	（尊王攘夷）	北里柴三郎	（破傷風菌と治療法を発見）	佐藤栄作	（沖縄返還）
松前氏	（アイヌ交易）	良寛	（俳諧）	島津斉彬	（藩政改革）	野口英世	（医学の発展）	田中角栄	（日中国交正常化）
雨森芳洲	（対馬藩）	ボッティチェリ	（「春」）	ペリー	（ペリー来航）	岡倉天心	（古美術の再評価）	ゴルバチョフ	（冷戦の終結）
シャクシャイン	（アイヌの反乱）			阿部正弘	（老中）	フェノロサ	（古美術の再評価）	ブッシュ	（冷戦の終結）
三井	（両替商）			ハリス	（アメリカ総領事）	横山大観	（日本画）	鄧小平	（四つの現代化）
鴻池	（両替商）			井伊直弼	（安政の大獄）	高村光雲	（日本画）		
三井高利	（越後屋）			吉田松陰	（松下村塾）	夏目漱石	（吾輩は猫である）		
徳川綱吉	（５代将軍）			西郷隆盛	（薩長同盟）	森鷗外	（舞姫）		
浅野長矩	（赤穂事件）			木戸孝允	（薩長同盟）	ウィルソン	（１４か条の平和原則）		
吉良義央	（赤穂事件）			坂本竜馬	（薩長同盟）	レーニン	（ロシア革命）		
坂田藤十郎	（上方歌舞伎）			中岡慎太郎	（薩長同盟）	スターリン	（共産党指導者）		
市川団十郎	（江戸歌舞伎）			岩倉具視	（王政復古の大号令）	ガンジー	（非暴力・不服従）		
近松門左衛門	（人形浄瑠璃）			徳川慶喜	（大政奉還）	柳寛順	（三・一独立運動）		
井原西鶴	（浮世草子）			勝海舟	（新政府と和睦）	吉野作造	（民本主義）		
松尾芭蕉	（俳諧）			明治天皇	（五箇条の御誓文）	原敬	（政党内閣）		
尾形光琳	（装飾画）			福沢諭吉	（学問のすゝめ）	平塚らいてう	（青鞜社）		
俵屋宗達	（装飾画）			徳川家康	（江戸幕府）	芥川竜之介	（蜘蛛の糸）		
菱川師宣	（浮世絵）			豊臣秀吉	（全国統一）	ヒトラー	（ナチス）		
契沖	（古典研究）			山口尚芳	（岩倉使節団）	チャップリン	（ナチス批判）		
徳川光圀	（古典研究）			伊藤博文	（初代内閣総理大臣）	蔣介石	（国民党）		
徳川吉宗	（８代将軍）			大久保利通	（薩摩藩）	リットン	（国際連盟調査団）		
青木昆陽	（甘藷記）			津田梅子	（女子留学生）	ピカソ	（ゲルニカ）		
田沼意次	（経済政策）			板垣退助	（自由民権運動）	東条英機	（首相）		
松平定信	（寛政の改革）			江藤新平	（佐賀の乱）	昭和天皇	（終戦のラジオ放送）		
ラクスマン	（ロシア使節）			川上音二郎	（オッペケペー節）	石川啄木	（韓国併合の歌）		
レザノフ	（ロシア使節）			中江兆民	（思想家）	山川捨松	（女子留学生）		
間宮林蔵	（蝦夷地等調査）			大隈重信	（立憲改進党）	ルソー	（社会契約論）		
伊能忠敬	（全国測量）			黒田清隆	（内閣総理大臣）				
ペリー	（日本来航）			ベルツ	（ドイツ人医師）				
ビッドル	（日本来航）			寺島宗則	（条約改正交渉）				
近藤重蔵	（北方探検）			井上馨	（条約改正交渉）				
最上徳内	（北方探検）			陸奥宗光	（領事裁判権の撤廃）				
大黒屋光太夫	（ロシア漂流）			小村寿太郎	（関税自主権回復）				
エカチェリーナ２世	（ロシア皇帝）			金玉均	（朝鮮改革）				
林羅山	（儒学）			東郷平八郎	（日本艦隊司令官）				
林家	（湯島聖堂）			与謝野晶子	（君死にたまふことなかれ）				
木下順庵	（私塾）			後藤新平	（台湾植民地政策）				
石田梅岩	（心学）			鄭成功	（明朝復興）				
安藤昌益	（社会批判）			安重根	（伊藤博文暗殺）				
賀茂真淵	（万葉集研究）			孫文	（辛亥革命）				
本居宣長	（国学）			袁世凱	（中国軍閥）				
塙保己一	（群書類従）			溥儀	（満州国皇帝）				

古代まで

孔子	（儒教）
始皇帝	（中国統一）
シャカ	（仏教）
イエス	（キリスト教）
ムハンマド	（イスラム教）
アッラー	（イスラム教唯一神）
アショーカ王	（仏教信仰）
マリア	（イエスの母）
奴国の王	（金印）
卑弥呼	（邪馬台国女王）
ワカタケル	（ヤマト王権の王）
蘇我氏	（崇仏論争）
物部氏	（崇仏論争）
額田部王女（推古天皇）	（女帝）
聖徳太子	（摂政）
小野妹子	（遣隋使）
中大兄皇子（天智天皇）	（大化の改新）
中臣鎌足	（大化の改新）
天武天皇	（天皇中心の国家）
阿倍仲麻呂	（遣唐使）
山上憶良	（万葉集）
聖武天皇	（大仏建立）
光明皇后	（鎮護国家）
行基	（大仏建立）
鑑真	（戒律）
アマテラス	（高千穂神楽）
スサノオ	（石見神楽）
桓武天皇	（平城京）
坂上田村麻呂	（征夷大将軍）
藤原道長	（摂関政治）
藤原頼通	（摂関政治）
アテルイ	（蝦夷指導者）
源頼朝	（武家のかしら）
藤原氏	（摂関政治）
最澄	（天台宗）
空海	（真言宗）
菅原道真	（遣唐使廃止）
紀貫之	（古今和歌集）
紫式部	（源氏物語）
清少納言	（枕草子）
安倍晴明	（陰陽師）

中世

藤原氏	（荘園領主）
源氏	（武士の統率者（棟梁））
平氏	（武士の統率者（棟梁））
平将門	（平将門の乱）
藤原純友	（藤原純友の乱）
源義家	（東北戦乱平定）
奥州藤原氏	（東北地方統一）
藤原清衡	（奥州藤原氏）
藤原基衡	（奥州藤原氏）
藤原秀衡	（奥州藤原氏）
後三条天皇	（天皇中心政治）
白河天皇	（院政）
後白河天皇	（保元の乱）
源義朝	（平治の乱）
平清盛	（平氏政権）
源頼朝	（鎌倉幕府）
源義経	（源平合戦）
平時忠	（平氏の栄華）
北条政子	（頼朝の妻）
北条時政	（執権政治）
後鳥羽上皇	（承久の乱）
北条泰時	（御成敗式目）
法然	（浄土宗）
日蓮	（日蓮宗）
栄西	（臨済宗）
道元	（曹洞宗）
親鸞	（浄土真宗）
一遍	（時宗）
運慶	（金剛力士像）
快慶	（金剛力士像）
西行	（新古今和歌集）
吉田兼好（兼好法師）	（徒然草）
北条氏	（仏教の保護）
佐野源左衛門	（鉢の木）
北条時頼	（執権）
鴨長明	（方丈記）
チンギス＝ハン	（モンゴル帝国）
フビライ＝ハン	（元寇）
北条時宗	（元寇）
後醍醐天皇	（建武の新政）
楠木正成	（建武の新政）
足利尊氏	（南北朝の動乱）
新田義貞	（建武の新政）
足利義満	（南北朝の統一）
佐竹	（守護大名）
今川	（守護大名）
一色	（守護大名）
斯波	（守護大名）
畠山	（守護大名）
細川	（守護大名）
大友	（守護大名）
島津	（守護大名）
山名	（守護大名）
京極	（守護大名）
上杉	（守護大名）
足利氏	（将軍家）
大内氏	（貿易）
李成桂	（朝鮮建国）
宗氏	（朝鮮との貿易）
尚氏	（琉球王国）
安藤（安東）氏	（日本海交通で繁栄）
畠山氏	（守護大名）
蓮如	（一向宗）
足利義政	（８代将軍）
細川氏	（応仁の乱）
山名氏	（応仁の乱）
朝倉氏	（一乗谷）
北条氏	（小田原）
大友宗麟	（戦国大名）
斉藤道三	（戦国大名）
上杉謙信	（戦国大名）
毛利元就	（戦国大名）
今川義元	（戦国大名）
北条早雲	（戦国大名）
武田信玄	（戦国大名）
最上	（戦国大名）
伊達	（戦国大名）
織田	（戦国大名）
斎藤	（戦国大名）
三好	（戦国大名）
長宗我部	（戦国大名）
竜造寺	（戦国大名）
毛利	（戦国大名）
尼子	（戦国大名）
浅井	（戦国大名）
上杉	（戦国大名）
世阿弥	（能楽）
雪舟	（水墨画）
宗祇	（連歌）

近世

ムハンマド	（イスラム教）
ルター	（宗教改革）
コロンブス	（新航路開拓）
バスコ＝ダ＝ガマ	（新航路開拓）
マゼラン	（新航路開拓）
ザビエル	（イエズス会宣教師）
大内氏	（キリスト教許可）
大友宗麟	（ザビエル招く）
尼子氏	（石見銀山をめぐる争い）
毛利氏	（石見銀山をめぐる争い）
織田信長	（全国統一）
今川義元	（桶狭間の戦い）
足利義昭	（将軍）
武田勝頼	（長篠の戦）
明智光秀	（本能寺の変）
豊臣秀吉	（全国統一）
北条氏	（戦国大名）
織田	（戦国大名）
最上	（戦国大名）
伊達	（戦国大名）
佐竹	（戦国大名）
徳川	（戦国大名）
長宗我部	（戦国大名）
島津	（戦国大名）
大友	（戦国大名）
龍造寺	（戦国大名）
毛利	（戦国大名）
上杉	（戦国大名）
李舜臣	（朝鮮水軍）
狩野永徳	（屏風絵）
千利休	（茶の湯）
阿国	（歌舞伎踊り）
徳川家康	（江戸幕府）
石田三成	（関が原の戦い）
豊臣氏	（大阪の陣）
徳川秀忠	（２代将軍）
徳川家光	（３代将軍）
鳥取藩主池田氏	（参勤交代の記録）
南部	（主な大名）
伊達	（主な大名）
丹羽	（主な大名）
本多	（主な大名）
奥平	（主な大名）
水戸徳川	（主な大名）
土井	（主な大名）
阿部	（主な大名）
徳川	（主な大名）
酒井	（主な大名）
真田	（主な大名）
稲葉	（主な大名）
徳川	（主な大名）
尾張徳川	（主な大名）
戸田	（主な大名）
松平	（主な大名）
藤堂	（主な大名）
井伊	（主な大名）
本多	（主な大名）
紀伊徳川	（主な大名）
蜂須賀	（主な大名）
山内	（主な大名）
松平	（主な大名）
松平	（主な大名）
有馬	（主な大名）
島津	（主な大名）
立花	（主な大名）
細川	（主な大名）
鍋島	（主な大名）
黒田	（主な大名）
小笠原	（主な大名）
毛利	（主な大名）
浅野	（主な大名）
水野	（主な大名）
池田	（主な大名）
松平	（主な大名）
森	（主な大名）
池田	（主な大名）
榊原	（主な大名）
京極	（主な大名）
酒井	（主な大名）
松平	（主な大名）
前田	（主な大名）
前田	（主な大名）
松平	（主な大名）
酒井	（主な大名）
上杉	（主な大名）
松平	（主な大名）
松平	（主な大名）
佐竹	（主な大名）
松前	（主な大名）
山田長政	（タイ日本町長）
宗氏	（対馬藩）
天草四郎（益田時貞）	（島原・天草一揆）
キリスト	（踏絵）
マリア	（踏絵）
シャクシャイン	（アイヌの戦い）
孔子	（儒学）
三井	（大商人）
鴻池	（大商人）
三井高利	（越後屋）
高田屋嘉兵衛	（北前船）
徳川綱吉	（５代将軍）
井原西鶴	（小説）
近松門左衛門	（台本）
松尾芭蕉	（俳諧）
菱川師宣	（浮世絵）
俵屋宗達	（装飾画）
尾形光琳	（装飾画）
関孝和	（和算）
坂田藤十郎	（上方歌舞伎）
市川団十郎	（江戸歌舞伎）
徳川吉宗	（享保の改革）
田沼意次	（財政再建）
松平定信	（寛政の改革）
高野長英	（幕府批判）
渡辺崋山	（幕府批判）
大塩平八郎	（大塩平八郎の乱）
水野忠邦	（天保の改革）
上杉治憲	（米沢藩再建）
ラクスマン	（根室来航）
大黒屋光太夫	（ロシア漂着）
最上徳内	（蝦夷地調査）
近藤重蔵	（蝦夷地調査）
間宮林蔵	（蝦夷地調査）
本居宣長	（古事記伝）
杉田玄白	（解体新書）
前野良沢	（解体新書）
シーボルト	（オランダ医師）
平賀源内	（発明家）
伊能忠敬	（日本地図）
東洲斎写楽	（役者絵）
喜多川歌麿	（美人画）
葛飾北斎	（風景画）
歌川広重	（風景画）
十返舎一九	（東海道中膝栗毛）
滝沢馬琴	（南総里見八犬伝）
与謝蕪村	（俳諧）
小林一茶	（俳諧）
ゴッホ	（ジャポニズム）
モネ	（ジャポニズム）
平田靱負	（木曽三川治水工事薩摩藩総奉行）

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　帝　国　】（中学校　社会　歴史的分野）

近代						現代	
ルイ１４世	（フランス王）	正岡子規	（病牀六尺）	ヒトラー	（ナチ党）	マッカーサー	（ＧＨＱ）
ルソー	（社会契約説）	黒田清輝	（読書図）	チャップリン	（喜劇王）	昭和天皇	（人間宣言）
ナポレオン	（法律制定）	高村光雲	（老猿）	溥儀	（満州国皇帝）	毛沢東	（中華人民共和国成立）
ビスマルク	（ドイツ統一）	荻原守衛	（美術）	蔣介石	（国民党）	吉田茂	（サンフランシスコ平和条約）
伊藤博文	（内閣総理大臣）	フェノロサ	（日本美術）	毛沢東	（中国共産党指導者）	鳩山一郎	（日ソ共同宣言）
リンカン	（南北戦争）	岡倉天心	（日本美術）	杉原千畝	（ユダヤ人救済）	岸信介	（新安保条約）
マルクス	（社会主義）	横山大観	（無我）	斎藤隆夫	（政府と軍を批判し除名）	ネルー	（アジア・アフリカ会議）
林則徐	（清の大臣）	寺島宗則	（条約改正交渉）	昭和天皇	（終戦ラジオ放送）	池田勇人	（所得倍増政策）
高杉晋作	（奇兵隊）	井上馨	（条約改正交渉）			佐藤栄作	（沖縄返還）
ペリー	（東インド艦隊司令長官）	青木周蔵	（条約改正交渉）			田中角栄	（日中共同声明）
ラクスマン	（根室来航）	陸奥宗光	（日英通商航海条約）			周恩来	（日中共同声明）
吉田松陰	（松下村塾）	小村寿太郎	（関税自主権回復）			美空ひばり	（歌手）
井伊直弼	（日米修好通商条約）	西太后	（皇帝の後見人）			黒澤明	（映画監督）
徳川家茂	（１４代将軍）	東郷平八郎	（日本海海戦）			湯川秀樹	（ノーベル賞日本人初受賞）
坂本龍馬	（薩長同盟）	内村鑑三	（非戦論）			松本清張	（経済小説）
徳川慶喜	（大政奉還）	孫文	（辛亥革命）			司馬遼太郎	（歴史小説）
西郷隆盛	（薩摩藩）	小早川	（朝鮮総督の歌）			川端康成	（ノーベル文学賞）
勝海舟	（江戸城無血開城）	加藤	（朝鮮総督の歌）			大江健三郎	（ノーベル文学賞）
大久保利通	（薩摩藩）	小西	（朝鮮総督の歌）			手塚治虫	（漫画の表現方法を確立）
岩倉具視	（王政復古の大号令）	安重根	（伊藤博文暗殺）			ケネディ	（暗殺）
中岡慎太郎	（薩長同盟）	ネルー	（インド初代首相）			ブッシュ	（マルタ会談）
横井小楠	（福井藩改革）	インディラ	（ネルーの娘）			ゴルバチョフ	（マルタ会談）
後藤象二郎	（土佐藩）	袁世凱	（中国大総統）			細川護熙	（55年体制の終わり）
木戸孝允	（長州藩）	豊田佐吉	（豊田式自動織機発明）			ＥＨカー	（歴史家）
明治天皇	（五箇条の御誓文）	北里柴三郎	（ペスト菌発見）			田中正造	（自然破壊に対する警告）
三条実美	（太政大臣）	志賀潔	（赤痢菌発見）				
板垣退助	（自由民権運動）	野口英世	（黄熱病研究）				
大隈重信	（立憲改進党）	田中正造	（足尾銅山鉱毒事件）				
福沢諭吉	（学問のすゝめ・西洋事情）	幸徳秋水	（社会主義者）				
中江兆民	（思想家）	レーニン	（ロシア革命）				
前島密	（郵便制度）	ウィルソン	（国際連盟）				
山口尚芳	（岩倉使節団）	柳寛順	（三・一独立運動）				
津田梅子	（女子英語塾の創設者）	ガンディー	（非暴力・不服従）				
尚泰	（琉球最後の王）	犬養毅	（五・一五事件）				
謝花昇	（琉球の運動家）	尾崎幸雄	（護憲運動）				
伊波普猷	（沖縄の独自性）	吉野作造	（民本主義）				
柳宗悦	（民芸評論家）	原敬	（政党内閣）				
黒田清隆	（内閣総理大臣）	加藤高明	（男子普通選挙）				
ケプロン	（お雇い外国人）	平塚らいてう	（青鞜社）				
クラーク	（札幌農学校教頭）	市川房枝	（女性参政権）				
知里幸恵	（アイヌ文化）	小林多喜二	（プロレタリア文学）				
金田一京助	（言語学者）	芥川龍之介	（蜘蛛の糸）				
植木枝盛	（思想家）	志賀直哉	（文学）				
川上音二郎	（オッペケペ節）	谷崎潤一郎	（文学）				
坪内逍遥	（小説神髄）	柳田国男	（民俗学）				
与謝野晶子	（みだれ髪）	新美南吉	（ごんぎつね）				
島崎藤村	（若菜集）	竹久夢二	（絵画）				
夏目漱石	（坊っちゃん）	小林一三	（阪急電鉄）				
森鴎外	（舞姫）	宮沢賢治	（雨ニモマケズ）				
樋口一葉	（たけくらべ）	ローズベルト	（ニューディール政策）				
石川啄木	（一握の砂）	スターリン	（５か年計画）				
二葉亭四迷	（浮雲）	ムッソリーニ	（ファシスト党）				

古代まで

ラムセス２世	（エジプト文明）
ハムラビ王	（メソポタミア文明）
始皇帝	（中国統一）
シャカ	（仏教）
イエス	（キリスト教）
ムハンマド（マホメット）	（イスラム教）
アッラー	（イスラム教唯一神）
孔子	（儒教）
倭奴国王	（金印）
卑弥呼	（邪馬台国女王）
乎ワ居	（稲荷山古墳豪族）
ワカタケル大王（武）	（鉄剣）
讃	（倭の五王）
珍	（倭の五王）
済	（倭の五王）
興	（倭の五王）
蘇我氏	（崇仏論争）
物部氏	（崇仏論争）
聖徳太子	（摂政）
推古天皇	（初の女帝）
蘇我馬子	（飛鳥寺建立）
小野妹子	（遣隋使）
中大兄皇子（天智天皇）	（大化の改新）
中臣鎌足（藤原鎌足）	（大化の改新）
天武天皇	（律令の編纂）
持統天皇	（藤原京）
鑑真	（寺院・僧の制度）
聖武天皇	（大仏建立）
行基	（社会事業）
柿本人麻呂	（万葉集）
大伴家持	（万葉集）
山上憶良	（貧窮問答歌）
棚田嘉十郎	（平城京保存）
長屋王	（貴族）
藤原氏	（摂関政治）
桓武天皇	（平安京）
坂上田村麻呂	（征夷大将軍）
藤原道長	（摂関政治）
藤原頼通	（摂関政治）
阿弖流為	（蝦夷族長）
母礼	（蝦夷副将）
平将門	（反乱）
藤原純友	（反乱）
源氏	（武士団）
平氏	（武士団）
平清盛	（武士の棟梁）
源頼朝	（武士の棟梁）
安倍氏	（東北豪族）
清原氏	（東北豪族）
源義家	（武士の棟梁）
奥州藤原氏	（平泉）
最澄	（天台宗）
空海	（真言宗）

中世

チンギス＝ハン	（モンゴル帝国）
マルコ＝ポーロ	（東方見聞録）
後三条天皇	（荘園整理）
白河天皇	（院政）
源氏	（保元の乱・平治の乱）
平氏	（保元の乱・平治の乱）
源義朝	（平治の乱）
藤原氏	（摂関政治）
平清盛	（平氏政権）
源頼朝	（鎌倉幕府）
後白河法皇	（荘園寄進）
源義仲	（源平合戦）
源義経	（源平合戦）
奥州藤原氏	（平泉）
北条氏	（執権政治）
北条政子	（頼朝の妻）
北条義時	（承久の乱）
後鳥羽上皇	（承久の乱）
北条泰時	（御成敗式目）
源実朝	（３代将軍）
九条頼常	（４代将軍）
北条時房	（承久の乱）
三浦義村	（守護）
小笠原長清	（守護）
武田信光	（守護）
逸見入道	（守護）
長沼宗政	（守護）
佐々木信綱	（守護）
島津忠時	（守護）
島津忠久	（守護）
常陸房昌明	（守護）
佐々木義清	（守護）
安保実員	（守護）
橘公業	（守護）
フビライ・ハン	（元寇）
北条時宗	（元寇）
竹崎季長	（蒙古襲来絵詞）
後醍醐天皇	（建武の新政）
楠木正成	（倒幕）
足利尊氏	（征夷大将軍）
足利義満	（南北朝合一）
新田義貞	（鎌倉攻め）
尚氏	（琉球王国）
足利義教	（６代将軍）
足利義政	（８代将軍）
細川氏	（応仁の乱）
山名氏	（応仁の乱）
伊達	（戦国大名）
北条	（戦国大名）
今川	（戦国大名）
織田	（戦国大名）
六角	（戦国大名）
三好	（戦国大名）
長宗我部	（戦国大名）
島津	（戦国大名）
相良	（戦国大名）
龍造寺	（戦国大名）
大友	（戦国大名）
毛利	（戦国大名）
尼子	（戦国大名）
浅井	（戦国大名）
朝倉	（戦国大名）
武田	（戦国大名）
上杉	（戦国大名）
今川氏輝	（今川氏）
今川義元	（今川氏）
寿桂尼	（女戦国大名）
中御門宣胤	（京都の公家）
今川氏親	（寿桂尼夫）
織田信長	（桶狭間）
武田信玄	（戦国大名）
法然	（浄土宗）
親鸞	（浄土真宗）
日蓮	（日蓮宗）
鴨長明	（方丈記）
吉田兼好	（徒然草）
達磨	（禅宗）
運慶	（金剛力士像）
快慶	（金剛力士像）
重源	（東大寺復興）
雪舟	（水墨画）
観阿弥	（能楽）
世阿弥	（能楽）

紫式部	（源氏物語）
清少納言	（枕草子）
紀貫之	（古今和歌集）

近世

コロンブス	（アメリカ大陸到達）
マゼラン	（世界一周）
バスコ＝ダ＝ガマ	（インド航路）
ムハンマド	（イスラムの広がり）
ミケランジェロ	（ダビデ像）
レオナルド＝ダ＝ビンチ	（モナ＝リザ）
フランシスコ＝ザビエル	（キリスト教）
織田信長	（全国統一）
今川義元	（桶狭間の戦い）
足利義昭	（将軍）
武田氏	（戦国大名）
大村	（少年使節派遣）
大友	（少年使節派遣）
有馬	（少年使節派遣）
伊東マンショ	（天正少年使節）
千々石ミゲル	（天正少年使節）
中浦ジュリアン	（天正少年使節）
原マルチノ	（天正少年使節）
武田勝頼	（長篠合戦）
毛利氏	（戦国大名）
明智光秀	（本能寺の変）
小早川家	（刀狩令文書）
豊臣秀吉	（天下統一）
伊達	（信長・秀吉の時代の大名）
北条	（信長・秀吉の時代の大名）
武田	（信長・秀吉の時代の大名）
徳川	（信長・秀吉の時代の大名）
長宗我部	（信長・秀吉の時代の大名）
明智	（信長・秀吉の時代の大名）
浅井	（信長・秀吉の時代の大名）
朝倉	（信長・秀吉の時代の大名）
柴田	（信長・秀吉の時代の大名）
上杉	（信長・秀吉の時代の大名）
狩野永徳	（障壁画）
千利休	（茶の湯）
出雲阿国	（阿国歌舞伎）
李参平	（有田焼）
池田輝政	（姫路城）
徳川家康	（江戸幕府）
豊臣氏	（関が原の戦い）
石田三成	（関が原の戦い）
南部	（江戸初期の大名）
伊達	（江戸初期の大名）
上杉	（江戸初期の大名）
丹羽	（江戸初期の大名）
保科	（江戸初期の大名）
本多	（江戸初期の大名）
奥平	（江戸初期の大名）
酒井	（江戸初期の大名）
徳川（水戸）	（江戸初期の大名）
土井	（江戸初期の大名）
阿部	（江戸初期の大名）
徳川（館林）	（江戸初期の大名）
稲葉	（江戸初期の大名）
徳川（甲府）	（江戸初期の大名）
徳川（尾張）	（江戸初期の大名）
松平	（江戸初期の大名）
藤堂	（江戸初期の大名）
本多（郡山）	（江戸初期の大名）
徳川（紀州）	（江戸初期の大名）
榊原	（江戸初期の大名）
蜂須賀	（江戸初期の大名）
松平（高松）	（江戸初期の大名）
山内	（江戸初期の大名）
松平（松山）	（江戸初期の大名）
有馬	（江戸初期の大名）
細川	（江戸初期の大名）
立花	（江戸初期の大名）
鍋島	（江戸初期の大名）
黒田	（江戸初期の大名）
小笠原	（江戸初期の大名）
宗	（江戸初期の大名）
毛利	（江戸初期の大名）
浅野	（江戸初期の大名）
水野	（江戸初期の大名）
松平（松江）	（江戸初期の大名）
池田	（江戸初期の大名）
森	（江戸初期の大名）
池田（鳥取）	（江戸初期の大名）
酒井	（江戸初期の大名）
井伊	（江戸初期の大名）
松平（福井）	（江戸初期の大名）
戸田	（江戸初期の大名）
前田	（江戸初期の大名）
松平（高田）	（江戸初期の大名）
真田	（江戸初期の大名）
松平（村上）	（江戸初期の大名）
酒井（庄内）	（江戸初期の大名）
松平	（江戸初期の大名）
佐竹	（江戸初期の大名）
徳川秀忠	（２代将軍）
徳川家光	（３代将軍）
イエス	（踏絵）
島津氏	（琉球征服）
松前氏	（松前藩）
シャクシャイン	（シャクシャインの戦い）
三井家	（越後屋）
井上伝	（久留米がすり）
レンブラント	（版画）
徳川綱吉	（５代将軍）
徳川吉宗	（８代将軍）
田沼意次	（政治改革）
松平定信	（寛政の改革）
武左衛門	（一揆）
井原西鶴	（日本永代蔵）
近松門左衛門	（心中天の網島）
松尾芭蕉	（俳諧）
俵屋宗達	（屏風絵）
尾形光琳	（屏風絵）
菱川師宣	（浮世絵）
与謝蕪村	（俳諧）
小林一茶	（俳諧）
十返舎一九	（東海道中膝栗毛）
滝沢馬琴	（南総里見八犬伝）
喜多川歌麿	（美人画）
葛飾北斎	（富嶽三十六景）
歌川広重	（東海道五十三次）
シーボルト	（鳴滝塾）
高野長英	（蘭学者）
青木昆陽	（蕃薯考）
関孝和	（和算）
宮崎安貞	（農業全書）
本居宣長	（国学）
前野良沢	（解体新書）
杉田玄白	（解体新書）
平賀源内	（発電機）
伊能忠敬	（日本地図）
安藤昌益	（身分制社会批判）
ルター	（宗教改革）

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　日　文　】（中学校　社会　歴史的分野）

近代						現代	
豊臣秀吉	（対外戦争）	緒方洪庵	（適塾）	原敬	（政党内閣）	マッカーサー	（連合国軍最高司令官）
クロムウェル	（ピューリタン革命）	尚泰	（最後の琉球国王）	吉野作造	（民本主義）	毛沢東	（中華人民共和国）
ナポレオン	（フランス軍人）	青木勘次郎	（相原村豪農）	美濃部達吉	（憲法学者）	周恩来	（アジア・アフリカ会議）
ルイ１４世	（絶対王政）	植木枝盛	（思想家）	加藤高明	（普通選挙法）	ネルー	（アジア・アフリカ会議）
ルイ１６世	（絶対王政）	黒田清隆	（内閣総理大臣）	谷崎潤一郎	（小説）	吉田茂	（サンフランシスコ平和条約）
マリー＝アントワネット	（ルイ１６世妻）	井上馨	（条約改正交渉）	芥川龍之介	（小説）	池田勇人	（所得倍増）
ワット	（蒸気機関）	陸奥宗光	（治外法権撤廃）	武者小路実篤	（白樺派）	萱野茂	（アイヌ民族初の国会議員）
スチーブンソン	（蒸気機関車ロケット号）	小村寿太郎	（関税自主権回復）	小林多喜二	（プロレタリア文学）	高嶋由美子	（国連難民高等弁務官事務所）
オーウェン	（労働状態の改善）	与謝野晶子	（君死にたまふことなかれ）	中里介山	（大衆文学）	野口聡一	（国際宇宙ステーション）
フランクリン	（独立宣言）	幸徳秋水	（社会主義者）	江戸川乱歩	（大衆文学）		
ジェファーソン	（独立宣言）	内村鑑三	（キリスト教徒）	西光万吉	（水平社綱領）		
ワシントン	（アメリカ大統領）	石川啄木	（詩人）	スターリン	（ヤルタ会談）		
リンカーン	（奴隷解放宣言）	安重根	（伊藤博文暗殺）	ヒトラー	（ナチ党）		
洪秀全	（太平天国）	孫文	（辛亥革命）	ムッソリーニ	（ファシスト党）		
レザノフ	（ロシア通商要求）	袁世凱	（中国軍閥）	ルーズベルト	（ニューディール）		
ラクスマン	（ロシア使節）	田中正造	（足尾鉱毒事件）	ピカソ	（ゲルニカ）		
ゴローウニン	（ロシア測量強行）	高野房太郎	（労働組合）	フランコ	（反ファシズム）		
ビッドル	（通商要求）	片山潜	（社会民主党）	蔣介石	（国民党）		
渡辺崋山	（蛮社の獄）	平塚らいてう	（青鞜）	溥儀	（満州国皇帝）		
高野長英	（蛮社の獄）	マルクス	（共産党宣言）	犬養毅	（五・一五事件）		
大塩平八郎	（幕府への反乱）	エンゲルス	（共産党宣言）	石橋湛山	（ジャーナリスト）		
間宮林蔵	（北方探検）	坪内逍遥	（小説）	毛沢東	（中国共産党指導者）		
最上徳内	（北方探検）	二葉亭四迷	（小説）	杉原千畝	（ユダヤ人救済）		
近藤重蔵	（北方探検）	夏目漱石	（小説）	アンネ＝フランク	（アンネの日記）		
水野忠邦	（天保の改革）	正岡子規	（俳句・短歌の近代化）	チャーチル	（イギリス首相）		
ペリー	（開国）	横山大観	（日本画）	アウン＝サン	（抗日運動）		
ハリス	（アメリカ総領事）	黒田清輝	（西洋画）	昭和天皇	（終戦のラジオ放送）		
井伊直弼	（日米修好通商条約）	荻原守衛	（彫刻）	石川達三	（作家）		
吉田松陰	（松下村塾）	滝廉太郎	（作曲家）	手塚治虫	（漫画家）		
孝明天皇	（公武合体）	北里柴三郎	（医学）	勝海舟	（幕臣）		
和宮	（公武合体）	長岡半太郎	（物理学）				
伊藤博文	（初代内閣総理大臣）	志賀潔	（赤痢菌発見）				
徳川家茂	（公武合体）	野口英世	（黄熱病の研究）				
高杉晋作	（長州藩）	木村　栄	（緯度変化の研究）				
木戸孝允	（長州藩）	高峰譲吉	（アドレナリンの抽出）				
西郷隆盛	（薩摩藩）	鈴木梅太郎	（ビタミンｂ１の抽出）				
大久保利通	（薩摩藩）	大森房吉	（地震計の発明）				
坂本龍馬	（薩長同盟）	本多光太郎	（特殊鋼の発明）				
岩倉具視	（王政復古の大号令）	森鷗外	（舞姫）				
徳川慶喜	（大政奉還）	樋口一葉	（たけくらべ）				
明治天皇	（五箇条の御誓文）	島崎藤村	（若菜集）				
大隈重信	（早稲田大学の創設者）	豊田佐吉	（自動織機発明）				
板垣退助	（自由民権運動）	津田米次郎	（絹織物動力織機）				
三条実美	（太政大臣）	影山家	（新聞社カメラマン）				
岡倉天心	（日本画の改革）	ベートーベン	（第九演奏）				
フェノロサ	（東京美術学校の設立）	レーニン	（ロシア革命）				
山口尚芳	（岩倉使節団）	ウィルソン	（平和の永続）				
津田梅子	（女子英語塾の創設者）	新渡戸稲造	（国際連盟の事務次長）				
狩野芳崖	（フェノロサによる支援）	メリー	（新渡戸稲造妻）				
福沢諭吉	（学問のすすめ・西洋事情）	ガンディー	（非暴力・不服従）				
中江兆民	（思想家）	柳宗悦	（美術評論家）				
長与専斎	（衛生思想普及）	市川房枝	（新婦人協会）				

「別紙２－１」【（1）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　自由社　】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで

相澤忠洋（岩宿遺跡）
孔子（儒教）
始皇帝（中国統一）
イエス（キリスト教）
シャカ（釈迦）（仏教）
ムハンマド（イスラム教）
アラー（イスラム教唯一神）
ガブリエル天使（ムハンマドに預言）
ヤハウェ（ユダヤ教唯一神）
倭奴国王（金印）
卑弥呼（邪馬台国女王）
光武帝（金印）
師升（倭国王）
安帝（後漢皇帝）
仁徳天皇（大仙古墳）
神武天皇（初代天皇）
イザナキの命（国生み神話）
イザナミの命（国生み神話）
アマテラス大神（国生み神話）
スサノオの命（国生み神話）
ツクヨミの命（国生み神話）
オオクニヌシの命（国ゆずり神話）
ニニギの命（天孫降臨神話）
ホオリの命（天孫降臨神話）
イワレヒコの命（天孫降臨神話）
タケミカズチノカミ（国ゆずり神話）
皇后陛下（出雲大社訪問）
広開土王（好太王）（高句麗石碑）
讃（倭の五王）
珍（倭の五王）
済（倭の五王）
興（倭の五王）
雄略天皇（上表文）
聖明王（仏教伝来）
欽明天皇（仏教伝来）
蘇我氏（崇仏論争）
物部氏（崇仏論争）
蘇我馬子（飛鳥寺建立）
鞍作鳥（止利仏師）（釈迦三尊像）
聖徳太子（厩戸皇子）（摂政）
推古天皇（初の女帝）
小野妹子（遣隋使）
煬帝（隋皇帝）
蘇我蝦夷（馬子の子）
蘇我入鹿（太子一族を滅ぼす）
山背大兄王（聖徳太子長男）
中大兄皇子（天智天皇）（大化の改新）
中臣鎌足（大化の改新）
大友皇子（壬申の乱）
大海人皇子（天武天皇）（壬申の乱）
持統天皇（藤原京）
聖武天皇（大仏建立）
行基（大仏建立）

中世

後白河天皇・上皇（保元の乱）
崇徳上皇（保元の乱）
藤原氏（摂関家）
慈円（愚管抄）
平清盛（平氏政権）
源義朝（平治の乱）
安徳天皇（清盛の孫）
以仁王（平氏追討）
源頼朝（鎌倉幕府）
源義経（平氏追討）
奥州藤原氏（平泉）
北条政子（頼朝妻）
北条氏（執権政治）
源実朝（三代将軍）
後鳥羽上皇（承久の乱）
北条泰時（御成敗式目）
源氏（武家の棟梁）
平氏（武家の棟梁）
北条時頼（執権）
佐野常世（謡曲「鉢の木」）
チンギス・ハン（モンゴル帝国）
阿倍仲麻呂（遣唐使）
鑑真（戒律）
柿本人麻呂（万葉集）
大伴家持（万葉集）
桓武天皇（平安京）
坂上田村麻呂（征夷大将軍）
アテルイ（蝦夷指導者）
藤原氏（摂関政治）
藤原道長（摂関政治）
藤原頼通（摂関政治）
彰子（道長の娘）
最澄（天台宗）
空海（真言宗）
菅原道真（遣唐使廃止）
清少納言（枕草子）
紫式部（源氏物語）
醍醐天皇（古今和歌集）
紀貫之（古今和歌集）
源信（浄土教）
空也（浄土教）
松尾芭蕉（江戸時代の俳人）
マルコ・ポーロ（黄金の国ジパング）
源氏（武士の棟梁）
平氏（武士の棟梁）
平将門（反乱）
藤原純友（反乱）
後三条天皇（荘園整理）
藤原頼通の娘（天皇の后）
白河天皇・上皇（院政）
源義家（前九年の役）
清和天皇（源氏の祖）
太宗（宋の皇帝）
フビライ・ハン（元）
北条時宗（元寇）
後醍醐天皇（建武の新政）
護良親王（幕府との戦い）
楠木正成（幕府との戦い）
足利尊氏（室町幕府）
新田義貞（幕府との戦い）
足利義満（三代将軍）
足利一族（室町幕府）
佐竹（守護大名）
千葉（守護大名）
武田（守護大名）
今川（守護大名）
土岐（守護大名）
畠山（守護大名）
山名（守護大名）
細川（守護大名）
大友（守護大名）
一色（守護大名）
島津（守護大名）
菊池・阿蘇（守護大名）
今川（守護大名）
大内（守護大名）
武田（守護大名）
佐々木（守護大名）
赤松（守護大名）
富樫（守護大名）
斯波（守護大名）
佐々木（守護大名）
上杉（守護大名）
足利義持（４代将軍）
李成桂（朝鮮国）
宗氏（対馬・朝鮮貿易）
尚氏（琉球王国）
足利義政（８代将軍）
足利義視（義政後継者）
足利義尚（義政の子）
細川勝元（応仁の乱）
山名持豊（応仁の乱）
法然（浄土宗）
親鸞（浄土真宗）
日蓮（日蓮宗）
栄西（臨済宗）
道元（曹洞宗）
一遍（時宗）
蓮如（布教活動）
藤原定家（新古今和歌集）
鴨長明（方丈記）
吉田兼好（徒然草）
運慶（彫刻）
重源上人（東大寺復興）
快慶（金剛力士像）
観阿弥（能）

近世

ゴッホ（タンギー爺さん）
伊達（戦国大名）
佐竹（戦国大名）
織田（戦国大名）
六角（戦国大名）
三好（戦国大名）
長宗我部（戦国大名）
大友（戦国大名）
相良（戦国大名）
島津（戦国大名）
竜造寺（戦国大名）
尼子（戦国大名）
山名（戦国大名）
浅井（戦国大名）
斎藤（戦国大名）
北条氏（戦国大名）
朝倉氏（戦国大名）
今川氏（戦国大名）
上杉氏（戦国大名）
武田氏（戦国大名）
毛利氏（戦国大名）
武田信玄（分国法）
朝倉孝景（分国法）
ルター（宗教改革）
コロンブス（大航海時代）
バスコ・ダ・ガマ（大航海時代）
マゼラン（大航海時代）
コルテス（アステカ滅ぼす）
ピサロ（インカ滅ぼす）
ザビエル（キリスト教布教）
大村氏（キリシタン大名）
織田信長（全国統一）
今川義元（桶狭間の戦い）
足利義昭（将軍）
武田勝頼（長篠の戦）
明智光秀（本能寺の変）
島津義久（秀吉の九州平定）
長宗我部元親（秀吉の四国平定）
北条氏政（秀吉の小田原攻め）
北条氏直（秀吉の小田原攻め）
世阿弥（能）
雪舟（水墨画）
大内氏（城下町）
上杉氏（足利学校）
宗助国（元・高麗連合軍）
山県有朋（意見書提出）
織田信長（天下統一）
豊臣秀吉（天下統一）
足利義昭（室町幕府滅亡）
伊達政宗（秀吉の奥州平定）
豊臣秀吉（天下統一）
加藤清正（朝鮮出兵）
小西行長（朝鮮出兵）
李舜臣（朝鮮出兵）
フェリペ２世（スペイン国王）
トルレス（布教長）
オルガンチーノ（神父）
カブラル（布教長）
ヴァリニャーノ（東インド管区巡察師）
フロイス（日本史）
高山右近（キリシタン大名）
コエリョ（宣教師）
聖徳太子（宗教的に寛容）
狩野永徳（障壁画）
千利休（茶の湯）
出雲の阿国（阿国歌舞伎）
上杉謙信（洛中洛外図屏風）
長谷川等伯（肖像画）
徳川家康（江戸幕府）
石田三成（関が原の戦い）
豊臣氏（大阪の陣）
徳川氏（全国支配）
徳川家光（３代将軍）
狩野安信（肖像画）
佐竹（江戸初期の大名）
南部（江戸初期の大名）
酒井（庄内）（江戸初期の大名）
松平（山形）（江戸初期の大名）
伊達（仙台）（江戸初期の大名）
丹羽（江戸初期の大名）
本多（白河）（江戸初期の大名）
奥平（江戸初期の大名）
徳川（館林）（江戸初期の大名）
徳川（水戸）（江戸初期の大名）
土井（江戸初期の大名）
阿部（江戸初期の大名）
酒井（前橋）（江戸初期の大名）
稲葉（江戸初期の大名）
徳川（名古屋）（江戸初期の大名）
戸田（江戸初期の大名）
藤堂（江戸初期の大名）
井伊（江戸初期の大名）
徳川（和歌山）（江戸初期の大名）
蜂須賀（江戸初期の大名）
山内（江戸初期の大名）
松平（松山）（江戸初期の大名）
伊達（宇和島）（江戸初期の大名）
島津（江戸初期の大名）
細川（江戸初期の大名）
有馬（江戸初期の大名）
立花（江戸初期の大名）
鍋島（江戸初期の大名）
黒田（江戸初期の大名）
小笠原（江戸初期の大名）
宗（江戸初期の大名）
毛利（江戸初期の大名）
浅野（江戸初期の大名）
水野（江戸初期の大名）
松平（高松）（江戸初期の大名）
松平（松江）（江戸初期の大名）
池田（江戸初期の大名）
本多（江戸初期の大名）
酒井（小浜）（江戸初期の大名）
池田（鳥取）（江戸初期の大名）
榊原（江戸初期の大名）
松平（福井）（江戸初期の大名）
前田（金沢）（江戸初期の大名）
前田（富山）（江戸初期の大名）
徳川（甲府）（江戸初期の大名）
真田（江戸初期の大名）
保科（江戸初期の大名）
松平（村上）（江戸初期の大名）
松平（高田）（江戸初期の大名）
上杉（米沢）（江戸初期の大名）
山田長政（日本町）
天草四郎時貞（島原の乱）
志筑忠雄（長崎通詞）
ケンペル（日本誌）
イエス・キリスト（踏絵）
宗氏（朝鮮国交回復）
シャクシャイン（シャクシャインの戦い）
徳川綱吉（５代将軍）
新井白石（財政再建）
井原西鶴（日本永代蔵）
近松門左衛門（心中天の網島）
松尾芭蕉（俳諧）
俵屋宗達（屏風絵）
尾形光琳（屏風絵）
菱川師宣（浮世絵）
林羅山（朱子学）
中江藤樹（陽明学）
山鹿素行（古典）
伊藤仁斎（古典）
荻生徂徠（古典）
徳川光圀（大日本史）
宮崎安貞（農業全書）
関孝和（和算）
浅野内匠頭（赤穂事件）
吉良上野介（赤穂事件）
大石内蔵助（赤穂事件）
二宮金次郎（尊徳）（勤倹貯蓄）
二宮家（金次郎の本家）
岡部家（金次郎の村名主）
服部家（金次郎の藩家老）
広瀬淡窓（咸宜園）

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　自由社　】（中学校　社会　歴史的分野）

近世		近代						現代			
緒方洪庵	（適塾）	ペリー	（黒船）	志賀潔	（赤痢菌）	リットン卿	（リットン調査団）	マッカーサー	（ＧＨＱ）	南部陽一郎	（ノーベル賞受賞者）
吉田松陰	（松下村塾）	阿部正弘	（老中）	大森房吉	（地震計）	鈴木貫太郎	（二・二六事件）	鳩山一郎	（日ソ共同宣言）	小林誠	（ノーベル賞受賞者）
石田梅岩	（石門心学）	ハリス	（アメリカ総領事）	木村栄	（緯度の変化）	張学良	（西安事件）	吉田茂	（サンフランシスコ講和条約）	益川敏英	（ノーベル賞受賞者）
本居宣長	（国学）	井伊直弼	（大老）	長岡半太郎	（原子模型）	斎藤隆夫	（戦争の目的を国会で質問）	東条英機	（東京裁判）	下村脩	（ノーベル賞受賞者）
徳川吉宗	（８代将軍）	徳川斉昭	（安政の大獄）	鈴木梅太郎	（ビタミンＢ１）	近衛文麿	（大東亜共栄圏）	パル	（東京裁判インド代表）	鈴木章	（ノーベル賞受賞者）
杉田玄白	（解体新書）	吉田松陰	（安政の大獄）	野口英世	（黄熱病）	ゾルゲ	（スパイ事件）	毛沢東	（中華人民共和国の成立）	根岸英一	（ノーベル賞受賞者）
前野良沢	（解体新書）	高杉晋作	（長州藩）	樋口一葉	（にごりえ）	松岡洋右	（三国同盟）	スターリン	（ソ連指導者）	レーガン	（ソ連との軍拡競争）
平賀源内	（発電機）	木戸孝允	（長州藩）	与謝野晶子	（短歌）	樋口季一郎	（ユダヤ人救済）	フルシチョフ	（スターリン批判）	ゴルバチョフ	（マルタ会談）
伊能忠敬	（日本地図）	西郷隆盛	（薩摩藩）	森鴎外	（舞姫）	東条英機	（首相）	岸信介	（日米安保条約の改定）	ブッシュ	（マルタ会談）
伊能家	（酒造業）	大久保利通	（薩摩藩）	夏目漱石	（坊っちゃん）	杉原千畝	（ユダヤ人救済）	チャーチル	（イギリス首相）	小泉	（拉致被害者の帰国）
高橋至時	（天文学者）	坂本龍馬	（薩長同盟）	フェノロサ	（伝統美術）	チャーチル	（ヤルタ会談）	トルーマン	（アメリカ大統領）	明治天皇	（トルコ使節歓迎）
ラランド	（天文学者）	徳川慶喜	（１５代将軍）	岡倉天心	（伝統美術）	トルーマン	（ヤルタ会談）	石橋湛山	（内閣総理大臣）	フセイン	（イラン・イラク戦争）
田沼意次	（政治改革）	孝明天皇	（幕府に好意的）	狩野芳崖	（悲母観音）	ゲリーナッシュ	（アメリカの歴史教科書）	池田勇人	（所得倍増政策）	八田與一	（ダム建設）
青木昆陽	（甘藷先生）	明治天皇	（五箇条の御誓文）	高村光雲	（彫刻）	マークセルデン	（日本敗戦の原因）	佐藤栄作	（非核三原則）		
松平定信	（寛政の改革）	岩倉具視	（王政復古の大号令）	黒田清輝	（油絵）	バー・モウ	（ビルマ元首相）	昭和天皇	（沖縄本土復帰式典出席）		
徳川家斉	（大御所時代）	勝海舟	（江戸城無血開城）	滝廉太郎	（荒城の月、花）	ジョイス・レブラ教授	（存亡のふちに立つ日本）	昭和皇后	（沖縄本土復帰式典出席）		
十返舎一九	（東海道中膝栗毛）	三条実美	（明治新政府）	ネルー	（インド首相）	津田梅子	（女子留学生）	アベベ	（東京オリンピック）		
式亭三馬	（浮世風呂）	グリフィス	（福井藩教授）	ムスタファー・カーミル	（エジプト民族運動指導者）			チャスラフスカ	（東京オリンピック）		
滝沢馬琴	（南総里見八犬伝）	福沢諭吉	（学問のすすめ）	シーラーズィー	（イランの詩人）			大松監督	（東京オリンピック）		
与謝蕪村	（俳諧）	小林虎三郎	（長岡藩、国漢学校）	レーニン	（ソビエト政府）			山下治広	（東京オリンピック）		
小林一茶	（俳諧）	間宮林蔵	（北方探検）	ニコライ2世	（ロマノフ王朝最後の皇帝）			ニクソン	（米中関係正常化）		
喜多川歌麿	（美人画）	山口尚芳	（岩倉使節団）	マルクス	（マルクス主義）			田中角栄	（日中共同声明）		
東洲斎写楽	（役者絵）	板垣退助	（民選議院設立建白書）	ウィルソン	（国際連盟提唱）			周恩来	（日中国交正常化）		
葛飾北斎	（富嶽三十六景）	ジョン・ブラック	（英字新聞）	ガンジー	（非暴力主義）			小渕恵三	（新元号『平成』）		
歌川広重	（東海道五十三次）	アンベール	（遣日使節団）	西園寺公望	（パリ講和会議全権代表）			明仁親王（今上天皇）	（皇位継承）		
池大雅	（文人画）	イザベラ・バード	（女性旅行家）	吉野作造	（民本主義）			三木武夫	（ロッキード事件究明）		
浦上玉堂	（文人画）	エドワード・モース	（東京大学動物学教授）	原敬	（本格的政党内閣）			福田赳夫	（歴代内閣）		
ラックスマン	（ロシアの接近）	ヴィレム・カッテン・ディーケ	（長崎海軍伝習所）	平塚らいてう	（婦人運動）			大平正芳	（歴代内閣）		
レザノフ	（ロシアの接近）	井上馨	（欧化政策）	加藤高明	（普通選挙法）			鈴木善幸	（歴代内閣）		
大塩平八郎	（大塩平八郎の乱）	陸奥宗光	（治外法権の撤廃）	松方正義	（藩閥内閣）			中曽根康弘	（国鉄民営化）		
高野長英	（蛮社の獄）	川上音二郎	（オッペケペ節）	桂太郎	（藩閥内閣）			竹下登	（消費税導入）		
渡辺崋山	（蛮社の獄）	大隈重信	（立憲改進党）	山本権兵衛	（１６・２２代総理大臣）			ジョージ5世	（昭和天皇と語らい）		
水野忠邦	（天保の改革）	伊藤博文	（内閣制度創設）	高橋是清	（２０代総理大臣）			鈴木貫太郎	（御前会議）		
林子平	（海国兵談）	黒田清隆	（総理大臣）	浜口雄幸	（政党内閣）			川端康成	（文学）		
会沢正志斎	（尊王攘夷）	山県有朋	（長州藩閥代表）	柳田国男	（民俗学）			三島由紀夫	（文学）		
間宮林蔵	（間宮海峡発見）	金玉均	（朝鮮開化派）	志賀直哉	（白樺派）			石原慎太郎	（文学）		
		李鴻章	（下関講和会議）	武者小路実篤	（白樺派）			湯川秀樹	（日本人初のノーベル賞受賞）		
		柴五郎	（義和団事件）	谷崎潤一郎	（耽美的作品）			美空ひばり	（国民的歌手）		
		小村寿太郎	（日英同盟）	芥川龍之介	（理知的作風）			松本清張	（社会派推理小説）		
		東郷平八郎	（日本海海戦）	吉川英治	（宮本武蔵）			司馬遼太郎	（歴史青春群像）		
		セオドア・ルーズベルト	（ポーツマス会議仲介）	大正天皇	（崩御）			小津安二郎	（映画監督）		
		ウィッテ	（ポーツマス会議ロシア代表）	裕仁親王（昭和天皇）	（昭和の始まり）			黒澤明	（映画監督）		
		乃木希典	（水師営の会見）	フランクリン・ルーズベルト	（ニューディール政策）			手塚治虫	（現代マンガの先駆者）		
		ステッセル	（水師営の会見）	若槻礼次郎	（ロンドン海軍軍縮会議）			宮崎駿	（アニメ）		
		ウィルヘルム2世	（黄禍論）	スターリン	（ヤルタ会談）			朝永振一郎	（ノーベル賞受賞者）		
		秋山真之	（日本海海戦）	ムッソリーニ	（ファシスト党）			江崎玲於奈	（ノーベル賞受賞者）		
		ロジェストヴェンスキー中将	（ロシア艦隊司令長官）	ヒトラー	（ナチス党）			福井謙一	（ノーベル賞受賞者）		
		孫文	（辛亥革命）	蒋介石	（国民党）			利根川進	（ノーベル賞受賞者）		
		袁世凱	（中華民国大総統）	幣原喜重郎	（外務大臣）			大江健三郎	（ノーベル賞受賞者）		
		渋沢栄一	（実業家）	張作霖	（満州軍閥）			白川英樹	（ノーベル賞受賞者）		
		田中正造	（足尾銅山鉱毒問題）	マクマリー	（中国情勢）			野依良治	（ノーベル賞受賞者）		
		北里柴三郎	（破傷風血清療法）	溥儀	（満州国皇帝）			小柴昌俊	（ノーベル賞受賞者）		
		高峰譲吉	（タカジアスターゼ）	犬養毅	（五・一五事件）			田中耕一	（ノーベル賞受賞者）		

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　育鵬社　】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで

孔子	（儒教）	孝謙天皇	（大仏開眼供養）
始皇帝	（中国統一）	桓武天皇	（平安京）
奴国王	（金印）	坂上田村麻呂	（征夷大将軍）
卑弥呼	（邪馬台国女王）	藤原氏	（摂関政治）
仁徳天皇	（大仙古墳）	藤原道長	（摂関政治）
武（雄略天皇）	（鉄剣）	藤原頼通	（摂関政治）
広開土王（好太王）	（高句麗石碑）	道鏡	（僧・貴族）
王仁	（漢字伝来）	和気清麻呂	（貴族）
シャカ	（仏教）	アテルイ	（蝦夷指導者）
イエス	（キリスト教）	最澄	（天台宗）
ムハンマド	（イスラム教）	空海	（真言宗）
アラー	（イスラム絶対神）	菅原道真	（遣唐使廃止）
北村季吟	（俳人）	清少納言	（枕草子）
蘇我氏	（崇仏論争）	紫式部	（源氏物語）
物部氏	（崇仏論争）	醍醐天皇	（古今和歌集）
推古天皇・額田部皇女	（初の女性天皇）	紀貫之	（古今和歌集）
聖徳太子（厩戸皇子）	（摂政）	源信	（浄土教）
小野妹子	（遣隋使）	空也	（浄土教）
煬帝	（隋皇帝）	藤原時平	（道真左遷）
用明天皇	（聖徳太子の父）	後白河上皇	（三十三間堂建立）
蘇我馬子	（飛鳥寺建立）	平清盛	（三十三間堂建立）
蘇我蝦夷	（馬子の子）	欽明天皇	（推古天皇父）
蘇我入鹿	（太子一族を滅ぼす）	敏達天皇	（倭の五王）
山背大兄王	（太子一族）	崇峻天皇	（暗殺）
中大兄皇子（天智天皇）	（大化の改新）	藤原彰子	（道長の娘）
中臣（藤原）鎌足	（大化の改新）	アーサー・ウェイリー	（源氏物語翻訳）
大友皇子	（壬申の乱）	将軍万福	（阿修羅像）
大海人皇子（天武天皇）	（壬申の乱・律令国家）	定朝	（雲中供養菩薩像）
持統天皇	（藤原京）		
鞍作鳥（止利仏師）	（釈迦三尊像）		
阿倍仲麻呂	（遣唐使）		
文武天皇	（大宝律令）		
長屋王	（貴族）		
大伴家持	（万葉集）		
柿本人麻呂	（万葉集）		
山上憶良	（万葉集）		
山部赤人	（万葉集）		
聖武天皇	（大仏建立）		
行基	（大仏建立）		
鑑真	（戒律）		
光明皇后	（聖武天皇の妻）		
稗田阿礼	（古事記）		
太安万侶	（古事記）		
小野老	（万葉集）		
イザナギ	（神話）		
イザナミ	（神話）		
スサノオノミコト	（神話）		
天照大神	（神話）		
オオクニヌシノミコト（大国主神）	（神話）		
ニニギノミコト	（神話）		
カムヤマトイワレヒコノミコト・神武天皇	（神話）		
ヤマトタケルノミコト（日本武尊）	（神話）		
景行天皇	（神話）		
国中連公麻呂	（大仏仏師）		

中世

源氏	（武家の棟梁）	細川氏	（三管領）
平氏	（武家の棟梁）	畠山氏	（三管領）
平将門	（平将門の乱）	佐竹	（守護大名）
藤原純友	（藤原純友の乱）	千葉	（守護大名）
源義家	（東北戦乱平定）	武田	（守護大名）
藤原氏	（摂関政治）	今川	（守護大名）
後三条天皇	（荘園整理令）	土岐	（守護大名）
白河天皇	（院政）	大友	（守護大名）
後白河天皇	（保元の乱）	島津	（守護大名）
崇徳上皇	（保元の乱）	菊池・阿蘇	（守護大名）
源義朝	（平治の乱）	佐々木	（守護大名）
平清盛	（平氏政権）	赤松	（守護大名）
清和天皇	（源氏の祖先）	富樫	（守護大名）
桓武天皇	（平氏の祖先）	佐々木	（守護大名）
以仁王	（平氏討伐の宣旨）	上杉	（守護大名）
源頼朝	（鎌倉幕府）	足利義満	（南北朝の合一）
源義仲	（源平合戦）	山名氏	（守護大名）
源範頼	（平氏追撃）	大内氏	（守護大名）
源義経	（源平合戦）	李成桂	（朝鮮建国）
安徳天皇	（源平合戦）	尚氏	（琉球王国）
奥州藤原氏	（平泉）	蓮如	（一向宗布教）
北条政子	（鎌倉幕府）	武田信玄	（信玄堤）
北条時政	（初代執権）	毛利元就	（戦国大名）
北条氏	（執権政治）	上杉謙信	（戦国大名）
後鳥羽上皇	（承久の乱）	北条氏康	（戦国大名）
北条泰時	（御成敗式目）	北条	（戦国大名）
法然	（浄土宗）	織田	（戦国大名）
親鸞	（浄土真宗）	六角	（戦国大名）
一遍	（時宗）	三好	（戦国大名）
日蓮	（日蓮宗）	長宗我部	（戦国大名）
栄西	（臨済宗）	相良	（戦国大名）
道元	（曹洞宗）	竜造寺	（戦国大名）
藤原定家	（新古今和歌集）	毛利	（戦国大名）
西行	（新古今和歌集）	小早川	（戦国大名）
鴨長明	（方丈記）	尼子	（戦国大名）
吉田兼好	（徒然草）	浅井	（戦国大名）
運慶	（金剛力士像）	斎藤	（戦国大名）
快慶	（金剛力士像）	朝倉	（戦国大名）
無著	（インド高僧）	武田信虎	（武田信玄の父）
世親	（インド高僧）	観阿弥	（能楽）
天智天皇	（百人一首）	世阿弥	（能楽）
順徳院	（百人一首）	足利義政	（銀閣）
チンギス・ハン	（モンゴル帝国）	雪舟	（水墨画）
フビライ・ハン	（元寇）	狩野派	（水墨画に大和絵の技法）
北条時宗	（元寇）	池禅尼	（頼朝助命）
マルコ・ポーロ	（東方見聞録）	日野富子	（優れた経済感覚）
竹崎季長	（蒙古襲来絵詞）	足利義視	（義政の弟）
後醍醐天皇	（建武の新政）	足利義尚	（義政の子）
楠木正成	（建武の新政）	定慶	（金剛力士像）
護良親王	（建武の新政）	源実朝	（３代将軍）
足利尊氏	（南北朝の動乱）		
新田義貞	（建武の新政）		
足利一族	（将軍の補佐役）		
斯波氏	（三管領）		

近世

バスコ・ダ・ガマ	（大航海時代）	土井（古河）	（江戸初期のおもな大名）
コロンブス	（大航海時代）	徳川（館林）	（江戸初期のおもな大名）
マゼラン	（大航海時代）	阿部（岩槻）	（江戸初期のおもな大名）
ルター	（宗教改革）	稲葉（小田原）	（江戸初期のおもな大名）
フランシスコ・ザビエル	（キリスト教布教）	徳川（名古屋）	（江戸初期のおもな大名）
大友宗麟	（少年使節派遣）	戸田（大垣）	（江戸初期のおもな大名）
トルレス	（宣教師）	藤堂（安濃津）	（江戸初期のおもな大名）
伊東マンショ	（少年使節）	井伊（彦根）	（江戸初期のおもな大名）
千々石ミゲル	（少年使節）	徳川（和歌山）	（江戸初期のおもな大名）
中浦ジュリアン	（少年使節）	蜂須賀（徳島）	（江戸初期のおもな大名）
原マルチノ	（少年使節）	浅野（広島）	（江戸初期のおもな大名）
織田信長	（全国統一）	松平（松山）	（江戸初期のおもな大名）
今川義元	（桶狭間の戦い）	伊達（宇和島）	（江戸初期のおもな大名）
足利義昭	（将軍）	島津（鹿児島）	（江戸初期のおもな大名）
武田勝頼	（長篠の戦）	細川（熊本）	（江戸初期のおもな大名）
豊臣秀吉	（天下統一）	有馬（久留米）	（江戸初期のおもな大名）
毛利氏	（戦国大名）	立花（柳河）	（江戸初期のおもな大名）
明智光秀	（本能寺の変）	鍋島（佐賀）	（江戸初期のおもな大名）
島津氏	（戦国大名）	黒田（福岡）	（江戸初期のおもな大名）
北条氏	（戦国大名）	小笠原（小倉）	（江戸初期のおもな大名）
長宗我部元親	（秀吉の四国平定）	宗（府中）	（江戸初期のおもな大名）
島津義久	（秀吉の九州平定）	毛利（萩）	（江戸初期のおもな大名）
北条氏政	（秀吉の小田原攻め）	山内（高知）	（江戸初期のおもな大名）
北条氏直	（秀吉の小田原攻め）	水野（福山）	（江戸初期のおもな大名）
伊達政宗	（秀吉の奥州平定）	松平（松江）	（江戸初期のおもな大名）
李舜臣	（朝鮮出兵）	松平（高松）	（江戸初期のおもな大名）
加藤清正	（朝鮮出兵）	池田（岡山）	（江戸初期のおもな大名）
小西行長	（朝鮮出兵）	榊原（姫路）	（江戸初期のおもな大名）
李参平	（有田焼）	本多（郡山）	（江戸初期のおもな大名）
豊臣秀次	（関白）	酒井（小浜）	（江戸初期のおもな大名）
狩野永徳	（障壁画）	松平（福井）	（江戸初期のおもな大名）
狩野山楽	（障壁画）	池田（鳥取）	（江戸初期のおもな大名）
千利休	（茶の湯）	前田（金沢）	（江戸初期のおもな大名）
阿国	（かぶき踊り）	前田（富山）	（江戸初期のおもな大名）
グーテンベルク	（活版印刷術）	松平（高田）	（江戸初期のおもな大名）
栄西	（茶を伝える）	真田（松代）	（江戸初期のおもな大名）
小笠原氏	（松本城築城）	徳川（甲府）	（江戸初期のおもな大名）
石川氏	（松本城整備）	松平（村上）	（江戸初期のおもな大名）
徳川家康	（江戸幕府）	上杉（米沢）	（江戸初期のおもな大名）
豊臣家	（大阪城）	酒井（庄内）	（江戸初期のおもな大名）
豊臣秀頼	（大阪の陣）	山田長政	（日本町）
徳川家光	（３代将軍）	高山右近	（キリシタン大名）
石田三成	（関が原の戦い）	支倉常長	（慶長遣欧使節）
太田道灌	（江戸城）	天草四郎	（島原の乱）
佐竹（秋田）	（江戸初期のおもな大名）	志筑忠雄	（長崎通詞）
南部（盛岡）	（江戸初期のおもな大名）	イエス・キリスト	（踏絵）
松平（山形）	（江戸初期のおもな大名）	シャクシャイン	（シャクシャインの戦い）
伊達（仙台）	（江戸初期のおもな大名）	尚氏	（琉球王朝）
丹羽（二本松）	（江戸初期のおもな大名）	雨森芳洲	（朝鮮外交）
保科（会津）	（江戸初期のおもな大名）	徳川綱吉	（文治政治）
本多（白河）	（江戸初期のおもな大名）	孔子	（儒学の祖）
奥平（宇都宮）	（江戸初期のおもな大名）	新井白石	（財政再建）
酒井（前橋）	（江戸初期のおもな大名）	俵屋宗達	（屏風絵）
徳川（水戸）	（江戸初期のおもな大名）	井原西鶴	（日本永代蔵）

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　育鵬社　】（中学校　社会　歴史的分野）

近世

近松門左衛門	（心中天の網島）	山内豊信	（藩政改革）	長谷川等伯	（松林図）
松尾芭蕉	（俳諧）	鍋島直正	（藩政改革）	徳川秀忠	（２代将軍）
尾形光琳	（屏風絵）	徳川斉昭	（藩政改革）		
菱川師宣	（浮世絵）	十返舎一九	（東海道中膝栗毛）		
林羅山	（朱子学）	式亭三馬	（浮世風呂）		
中江藤樹	（陽明学）	滝沢馬琴	（南総里見八犬伝）		
荻生徂徠	（古典）	与謝蕪村	（俳諧）		
徳川光圀	（大日本史）	小林一茶	（俳諧）		
宮崎安貞	（農業全書）	良寛	（和歌と書）		
関孝和	（和算）	鈴木春信	（錦絵）		
坂田藤十郎	（上方歌舞伎）	喜多川歌麿	（美人画）		
市川団十郎	（江戸歌舞伎）	東洲斎写楽	（役者絵）		
柳沢吉保	（側用人）	葛飾北斎	（富嶽三十六景）		
玉川庄右衛門	（玉川上水）	歌川広重	（東海道五十三次）		
玉川清右衛門	（玉川上水）	池大雅	（文人画）		
浅野内匠頭	（赤穂事件）	浦上玉堂	（文人画）		
吉良上野介	（赤穂事件）	モネ	（印象派）		
大石内蔵助	（赤穂事件）	ドガ	（印象派）		
山鹿素行	（儒学者・兵学者）	ルノアール	（印象派）		
新渡戸稲造	（武士道）	セザンヌ	（印象派）		
内村鑑三	（武士道とキリスト教）	ゴッホ	（ジャポニズム）		
三井	（両替商）	石田梅岩	（心学）		
鴻池	（両替商）	本居宣長	（国学）		
三井高利	（越後屋）	前野良沢	（解体新書）		
徳川吉宗	（８代将軍）	杉田玄白	（解体新書）		
上杉鷹山	（米沢藩財政再建）	伊能忠敬	（日本地図）		
青木昆陽	（甘藷先生）	平賀源内	（発電機）		
大岡忠相	（公事方御定書）	コペルニクス	（地動説）		
田沼意次	（政治改革）	ニュートン	（万有引力の法則）		
松平定信	（寛政の改革）	シーボルト	（鳴滝塾）		
徳川家斉	（大御所時代）	安藤昌益	（社会批判）		
徳川家重	（９代将軍）	緒方洪庵	（適塾）		
徳川家治	（１０代将軍）	林子平	（海国兵談）		
光格天皇	（尊王思想）	会沢正志斎	（尊皇攘夷）		
ラクスマン	（ロシア使節）	藤田東湖	（水戸学）		
レザノフ	（ロシア使節）	頼山陽	（日本外史）		
最上徳内	（北方探検）	賀茂真淵	（万葉集研究）		
近藤重蔵	（北方探検）	塙保己一	（群書類従）		
間宮林蔵	（北方探検）	福沢諭吉	（適塾門下生）		
高野長英	（蛮社の獄）	田中久重	（からくり人形）		
渡辺崋山	（蛮社の獄）	大野弥五郎	（測量器具）		
大黒屋光太夫	（ロシアへ漂流）	大野規行	（測量器具）		
エカテリーナ２世	（ロシア女帝）	大野規周	（測量器具製作）		
ゴローニン	（ロシア軍艦艦長）	二宮金次郎（尊徳）	（自立と報徳の教え）		
高田屋嘉兵衛	（海運商人）	大原幽学	（世界初の協同組合）		
ジョン・万次郎	（英語教育）	高台院（北政所）	（天下人を支える）		
大塩平八郎	（大塩平八郎の乱）	福島正則	（秀吉の家臣）		
坂本龍馬	（英学）	春日局	（家光の乳母）		
水野忠邦	（天保の改革）	斎藤利三	（春日局の父）		
村田清風	（藩政改革）	お江	（秀忠正室）		
松平慶永	（藩政改革）	国松	（３代将軍の弟）		
橋本左内	（藩政改革）	加賀千代	（俳諧）		
調所広郷	（藩政改革）	各務支考	（芭蕉の弟子）		
伊達宗城	（藩政改革）	円空	（仏像彫刻）		

近代

ナポレオン	（市民革命）	桂太郎	（元老）	田山花袋	（蒲団）
ワット	（蒸気機関）	西園寺公望	（元老）	石川啄木	（一握の砂）
スチーブンソン	（蒸気機関車）	寺島宗則	（条約改正交渉）	ウィリアム・スミス・クラーク	（お雇い外国人）
洪秀全	（太平天国）	原敬	（政党内閣）	新渡戸稲造	（国際連盟事務次長）
ペリー	（開国要求）	青木周蔵	（条約改正交渉）	内村鑑三	（キリスト教）
阿部正弘	（老中）	陸奥宗光	（領事裁判権撤廃）	ハインリッヒ・エドモント・ナウマン	（フォッサマグナ）
ハリス	（アメリカ総領事）	小林寿太郎	（関税自主権撤廃）	伊能忠敬	（日本全図）
井伊直弼	（日米修好通商条約）	金玉均	（甲申事変）	ヘンリー・スペンサー・パーマー	（近代水道の父）
吉田松陰	（安政の大獄）	李鴻章	（清国代表）	フルベッキ	（徴兵制・学制の制定）
橋本左内	（幕府改革）	乃木希典	（日露戦争）	ボアソナード	（民法・刑法の基礎）
緒方洪庵	（蘭学）	裕仁親王（昭和天皇）	（学習院・終戦）	ロエスレル	（大日本帝国憲法）
松平慶永	（福井藩主）	東郷平八郎	（日本海海戦）	キンドル	（造幣事業）
孝明天皇	（公武合体）	秋山真之	（日本海海戦）	ワグネル	（殖産興業）
和宮	（公武合体）	セオドア・ルーズベルト	（ポーツマス条約）	モレル	（鉄道建設）
徳川家茂	（公武合体）	ウィッテ	（日露戦争）	コンドル	（鹿鳴館、西洋建築）
坂本龍馬	（薩長同盟）	金子堅太郎	（日露戦争）	ベルツ	（医学教育）
高杉晋作	（奇兵隊）	高橋是清	（日露戦争）	ヘボン	（英語教育）
木戸孝允	（倒幕）	明石元二郎	（対露工作）	モース	（大森貝塚）
伊藤博文	（初代内閣総理大臣）	ネルー	（インド独立）	ハーン（小泉八雲）	（小説家）
大隈重信	（立憲改進党）	孫文	（辛亥革命）	篤姫	（徳川家定妻）
西郷隆盛	（薩摩藩主導）	安重根	（伊藤博文暗殺）	徳川家定	（１３代将軍）
大久保利通	（薩摩藩主導）	八田與一	（台湾ダム建設）	徳川家達	（徳川家世継）
徳川慶喜	（大政奉還）	渋沢栄一	（産業革命）	津田梅子	（英語教育）
明治天皇	（近代立憲君主）	豊田佐吉	（自動織機）	紫式部	（才女）
岩倉具視	（王政復古の大号令）	マルクス	（社会主義）	清少納言	（才女）
後藤象二郎	（土佐藩）	エンゲルス	（社会主義）	レーニン	（ロシア革命）
孟子	（松下村塾）	片山潜	（社会主義）	スターリン	（ヤルタ会談）
久坂玄瑞	（松下村塾）	幸徳秋水	（社会主義）	ウィルソン	（国際連盟）
山県有朋	（松下村塾）	田中正造	（足尾銅山鉱毒事件）	袁世凱	（中華民国大総統）
井上馨	（現実認識）	野口英世	（黄熱病の研究）	ガンジー	（独立運動）
榎本武揚	（戊辰戦争）	北里柴三郎	（破傷風の研究）	アタテュルク	（トルコ共和国建国）
勝海舟	（江戸城無血開城）	長岡半太郎	（物理学）	ロイド・ジョージ	（パリ講和会議）
徳川家	（大政奉還後の存続）	坪内逍遙	（小説神髄）	クレマンソー	（パリ講和会議）
大村益次郎	（国民軍創設）	二葉亭四迷	（浮雲）	大正天皇	（大正政変）
琉球国王	（琉球藩王）	樋口一葉	（小説）	尾崎行雄	（護憲運動）
板垣退助	（征韓論）	与謝野晶子	（みだれ髪）	犬養毅	（五・一五事件）
江藤新平	（征韓論）	森鴎外	（舞姫）	吉野作造	（民本主義）
久米邦武	（岩倉使節団）	夏目漱石	（吾輩は猫である）	加藤高明	（普通選挙法）
中條景昭	（茶畑開墾）	正岡子規	（病牀六尺）	山本権兵衛	（歴代内閣）
ハインリッヒ・シュリーマン	（日本は清潔な国）	フェノロサ	（美術）	寺内正毅	（歴代内閣）
エドワード・モース	（日本は安全な国）	岡倉天心	（美術）	若槻礼次郎	（政党内閣）
イザベラ・バード	（日本は礼儀正しい国）	狩野芳崖	（日本画）	平塚らいてう	（女性の地位向上）
中村正直	（西国立志編）	高村光雲	（彫刻）	市川房枝	（女性の地位向上）
福沢諭吉	（学問のすゝめ）	黒田清輝	（絵画）	幣原喜重郎	（ワシントン会議）
中江兆民	（ルソーの思想紹介）	富岡鉄斎	（絵画）	加藤友三郎	（軍縮）
前島密	（郵便制度）	滝廉太郎	（荒城の月）	後藤新平	（震災復興計画）
植木枝盛	（五日市憲法）	志賀潔	（赤痢菌の発見）	吉川英治	（大衆文学）
岩崎弥太郎	（三菱創設）	秦佐八郎	（梅毒特効薬発見）	江戸川乱歩	（大衆文学）
三島通庸	（福島事件）	鈴木梅太郎	（ビタミンB1の発見）	西田幾多郎	（哲学）
井上毅	（憲法草案）	高峰譲吉	（ジアスターゼの創製）	柳田国男	（民俗学）
黒田清隆	（元老）	木村栄	（緯度変化の研究）	柳宗悦	（民芸）
松方正義	（元老）	大森房吉	（地震計の発明）	志賀直哉	（文学）
西郷従道	（元老）	島崎藤村	（若菜集）	武者小路実篤	（文学）
大山巌	（元老）	国木田独歩	（武蔵野）	有島武郎	（文学）

「別紙２－１」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　b 歴史上の人物名と主な業績等　　発行者　育鵬社　】（中学校　社会　歴史的分野）

近代		現代			
谷崎潤一郎	（文学）	島安次郎	（新幹線）	白川英樹	（ノーベル賞受賞者）
芥川龍之介	（文学）	島秀雄	（新幹線）	野依良治	（ノーベル賞受賞者）
小林多喜二	（プロレタリア文学）	島隆	（新幹線）	小柴昌俊	（ノーベル賞受賞者）
山田耕筰	（童謡）	マッカーサー	（ＧＨＱ）	田中耕一	（ノーベル賞受賞者）
安井曾太郎	（美術）	ラダ・ビノード・パール	（東京裁判での無罪意見）	南部陽一郎	（ノーベル賞受賞者）
横山大観	（美術）	昭和天皇	（敗戦）	小林誠	（ノーベル賞受賞者）
竹下夢二	（美術）	毛沢東	（中華人民共和国）	益川敏英	（ノーベル賞受賞者）
橋本雅邦	（日本画）	蔣介石	（国民党台湾へ）	下村脩	（ノーベル賞受賞者）
フランクリン・ルーズベルト	（ニューディール政策）	吉田茂	（サンフランシスコ講和条約）	鈴木章	（ノーベル賞受賞者）
ピカソ	（ゲルニカ）	ケネディ	（ウィーン会談）	根岸英一	（ノーベル賞受賞者）
ムッソリーニ	（ファシスト党）	フルシチョフ	（ウィーン会談）	フセイン	（独裁政権）
ヒトラー	（ナチス）	岸信介	（新安保条約）	オバマ	（ノーベル平和賞）
浜口雄幸	（首相狙撃）	アイゼンハワー	（アメリカ大統領）	ダライ・ラマ１４世	（チベット仏教）
蔣介石	（国民党）	池田勇人	（所得倍増計画）	安倍晋三	（教育基本法改正）
張作霖	（北京政府）	鳩山一郎	（日ソ共同宣言）	小泉純一郎	（訪朝）
溥儀	（満州国執政）	石橋湛山	（歴代内閣）		
田中義一	（山東出兵）	ニクソン	（アメリカ大統領）		
リットン	（国際連盟調査団）	レーガン	（ミサイル防衛計画）		
張学良	（西安事件）	明仁親王	（皇位継承）		
松岡洋右	（国際連盟主席全権）	香淳皇后	（沖縄本土復帰記念式典）		
斎藤隆夫	（反軍演説）	田中角栄	（日中国交正常化）		
近衛文麿	（大政翼賛会）	周恩来	（日中国交正常化）		
杉原千畝	（ユダヤ人救済）	佐藤栄作	（沖縄本土復帰）		
樋口季一郎	（ユダヤ人救済）	黒澤明	（映画監督）		
アンネ・フランク	（アンネの日記）	湯川秀樹	（ノーベル賞）		
東条英機	（開戦時首相）	野間宏	（文学）		
コーデル・ハル	（日米交渉）	大岡昇平	（文学）		
Ｈ・Ａ・キッシンジャー	（アメリカ外交官）	太宰治	（文学）		
重光葵	（東条内閣外務大臣）	坂口安吾	（文学）		
チャンドラ・ボース	（インド独立運動指導者）	三島由紀夫	（小説）		
Ａ・トインビー	（イギリス歴史家）	小林秀雄	（評論）		
鈴木誠	（画家）	安部公房	（文学）		
チャーチル	（ポツダム会談）	大江健三郎	（文学）		
トルーマン	（ポツダム会談）	石原慎太郎	（文学）		
鈴木貫太郎	（終戦時首相）	棟方志功	（美術）		
大田実	（沖縄戦電文・自決）	藤田嗣治	（美術）		
西田高光	（特攻隊）	古橋広之進	（水泳）		
山岡荘八	（小説）	王貞治	（プロ野球選手）		
大佛次郎	（文化勲章受章）	長嶋茂雄	（プロ野球選手）		
藤原てい	（小説）	大鵬	（相撲）		
徳富蘇峰	（終戦後日記）	力道山	（プロレス）		
川端康成	（新感覚派）	美空ひばり	（歌手）		
横光利一	（新感覚派）	石原裕次郎	（俳優）		
新美南吉	（児童文学）	手塚治虫	（漫画）		
前畑秀子	（水泳金メダリスト）	宮崎駿	（アニメ）		
与謝野鉄幹	（晶子の夫）	小津安二郎	（映画監督）		
グーテンホーフ光子	（汎ヨーロッパ主義の母）	溝口健二	（映画監督）		
リヒャルト栄次郎	（ＥＵ思想）	今村昌平	（映画監督）		
三条実美	（五箇条の御誓文）	朝永振一郎	（ノーベル賞受賞者）		
宮崎滔天	（革命運動家）	川端康成	（ノーベル賞受賞者）		
山口尚芳	（岩倉使節団）	江崎玲於奈	（ノーベル賞受賞者）		
ルソー	（思想家）	佐藤栄作	（ノーベル賞受賞者）		
ワシントン	（初代アメリカ大統領）	福井謙一	（ノーベル賞受賞者）		
		利根川進	（ノーベル賞受賞者）		

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　東　書】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで				
サヘラントロプス・チャデンシスの頭がい骨	ユダヤ教	はにわ	トルファンの樹下美人図	浄土信仰
打製石器	イスラム教のモスクの岩のドーム	武人はにわ	正倉院に残るガラス製容器	伴大納言絵巻
土器	十字架を背負うイエスの絵	古墳の石室の壁にえがかれた船の絵	ペルシャ（イラン）のガラス製容器	大内裏
磨製石器	兵馬俑	江田船山古墳出土の鉄刀	鳥毛立女屏風	応天門
農耕	兵馬俑坑	稲荷山古墳出土の鉄剣	鑑真の像	板付遺跡
牧畜	甲骨文字	宋書	国分寺	鴻臚館跡
神殿	儒学（儒教）	漢字	国分尼寺	高松塚古墳壁画
宮殿	万里の長城	須恵器	大仏	玉虫厨子
青銅器	シルクロード	法隆寺	正倉院	臼杵磨崖仏
鉄器	汗血馬	聖徳太子とみられる肖像画	校倉造	原の辻遺跡
ピラミッド	月と星（野尻湖の発掘）	飛鳥文化	ペルシャ風の漆器の水さし	西都原古墳群
スフィンクス	岩宿遺跡	経典	貝細工でかざられた鏡	埼玉古墳群
ウルのジッグラト	縄文土器	アジャンタ石窟の壁画	螺鈿紫檀五絃琵琶	厳島神社
モヘンジョダロの都市遺跡	縄文文化	法隆寺金堂の壁画	古事記	
エジプトの象形文字（ヒエログリフ）	貝塚	韓国の弥勒菩薩像	日本書紀	
メソポタミアのくさび形文字	たて穴住居	広隆寺の弥勒菩薩像	風土記	
インダス文字が刻まれた印	土偶	釈迦三尊像	万葉集	
太陽暦	三内丸山遺跡	竜門の石仏	万葉仮名	
太陰暦	稲作	法隆寺の釈迦如来像	平安京	
６０進法	高床倉庫	大野城	最澄の肖像画	
１週間を七日とすること	金属器	水城	空海の肖像画	
仏教	銅剣	難波宮	天台宗	
キリスト教	銅矛	大津宮	真言宗	
聖書（新約聖書）	銅鏡	藤原京	延暦寺	
イスラム教	銅鐸	天武・持統陵古墳	金剛峯寺	
コーラン	弥生土器	石舞台古墳	アテルイが処刑されたと伝えられる場所に立つ塚	
十字架にかけられたイエスの絵	弥生文化	平城京	清水寺	
カーバ神殿	登呂遺跡	朱雀門	胆沢城	
哲学	吉野ヶ里遺跡	富本銭	菅原道真の肖像画	
数学	北方の王に授けられた銅印	和同開珎	貴族の屋敷の絵（『駒競行幸絵巻』）	
医学	南方の王に授けられた金印	唐の銅銭	国風文化	
ギリシャ文化	「漢委奴国王」に刻まれた金印	大宰府	源氏物語絵巻	
オリエント文化	「漢書」地理誌	多賀城	小右記	
パルテノン神殿	「後漢書」東夷伝	古代の戸籍	大和絵	
道路網	「魏志倭人伝」	木簡	平等院鳳凰堂	
水道	大仙古墳	続日本紀	阿弥陀如来像	
浴場	森将軍塚古墳	東大寺	仮名文字	
コロッセオ（闘技場）	古墳	天平文化	古今和歌集	
ユリウス暦	前方後円墳	興福寺	源氏物語	
アレクサンドロス大王の肖像画	古墳文化	唐招提寺	枕草子	

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　東　書】（中学校　社会　歴史的分野）

中世		近世	
武士の合戦の絵（『平治物語絵巻』）	宋銭	熙代勝覧	長篠の戦いの絵（『長篠合戦図屏風』）
白河上皇を警備する武官の絵（『春日権現験記絵』）	東方見聞録	ボッティチェリの『ビーナス誕生』	織田信長肖像画
荘園の絵図	後醍醐天皇の肖像画	ミケランジェロの『ダビデ』	安土城
僧兵の絵（『天狗草紙絵巻』）	花の御所の絵（『洛中洛外図屏風』）	サン・ピエトロ大聖堂	比叡山延暦寺
平清盛の木像	足利義満の肖像画	アヤ・ソフィア大聖堂	本能寺
源頼朝と伝えられる肖像画	倭寇の絵（『倭寇図巻』）	レオナルド・ダ・ビンチのモナリザ	大阪城
中尊寺金色堂	勘合	羅針盤	鉄砲を持つ足軽の絵（『雑兵物語』）
吾妻鏡	ハングル	ルネサンスの時期の世界地図	豊臣秀吉肖像画
武士の館の絵（『一遍聖絵』）	琉球の紅型	ルターの肖像画	大阪城の絵（『大阪城図屏風』）
下地中分の絵図（『伯耆国東郷荘下地中分絵図』）	首里城	カルバンの肖像画	天正大判
武芸の訓練の絵（『男衾三郎絵詞』）	グスク（沖縄の城）	活版印刷術	検地の絵
建築現場で働く手工業者の絵（『春日権現験記絵』）	志苔館跡	ルネサンス	検地帳
二毛作	田植えの風景の絵（『月次風俗図屏風』）	聖書	検地尺
定期市	馬借の絵（『石山寺縁起絵巻』）	イスラム商人の絵	京ます
定期市の様子の絵（『一遍聖絵』）	明銭	マチュピチュ遺跡	有田焼
阿氐河荘の訴状	西陣や博多の絹織物	上陸するコロンブスの版画	「陶祖李参平」をたたえる碑
東大寺南大門	草戸千軒町遺跡	奴隷がつめこまれた船の絵	17世紀前半につくられた有田焼の皿
金剛力士像	職人たちの絵（『職人尽歌合』）	南蛮船と南蛮人の絵（『南蛮人渡来図屏風』）	李舜臣の像
琵琶法師の絵（『慕帰絵詞』）	借金帳消し宣言	鉄砲	亀甲船
鎌倉文化	応仁の乱の絵（『真如堂縁起絵巻』）	鉄砲鍛冶の絵（『和泉名所図絵』）	桃山文化
新古今和歌集	一向一揆の旗	築城技術	唐獅子図屏風
方丈記	毛利元就の肖像画	フランシスコ＝ザビエルの肖像画	姫路城
平家物語	上杉謙信の肖像画	南蛮貿易でもたらされた地球儀	千利休の肖像画
絵巻物	武田信玄の肖像画	四人の天正遣欧少年使節の肖像画	かぶき踊りの絵（『国女歌舞伎絵詞』）
徒然草	今川義元の像		茶の湯
一遍の踊念仏（『一遍聖絵』）	島津貴久の肖像画		わび茶
浄土宗	朝倉孝景条々	狂言	三線
浄土真宗	甲州法度之次第	一寸法師	三味線
時宗	祇園祭（『洛中洛外図屏風』）	御伽草子	南蛮船の風俗の絵（『歌舞伎図巻』）
日蓮宗（法華宗）	石見銀山遺跡	足利学校	ヨーロッパ風の絵（『泰西王侯騎馬図屏風』）
禅宗	金閣	雪舟の肖像画	天文学
天台宗	銀閣	雪舟の水墨画（『秋冬山水図』）	医学
真言宗	室町文化	儒学	航海術
神仏習合	茶の湯	日本島図	活版印刷術
神道	連歌	鉄砲	平家物語
説教をする法然の絵（『法然上人絵伝』）	猿楽	中国に朝貢した各国の使節の絵（『梁職貢図　模写図』）	ローマ字
親鸞の肖像画	田楽	琉球王国から江戸幕府への使節の絵	南蛮文化
日蓮の肖像画	能	今帰仁グスク	ローマ字で書かれた「平家物語」
栄西の肖像画	能を楽しむ人々の絵（『洛中洛外図屏風』）	おもろそうし	江戸城（『江戸図屏風』）
道元の肖像画	東求道同仁斎	万葉集	徳川家康の肖像画
モンゴル軍との戦いの絵（『蒙古襲来絵詞』）	龍安寺の石庭	洛中洛外図屏風	五街道
フビライ＝ハンの肖像画	書院造	瑠璃光寺五重塔	身分のちがいの絵（『老農夜話』）
北条時宗と伝えられる肖像画	水墨画	赤絲威鎧	年貢おさめの絵（『七難七福図巻』）
石塁	東山文化	一乗谷朝倉氏遺跡	朱印船の絵（『荒木宗太郎異国渡海船之図』）

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　東　書】（中学校　社会　歴史的分野）

近世		近代	
朱印状	風神雷神図屏風	ペリーの上陸の絵	人権宣言
アユタヤにある日本町の石碑	尾形光琳のすずり箱	コーヒーハウスの絵	バスティーユ牢獄の襲撃の絵
商館（平戸）	人形浄瑠璃の絵	ロック＊	三色旗を持つサン・キュロットの絵
山田長政の肖像画	見返り美人図	モンテスキュー＊	ナポレオン・ボナパルトの絵
抵抗する一揆軍の絵（『島原陣図屏風』）	農学	ルソー＊	ワットの蒸気機関の絵
天草四郎陣中旗	数学	権利章典	鉄道の開通の絵
踏絵	元禄文化	独立宣言	蒸気機関
出島	浮世草子	ボストン茶会事件の絵	炭鉱で働かされる子どもや女性の絵
宗門改帳	人形浄瑠璃	ジョージ・ワシントン＊	ドイツの統一の絵
長崎の出島の絵（『寛文長崎図屏風』）	歌舞伎	ベルサイユ宮殿の絵	ベルサイユ宮殿
出島でビリヤードを楽しむオランダ人（『漢洋長崎居留図巻［蘭館図］）	俳諧	ベルサイユ宮殿の鏡の間	エイブラハム・リンカン＊
オランダ風説書	装飾画	革命前のフランスの絵	リンカン手書き演説の原稿
唐船風説書	浮世絵	革命が始まったフランスの絵	大陸横断鉄道
朝鮮通信使の行列の絵（『朝鮮通信使歓待図屏風』）	友禅染	錦絵	イギリスの軍艦に砲撃された清の軍船の絵
朝鮮通信使が宿泊した使節	行灯	喜多川歌麿の美人画（『ポッピンを吹く女』）	アヘン倉庫の絵
那覇港のにぎわいの絵（『琉球貿易図屏風』）	節分の豆まき	川柳	インド大反乱の絵
蝦夷錦を着たアイヌの首長の絵（『御味方蝦夷之図』）	正月の雑煮や七草	狂歌	黒船の絵（『武州潮田遠景』）
シャクシャインの像	ひな祭り	東海道中膝栗毛	ペリー＊
農具の進歩の絵（『老農夜話』）	こいのぼり	南総里見八犬伝	天保小判
江戸時代に使われた貨幣	盆踊り	歌川広重の風景画（名所江戸百景）	万延小判
備中ぐわ	堂島の米商いの絵（『浪花名所図会』）	葛飾北斎の風景画（『富嶽三十六景』）	井伊直弼＊
千歯こき	徳川吉宗の肖像画	適塾	吉田松陰＊
唐箕	甘藷記	オランダ商館	ええじゃないかの絵（『豊饒御蔭参之図』）
からさお	打ちこわしの様子の絵（『幕末江戸市中騒動図』）	医学塾	坂本龍馬＊
佐渡金山	工場制手工業の絵（『尾張名所図会』）	藩校	大政奉還の絵
生野銀山	からかさ連判状	寺子屋	江戸城
石見銀山	田沼意次の肖像画	大塩平八郎の肖像画	五箇条の御誓文を読み上げる様子の絵
別子銅山	長崎の出島での貿易の絵（『唐蘭館絵巻蘭館図』）	水野忠邦の肖像画	明治天皇＊
足尾銅山	浅間山の大噴火の絵（『浅間山噴火夜分大焼之図』）	反射炉	三条実美＊
寛永通宝	松平定信の肖像画	黒砂糖づくりの絵（『日本山海名物図会』）	木戸孝允＊
中国銭	日本誌	東海道の町並み鳴海宿	岩倉具視＊
捕鯨の様子の絵（『鯨絵巻』）	昌平坂学問所	東海道五十三次	明治時代の小学校の授業の絵
飛脚の絵	長崎に上陸するレザノフの絵（『ロシア使節レザノフ来航絵巻』）	鳴海しぼり	東京大学
瀬戸内海の塩	藩札	有松の山車	各種の高等教育機関
金沢や有田の磁器	うるしの採集の絵（『日本山海名物図会』）	擦文土器	旧開智学校
輪島や会津の漆器	化政文化	にしん漁でにぎわう江差の港（『松前檜山屏風』）	地券
南部の鋳物	解体新書	蝦夷錦	文明開化の絵（『東京開化名勝京橋石造銀座
越前や美濃の紙	ターヘルアナトミア	古傘買いの絵（『守貞謾稿』）	通り両側煉化石商家盛栄之図』）
菱垣廻船の出帆の絵（『菱垣新綿番船川口出帆之図』）	伊能忠敬の地図	灰買いの絵（『守貞謾稿』）	スエズ運河
越後屋の店前の絵	古事記伝	馬でし尿を集めにきた農民の絵（『江戸名所図会』）	牛鍋を食べる「ザンギリ頭」の男性の絵
蔵屋敷の絵（『摂津名所図絵』）	国学	松本城天守	新旧の戦いの絵（『開化因循興廃鏡』）
西陣織	蘭学	紙本金地著色燕子花図	太陽暦
清水焼	落語の寄席	旧閑谷学校	中江兆民＊
朱子学	大相撲の興行	日光の社寺	福沢諭吉＊

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　東　書】（中学校　社会　歴史的分野）

近代			現代
学問のすすめ	老猿	ベルサイユ条約の調印の絵	東海道新幹線
新しい貨幣	荒城の月	ウッドロー・ウィルソン＊	高速道路
鉄道の開通の絵（『横浜海岸鉄道蒸汽車図』）	花	新渡戸稲造＊	墨塗り教科書
蒸気船	たけくらべ	ニューヨークの超高層ビル	新しい憲法のはなしのさし絵
郵便制度	樋口一葉＊	ワイマール憲法	日本国憲法
電信網	坊ちゃん	五・四運動の絵	ブランデンブルグ門
富岡製糸場	夏目漱石＊	袁世凱＊	サンフランシスコ平和条約全権団署名
渋沢栄一＊	舞姫	柳宗悦＊	第五福竜丸
ジャポニズム	最後の一句	日本民芸館	東京都立第五福竜丸展示館
自由民権運動の演説会の絵	森鴎外＊	柳宗悦が見た朝鮮の壷	東京オリンピック
五日市憲法	小泉八雲＊	ガンディー＊	ベルリンの壁
東洋大日本国国憲按	破傷風の血清療法	吉野作造の民本主義	最初の携帯電話
西郷隆盛＊	タカジアスターゼ	吉野作造＊	
大久保利通＊	赤痢菌	美濃部達吉＊	
板垣退助＊	地震計	米騒動の様子の絵	
大隈重信＊	緯度の変化の研究	原敬＊	
オッペケペー節	原子模型	平塚らいてう＊	
演歌	ビタミンＢ１の創設	青鞜の表紙	
憲法発布の式典の絵	黄熱病の病原体の研究	全国水平社創立大会のビラ	
伊藤博文＊	横浜開港資料館	第一回普通選挙のポスター	
大日本帝国憲法	鉄道発祥の地記念碑	浅草六区	
教育勅語	アイスクリーム記念碑	週刊誌	
議場の様子の絵	ガス灯	総合雑誌	
投票所の風景の絵	日本写真の開祖　写真師・下岡蓮杖顕彰碑	文学全集（円本）	毛沢東＊
アフリカをまたぐ巨人の絵	外国郵便創業の碑	岩波文庫	廬溝橋
舞踏会の様子の絵	電話交換創始の地（記念碑）	活動写真	衣料切符
エルトゥールル号乗組員の慰霊碑	電信創業の地	トーキー	米穀通帳
シベリア鉄道	日本国新聞発祥之地碑	蓄音機	節約を訴える標語
ノルマントン号事件の絵	太田なわのれん	レコード	アンネの日記
魚つりの会の絵	ウチキパン	歌謡曲	アンネフランク＊
下関講和会議の絵	近代的なくつの製造の絵	ラジオ放送	アウシュヴィッツ強制収容所
パイを切り分ける列強の絵	尋常小学校	映画のポスター	真珠湾攻撃の絵
東アジアの情勢の絵	尋常高等小学校	大衆雑誌	真珠湾攻撃を伝えるアメリカの新聞
与謝野晶子＊	師範学校	子ども向けの雑誌	ミッドウェー海戦を伝える日本の新聞
君死にたまふことなかれ	破戒	善の研究	戦意を高める子どもの雑誌の表紙
増税に泣く国民の絵	島崎藤村＊	プロレタリア文学	日本軍による犠牲者の記念碑
南満州鉄道株式会社	煙害で山林がかれた足尾銅山の絵	芥川龍之介＊	原子爆弾
孫文＊	田中正造＊	羅生門	玉音放送
八幡製鉄所	パブロ・ピカソ＊	地獄絵	原爆ドーム
東海道線全線開通	ゲルニカ	蜘蛛の糸	石井十次＊
幸徳秋水＊	ヨーロッパの火薬庫の絵	杜子春	留岡幸助＊
悲母観音像	兵器工場で働く女性の絵	文化住宅	旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）
無我	ソ連の国旗	フランクリン・ルーズベルト＊	五稜郭跡
湖畔	スターリン＊	蒋介石＊	平和の礎

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　教　出】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで			
吉野ヶ里遺跡	竜門の石窟	船で交易をするイスラム商人の絵	「国生み」の神話
ラスコーの洞窟壁画	シルクロード	イスラム教	大国主神と因幡の素うさぎの物語
打製石器	仏像	石窟庵の石仏	木簡
磨製石器	コロッセウム（円形闘技場）	コーラン	貧窮問答歌
土器	水道橋	西遊記	平出遺跡
織物	ローマ法	シンドバッドの冒険	桓武天皇の肖像画
港川人の化石人骨	ローマ字	聖徳太子と伝えられる肖像画	平安京
農耕	キリスト教	煬帝の絵	天皇を屋敷に招き、もてなす藤原氏の絵（『駒競行幸絵巻』）
牧畜	旧約聖書	「隋書」の倭国伝	藤原道長の肖像画
青銅器	新約聖書	法隆寺	源氏物語絵巻「宿木（一）」
甲骨文字	銅鐸	釈迦三尊像	空海が最澄にあてた手紙（『風信帖』）
孔子の肖像画	銅剣	玉虫厨子	天台宗
儒教	稲作	弥勒菩薩像	真言宗
モヘンジョダロの遺跡	金属器	弥勒菩薩像（新羅）	延暦寺
インダス文字や動物が刻まれた印章	石包丁	飛鳥寺	金剛峰寺
仏教	高床倉庫	四天王寺	国風文化
ヒンドゥー教	鉄器	飛鳥文化	寝殿造
十進法	銅鏡	大野城	大和絵
アラビア数字	弥生土器	水城	絵巻物
論語	金印	富本銭	土佐日記
ピラミッド	『魏志』の倭人伝	平城京	かな文字
スフィンクス	箸墓古墳	和同開珎	古今和歌集
太陽暦	五色塚古墳	多賀城	源氏物語
象形文字（神聖文字）	古墳	大宰府	枕草子
神殿	前方後円墳	鑑真の像	平等院鳳凰堂
古代エジプトの農業の絵	埴輪	天平文化	阿弥陀如来像
くさび形文字	大山古墳	鳥毛立女屏風	給与木簡
太陰暦	古墳から出土した埴輪と、鉄製のよろい	樹下美人図	長屋王邸から出土した木簡
ハンムラビ法典の碑	古墳から出土した冠	酔胡王面	法華義疏
アルファベット	稲荷山古墳出土の鉄剣	五弦琵琶	伊治城
ユダヤ教	江田船山古墳出土の鉄刀	阿修羅像	多賀城の軒瓦
ナスカの地上絵	須恵器	国分寺	多賀城政庁跡
キトラ古墳	経典	国分尼寺	蝦夷と朝廷軍の戦い（『清水寺縁起絵巻』）
野尻湖の湖底から発掘された動物の化石	上野原遺跡から出土した石器や土器	東大寺	悪路王の首像
槍先形の打製石器と釣り針	三内丸山遺跡	古事記	胆沢城
縄文土器	是川中居遺跡	日本書紀	志波城
土偶	断夫山古墳	風土記	続日本紀
竪穴住居	長安を訪れた外国からの使節の絵	万葉集	アジャンダ石窟の壁画
始皇帝陵の兵馬俑	唐三彩	大極殿	法隆寺金堂の壁画
万里の長城	シルクロードを旅する商人の絵	朱雀門	

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　教　出】（中学校　社会　歴史的分野）

中世			近世
壇ノ浦の戦いの絵（『平家物語絵巻』）	禅宗	志苔館跡と出土した銅銭	慶長小判
ベネチアの港の絵	鎌倉文化	アザラシの牙でつくられたクマの像	葛飾北斎の風景画（『富嶽三十六景』）
マルコポーロの肖像画	平家物語	田植えの様子の絵（『月次風俗図屏風』）	中世の三美神
東方見聞録	方丈記	水のくみ上げ作業の絵（『たはらかさね耕作絵巻』）	ボッティチェリの『春』
貨幣（宋銭）	徒然草	行商する大原女の絵（『職人尽歌合』）	羅針盤
仏教	新古今和歌集	木の桶をつくる職人の絵（『職人尽絵』）	天文学
南宋の青白磁	東大寺	関所を通る馬借の絵（『石山寺縁起絵巻』）	天動説
高麗の青磁	東大寺南大門	室町時代の祇園祭（『洛中洛外図屏風』）	地動説
木版印刷	金剛力士像	正長の土一揆の碑文	聖書
羅針盤	絵巻物	応仁の乱と足軽の絵（『真如堂縁起絵巻』）	最後の審判
儒教	似絵	浄土真宗（一向宗）	宗教改革の宣伝用に印刷された絵
朱子学	琵琶法師の絵（『慕帰絵詞』）	一向一揆の旗	タージ＝マハル
フビライ＝ハンの肖像画	阿氏河荘の申し状	武田信玄の肖像画	上陸するコロンブス一行の版画
木簡	福岡の市の絵（『一遍上人絵伝』）	城下町	１４９０年につくられた世界地図
数学	定期市	室町文化	マチュピチュ
医学	円覚寺山門	鹿苑寺の金閣	日本に来航した南蛮船と南蛮人（『南蛮屏風』）
天文学	円覚寺仏日庵	田楽・猿楽	鉄砲
高麗の大蔵経	竹林寺	狂言	堺の鉄砲鍛冶の絵（『和泉名所図絵』）
コーラン	真言宗	連歌	フランシスコ＝ザビエルの肖像画
サン・ピエトロ大聖堂	文殊菩薩像	能を楽しむ人々の絵（『洛中洛外図屏風』）	天正遣欧使節
イマーム・モスク	円覚寺舎利殿	銀閣	石見銀山の坑道跡
エルサレムを占領する十字軍の絵	元使塚	書院造	ヨーロッパで製作された日本の地図
貴族の護衛をする武士の絵（『春日権現記絵』）	千人塚	能楽	切銀
平治の乱の絵（『平治物語絵巻』）	元軍と戦う日本の武士（『蒙古襲来絵詞』）	雪舟の肖像画	バリニャーノの肖像画
平清盛の肖像画	石垣（防塁）	水墨画	ローマ教皇に謁見する少年使節
中尊寺金色堂	元寇防塁跡	茶の湯	長篠の戦いの絵（『長篠合戦図屏風』）
厳島神社	幕府の役人に訴える武士の絵（『蒙古襲来絵詞』）	節分	織田信長肖像画
平氏の赤旗	後醍醐天皇の肖像画	七夕	豊臣秀吉肖像画
源氏の白旗	足利尊氏の像	盆踊り	「天下布武」の印
源頼朝と伝えられる肖像画	室町時代の将軍の邸宅の絵（『洛中洛外図屏風』）	浦島太郎	検地の絵（『羽陽秋北水土録図』）
武士の館の絵（『一遍上人絵伝』）	足利義満の肖像画	ものぐさ太郎	城下町
笠懸の絵（『男衾三郎絵詞』）	海賊をはたらく倭寇と明軍との戦い（『倭寇図巻』）	お伽草子	蔚山城の戦いの絵
後鳥羽上皇の肖像画	万里の長城	竜安寺	亀甲船
北条政子の像	足利義満が明の皇帝から与えられた印	枯山水	有田焼
教えを説く法然の絵（『法然上人絵伝』）	陽明学	建築現場で働く子どもの絵（『春日権現験記絵』）	桃山文化
踊念仏をする一遍の絵（『一遍上人絵伝』）	ハングル	機を織る女性の絵（『七十一番職人歌合』）	かぶき踊り（『歌舞伎図鑑』）
田植えの様子の絵（『大山寺縁起絵巻』）	勘合	米を売る女性の絵（『七十一番職人歌合』）	活版印刷機
二毛作	明銭	応仁の乱（『真如堂縁起絵巻』）	ローマ字
浄土真宗	首里城		医学
日蓮宗（法華宗）	グスク（城）		航海術
時宗	万国津梁の鐘		南蛮文化

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　教　出】（中学校　社会　歴史的分野）

近世			近代
薩摩焼	備中ぐわ	村芝居	江戸湾に現れた軍艦の絵
萩焼	千歯こき	木綿の機織りをする農家の絵（『河内名所図会』	スペインの無敵艦隊とイギリス海軍の絵
三線	唐箕	湯島聖堂	エリザベス１世＊
三絃	蝦夷地のにしん漁の絵（『松前檜山屏風』）	傘連判状	クロムウェル＊
三味線	にぎわう大阪の港（『菱垣新綿番船川口出帆ノ図』）	野國總管の像	１７世紀後半のイギリス議会の絵
天守閣	三井家が江戸に開いた越後屋呉服店の絵	大阪・堂島の米市場の絵（『浪速名所図会』）	ベルサイユ宮殿の鏡の間
屏風絵	江戸時代に使われた主な貨幣	徳川吉宗の肖像画	ルイ１４世＊
ふすま絵	蔵屋敷	田沼意次の肖像画	ルソー＊
キリシタン版平家物語	西陣織	松平定信の肖像画	権利の章典
唐獅子図屏風	生野銀山	昌平坂学問所	独立宣言
姫路城	別子銅山	うるしの採集の絵（『日本山海名所図会』）	人権宣言
千利休の肖像画	足尾銅山	伊能忠敬の肖像画	ボストン茶会事件の絵
妙喜庵待庵	紅花街道のにぎわい（『紅花屏風』）	忠敬の地図	ワシントン＊
生け花	一里塚	朱子学	フランス革命前の社会と革命が目ざす社会の風刺画
小袖	豪農の屋敷跡	心学	バスティーユ牢獄の襲撃の絵
浄瑠璃	箱根関所	古事記	ナポレオン＊
人形浄瑠璃	大井川の渡しの絵	古事記伝	鉄とガラスで建てられたクリスタルパレスの会場の絵
徳川家康の肖像画	北前船などでにぎわう新潟の湊の絵	国学	ロンドンのスラムの絵
日光東照宮	元禄文化	蘭学	イギリスの鉄工所の絵
佐渡金山	歌舞伎を楽しむ人々の絵	解体新書	鉄道の開通の絵
五街道	浮世草子	発電機	蒸気機関
関所	日本永代蔵	寒暖計	イギリスの炭坑で働く子どもたちの絵
江戸城	曽根崎心中	東海道中膝栗毛	マルクス＊
会津藩主参勤交代行列図	歌舞伎	南総里見八犬伝	土地を追われる先住民の絵
江戸図屏風	俳諧	葛飾北斎の風景画	リンカーン＊
朱印船の絵	和歌	化政文化	ナイチンゲール＊
朱印状	奥の細道	狂歌	ドイツ帝国の成立の絵
島原・天草一揆（『島原陣図屏風』）	松尾芭蕉の肖像画	川柳	大草原の小さな家
踏絵	尾形光琳の装飾画（『燕子花図屏風』）	落語	インドの大反乱の絵
絵踏の様子	まき絵のすずり箱	錦絵	アヘン戦争の絵
出島	行灯を使う人たち	寺子屋で学ぶ子どもたちの絵（『一掃百態』）	清のアヘン窟の絵
長崎の港と出島の絵（『長崎港図』）	正月を過ごす子どもたち	藩校	間宮林蔵＊
江戸を訪れた朝鮮通信使の一行の絵（『朝鮮通信使江戸市中行列図』）	菱川師宣の浮世絵	伊勢神宮への参詣	大塩平八郎＊
江戸に向かう琉球使節の一行（『琉球中山王両使者登城行列図』）	友禅染	適塾	工場制手工業による綿織物業の絵（『尾張名所図会』）
シャクシャインの像	浮世絵	鳴滝塾	水野忠邦＊
江戸の町の様子（『江戸名所図屏風』）	行灯	江戸の日本橋付近の絵（『江戸図屏風』）	横浜に上陸したペリーの一行の絵
年貢を納める百姓（『農耕春秋屏風』）	元旦	世間胸算用	ペリー＊
皮革の加工	ひな祭り	江戸の四谷付近の絵（『江戸名所図会』）	日本人の描いたペリーの絵
雪駄づくり	端午の節句	東洲斎写楽の役者絵	品川の台場跡
秋の祭礼でくつろぐ人々（『四季農村図屏風』）	彼岸	最後の晩餐	名所江戸百景大はしあたけの夕立
江戸時代の農具の進歩（『老農夜話』）	奉納相撲	雨中の大橋	風神雷神図屏風

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　教　出】（中学校　社会　歴史的分野）

近代			現代
ペリー提督来航記念碑	伊藤博文＊	浮雲	新しい憲法のはなし
開港後の横浜のにぎわいの絵	帝国議会の様子の絵	舞姫	日本国憲法
薩英戦争の絵	議員選挙の風刺画	若菜集	墨ぬりの教科書
坂本龍馬＊	日本国国憲案	一握の砂	ベルリンの壁
四国連合艦隊に占領された下関の砲台	東洋自由新聞	みだれ髪	板門店に引かれた停戦ライン
幕末に江戸で起こった打ちこわしの絵（『幕末江戸市中騒動図』）	津田梅子＊	お正月	沖縄と日本の本土との行き来に使用されたパスポート
伊勢神宮	アットゥシ	荒城の月	東京オリンピック
「ええじゃないか」を描いた絵馬の絵（『豊饒御蔭参之図』）	知里幸恵＊	滝廉太郎＊	萬代橋
京都の二条城で政権返還の宣言をする徳川慶喜の絵	アイヌ神謡集	イギリス軍とドイツ軍の戦いの絵	第五福竜丸
パリ万博の日本の展示会場の絵	大陸をまたぐ巨人の絵	兵士を募集するアメリカ海軍のポスター	第五福竜丸展示館
横井小楠＊	スエズ運河の開通の絵	演説するレーニンの絵	原爆の子の像
新政府綱領八策	シベリア鉄道	二十一か条の要求に抗議する中国のポスターの絵	明日の神話
渋染一揆の碑	鹿鳴館で開かれた舞踏会の様子の絵	「成金」の風刺画	
「小〇」の旗	ノルマントン号の風刺画	新渡戸稲造＊	
徳川慶喜＊	東アジアの国際関係を描いた風刺画	ワイマール憲法	
木戸孝允＊	下関での講和会議の絵	独立運動のレリーフ	
内国勧業博覧会の機械館の絵	戦争ごっこの絵	柳宗悦＊	
鳥羽伏見の戦いの絵	八田與一の像	吉野作造＊	
五稜郭	列強の中国侵略の様子を描いた風刺画	名古屋での米騒動の絵	
五箇条の御誓文を読み上げる様子の絵	外国軍と戦う義和団の絵	原敬＊	
明治時代の小学校の授業の絵	日英同盟を記念して発行された絵はがきの絵	平塚らいてう＊	
小学校	日英同盟の風刺画	青鞜	
地券	旅順を攻撃する日本軍の絵	文化住宅	
地租改正の反対一揆の絵	与謝野晶子＊	大正時代に発行された雑誌	
富岡製糸場	君死にたまふことなかれ	ラジオ放送	
三角西港	増税に泣く国民の絵	芥川龍之介＊	
鉄道	孫文＊	善の研究	
クラーク像	南満州鉄道株式会社	プロレタリア文学	
洋風化する町並みの絵	八幡製鉄所	鳥瞰図に描かれた、当時の名古屋市の中心部の絵	
福沢諭吉＊	田中正造＊	赤レンガ郷土館	
学問のすすめ	明治のころの足尾銅山付近の絵	ルーズベルト＊	
太陽暦	明治時代に使われた『小学日本歴史』の教科書	ヒトラー＊	
使節団の報告書に描かれたイギリスの工場の絵	教育勅語	ムッソリーニ＊	
尚泰＊	野口英世＊	裏が白い紙幣	
自由民権運動の演説会の様子の絵	にごりえ	満州国の建国ポスターの「絵」	
板垣退助＊	樋口一葉＊	犬養毅＊	
田原坂での政府軍と西郷軍の戦いの図	坊ちゃん	朝鮮神宮	
西郷隆盛＊	夏目漱石＊	アンネフランク＊	愛国イロハカルタ
五日市憲法	湖畔	アンネの日記	浅川巧＊
大日本帝国憲法の発布式の絵	無我	アウシュヴィッツ強制収容所	杉原千畝＊
大日本帝国憲法	小説神髄	軍票	ゲルニカ

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　発行者　清　水】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで			
打製石器	弥生土器	高松塚古墳の壁画	将門の首塚
ラスコーの壁画	福岡県永岡遺跡	薬師寺東塔	将門軍を攻める朝廷側の軍
女性像（祈る際に用いた像）	銅鐸	長屋王邸宅跡で発見された木簡	後三年合戦（「後三年合戦絵巻」）
磨製石器	金印	平城京	中尊寺金堂
土器	三国志	東大寺大仏	紀伊国にあった荘園の絵図
縄文土器	銅鏡	国分寺	興福寺の僧兵の絵（天狗草子）
土偶	古墳	国分尼寺	平等院鳳凰堂
亀ヶ岡遺跡	円墳	東大寺	国風文化
抜歯	方墳	鑑真像	片仮名と平仮名
伊川津貝塚	栃木県鶏塚古墳	東大寺戒壇院	古今和歌集
屈葬	埴輪	唐招提寺	仮名文字
加曽利貝塚	大山古墳	御堂関白記	寝殿造り
相沢忠洋が発見した旧石器	群馬県出土の金の冠	荷札木簡	束帯
ピラミッドとスフィンクス	韓国出土の冠	風土記	十二単
青銅器	漢字が書かれた鉄剣	７０２年につくられた戸籍	竹取物語
くさび形文字	須恵器	万葉集	源氏物語
死者の書	漢字	農民の家	枕草子
ハンムラビ法典	仏教	続日本紀	大和絵
印章・インダス文字	唐を訪れた外国の使節の絵	東大寺領の荘園（越前国道守荘）	阿弥陀仏
モヘンジョダロの遺跡	玄奘	東大寺正倉院と宝物	阿弥陀如来像
象形文字	西遊記	漆加工された水さし	彰子に書物を講義する紫式部の絵（「紫式部日記絵巻物」）
修行するシャカ	仏教経典	ガラス製のコップ	「源氏物語絵巻」詞書
ギリシャ彫刻	メッカのカーバ神殿	五絃の琵琶	「源氏物語絵巻」宿木
キリスト教	コーラン	天平文化	土佐日記
イエスの絵	バグダッドのモスク	阿倍仲麻呂の肖像画（尾形光琳画）	
旧約聖書	石窟庵	古事記	
新約聖書	大雁塔	懐風藻	
甲骨文字	法隆寺	真福寺	
儒教	飛鳥文化	出雲大社	
経典	法隆寺釈迦三尊像	猪目洞窟	
論語	法隆寺金堂	平安京	
半両銭	法隆寺五重塔	延暦寺	
コロッセウム	玉虫厨子	天台宗	
万里の長城	広隆寺の弥勒菩薩像	金剛峰寺	
漢代の織物	韓国の弥勒菩薩像	真言宗	
吉野ヶ里遺跡	日本書紀	最澄の肖像画	
水稲耕作	藤原京跡	空海の肖像画	
石包丁	富本銭	国司の生活のようす（「松崎天神縁起絵巻」）	
高床式倉庫	薬師三尊像	陣（「年中行事絵巻」）	
鉄器	聖観音像	小右記	

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　発行者　清　水】（中学校　社会　歴史的分野）

中世			近世
宋代の磁器	法然の絵（「法然上人絵伝」）	東求堂の同仁斎	サンピエトロ大聖堂
羅針盤	平家物語	書院造	ルター
朱子学	新古今和歌集	水墨画	「春」ボッティチェリ作
銅銭（宋銭）	方丈記	能	１５世紀にヨーロッパでつくられた地図
陶磁器	東大寺大仏殿	狂言	コロンブスの西インド諸島到達の絵
火薬	琵琶法師の絵（「慕帰絵詞」）	茶の湯	酷使されるアメリカの先住民の絵
活字印刷	「北野天神縁起絵巻」	生け花	マニラに建てられたスペインの城砦
チンギスハンの肖像画	一遍の踊り念仏（「一遍上人絵伝」）	はじめのころの能舞台の絵（「洛外洛中図屏風」）	磁器
フビライの肖像画	恩賞を要求するの絵（「蒙古襲来絵詞」）	風流踊りの絵（「洛外洛中図屏風」）	石見銀山
マルコポーロの肖像画	石塁の前を進むの絵（「蒙古襲来絵詞」）	枯山水の庭園	倭寇の絵（「倭寇図巻」）
ベネチアの港の絵	現存する石塁	琉球王国のグスク	上杉謙信の春日山城の絵
１３世紀に建てられた大聖堂	足利義満の肖像画		信玄堤
モンゴルの騎兵の絵	室町幕府将軍の屋敷の絵（「洛中洛外図屏風」）		毛利元就の肖像画
東方見聞録	後醍醐天皇の肖像画		南蛮屏風
十字軍の遠征の絵	勘合		鉄砲
厳島神社	ハングルの解説書		堺の鉄砲鍛冶の絵（「和泉名所図会」）
平清盛像	にぎわう那覇の港の絵		ザビエルの肖像画
壇ノ浦の戦いの絵	ダウ船		中浦ジュリアンの版画
源頼朝像	ジャンク船		伊東マンショの版画
北条政子の像	御朱印船の絵		原マルティノの版画
武士の訓練の絵（「男衾三郎絵詞」）	惣村の門		千々石ミゲルの版画
武士の館（「一遍上人絵伝」）	田植えと田楽の絵（「風俗図屏風」）		長篠の戦い（「長篠合戦図屏風」）
紀伊国阿弖河荘の農民の訴え（「高野山文書」）	農民の徳政宣言		織田信長の肖像画
牛を使った耕作（「大山寺縁起絵巻」）	大乗院日記目録		安土山下町中掟書
二毛作	高利貸しの絵（「山王霊験記」）		安土城
定期市	水車の絵（「石山寺縁起絵巻」）		本能寺
「源氏物語絵巻」	京の店の絵（「洛中洛外図屏風」）		豊臣秀吉の肖像画
「一遍上人伝」	職人の絵（「七十一番職人歌合」）		検地（「徳川幕府県治要略」）
「一遍上人伝」福岡市	明銭		京ますと検地尺
「洛中洛外図屏風」上杉本	馬借（運送業者）の絵（「石山寺縁起絵巻」）		李舜臣の像
鎌倉文化	応仁・文明の乱の絵（「真如堂縁起絵巻」）		耳塚
東大寺南大門	寺院をおそう足軽の絵（「真如堂縁起絵巻」）		朱子学
金剛力士像	大乗院寺社雑事記		萩焼
浄土宗	一向一揆の軍旗		有田焼
浄土真宗	蓮如の肖像画		薩摩焼
時宗	祇園祭りの絵（「洛中洛外図屏風」）		南蛮文化
日蓮宗	室町文化		桃山文化
禅宗	金閣		姫路城
建長寺	連歌		西本願寺書院
円覚寺	銀閣		大阪城

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　発行者　清　水】（中学校　社会　歴史的分野）

近世			近代
天守閣	加賀藩の大名行列の絵	意次の計画した印旛沼の干拓の絵	弁髪
屏風絵	御油の宿場（「東海道五十三次」歌川広重画）	傘連判状	両班の絵（金得臣画「路上見謁」）
ふすま絵	五街道	天明の大飢饉（「天明飢饉之図」）	ベトナムの王宮
透かし彫りのらん間	復元された菱垣廻船	松平定信の肖像画	プランテーションの絵
侘び茶	大阪のにぎわい（「菱垣新綿番船川口出帆之図」）	昌平坂学問所	奴隷貿易の絵
歌舞伎踊り	両替商	伊能忠敬の地図	ロシア皇帝エカチェリーナ２世＊
三線	日本橋（「江戸図屏風」）	日本人の描いたロシア人の絵	独立宣言
三味線	越後屋の店内の絵	大黒屋光太夫の肖像画	アメリカの独立宣言の採択の絵
浄瑠璃	江戸時代のお金	心学の講義（「前訓」）	ワシントン＊
小袖	花見を楽しむ人びと（「江戸風俗図巻」）	本居宣長の肖像画	人権宣言
信長の肖像画	湯島聖堂	塙保己一の肖像画	フランス革命で採択された「人権宣言」のとびらの絵
文字瓦	徳川綱吉の肖像画	群書類従	ナポレオン＊
日本史（ルイス・フロイス）	儒学の講義の絵	藩校	１９世紀はじめに開発された蒸気機関車の絵
信長の自筆の手紙	元禄時代に建てられた民家	懐徳堂	炭鉱で働く子どもの絵
信長公記	雑煮	心学	産業革命のころのロンドン市街
当代記	ひな人形	万葉集	マルクス＊
旅をする阿国の絵	こいのぼり	古事記	百貨店（デパート）の開業の絵
阿国の舞台の絵	吉良邸に討ち入る赤穂浪士（歌川広重画）	「解体新書」のとびらの絵	ビスマルク＊
徳川家康の肖像画	元禄文化	風説書	スエズ運河の絵
身分による食事風景の絵（「老農夜話」）	歌舞伎の興行の絵	西洋紀聞	リンカーン＊
年貢米の納付の絵（「七難七福図」）	見返り美人図　菱川師宣画	北槎聞略	インドの大反乱の絵
農村のようすの絵（「新編相模国風土記稿」）	近松門左衛門の肖像画	シーボルトの肖像画	磁器
検地帳	人形浄瑠璃の舞台（「牟芸古雅志」）	解体新書	ジャワ島のプランテーションの絵
宗門人別改帳	歌舞伎	鳴滝塾	父が子に語る世界歴史（ネルー）
長崎の出島（「長崎図屏風」）	能	浮世絵とヨーロッパの絵画の絵	中国の軍船を砲撃するイギリス軍艦の絵
踏み絵	狂言	寺子屋（「渡辺崋山『一掃百態』」）	大塩平八郎の乱の絵
日本（シーボルト）	燕子花図屏風　尾形光琳筆	化政文化	集成館
朝鮮通信使の絵	浮世草子	江戸の絵草紙屋	水野忠邦＊
雨森芳洲の肖像画	俳諧	東海道中膝栗毛	長州藩の反射炉
首里城	浮世絵	南総里見八犬伝の絵	西洋式の軍艦、工場
シャクシャインの像	陽明学	錦絵	ペリーの神奈川上陸（「ペリー神奈川上陸図」）
年始のあいさつに来たアイヌの代表者の絵	井原西鶴の肖像画	狂歌	ペリー＊
備中ぐわ	松尾芭蕉の肖像画	川柳	咸臨丸の絵
農具の利用（「老農夜話」）	徳川吉宗の肖像画	明治時代の地図	桜田門外の変の絵
蝦夷地のにしん漁の絵	大阪堂島の米市場（「摂津名所図会」）	江戸時代の地図	坂本竜馬＊
伊丹の酒造の絵（「日本山海名産図会」）	青木昆陽著「甘薯記」	日光の社寺	西郷隆盛＊
紅花の加工の絵	蘭学		大政奉還の絵
太地の捕鯨の絵	町火消しの絵		物価の値上がりを風刺する浮世絵
箱根の関所	江戸の打ちこわし（「幕末江戸市中騒動図」）		「ええじゃないか」の絵
小田原の渡しの絵（「東海道五十三次」歌川広重画）	田沼意次の肖像画		フランス軍服の姿の徳川慶喜＊

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　発行者　清　水】（中学校　社会　歴史的分野）

近代			現代
東京へ向う明治天皇の絵	五日市憲法	国定教科書	東京タワー
廃藩を言い渡す明治新政府の役人の絵（「廃藩置県」）	五日市憲法草案が発見された土蔵	授業の様子	農地改革のポスター
士族の商法の絵	伊藤博文＊	「湖畔」	戦争放棄（「あたらしい憲法のはなし」）
兵役のがれの絵	憲法発布式典の絵（「憲法発布式」和田英作画）	野口英世＊	日本国憲法
富岡製糸場の絵	憲法発布の日の絵	夏目漱石＊	墨でぬられた教科書
地券	大日本帝国憲法	森鴎外＊	第五福竜丸
新しい貨幣	教育勅語	国家神道	ベルリンの壁
蒸気機関車	教育勅語の奉読式の絵（「風俗画報」）	二十一か条要求を非難するポスター	東海道新幹線の開通
新橋駅の絵	第２回帝国議会のようすの絵	演説するレーニンの絵	オリンピック東京大会
日本銀行	当時の投票のようすの絵（ビゴー画）	シベリア出兵の絵	高速道路
蒸気船	ノルマントン号事件（ビゴー画）	スターリン＊	鳥獣戯画
郵便	戦争で破壊された中国の庭園（円明園）の絵	ソ連の５か年計画のポスターの絵	北斎漫画
電信	中国の近代化	ベルサイユ条約の調印式の絵	ポンチ絵
開化の風俗の絵	金玉均＊	日本に対する風刺画	手塚治虫「新宝島」
文明開化	下関条約の調印の絵	三・一独立運動のレリーフ	手塚治虫とキャラクターたち（切手）
漢学	ビゴーの風刺画	ガンジー＊	紙芝居「黄金バット」
国学	シベリア鉄道	五・四運動の絵	長谷川町子「サザエさん」
福沢諭吉＊	八幡製鉄所	魯迅＊	
学問のすすめ	ああ増税（「東京パック」）	米騒動の広がりの絵	
新聞の売り子と新聞を読む人力車夫の絵	与謝野晶子＊	吉野作造＊	
開智学校	君死にたまふことなかれ	成金の絵	
太陽暦の採用	明星	水平社ポスター	
天保江戸図	南満州鉄道株式会社	ブラジル移民と募集のポスター	
葛飾北斎画「昌平橋聖堂神田川」	「創作」明治43年10月号	大衆文化	
湯島聖堂	清政府への不満の絵	「赤い鳥」創刊号の表紙	
永代橋の絵	革命軍の南京入城の絵	「杜氏春」	
永代橋	紫禁城	大正時代の東京駅の絵	
葛飾北斎画「日本橋一丁目略図」	溥儀＊	モガ（モダンガール）の絵「時代漫画」	
台湾出兵の絵	孫文＊	円本	血債の塔
朝鮮との交渉の絵	袁世凱＊	ラジオ放送	京城の朝鮮神宮
開拓使	留学中の魯迅＊	牛鍋屋と牛鍋を食べる人の絵	赤紙
札幌農学校	「藤野先生」（松村茂夫訳）	洋菓子の広告	配給切符
北海道で開拓に従事する屯田兵	ファン・ボイ・チャウ＊	大正時代のデパートの食堂のメニュー	国民礼法
琉球の使節が那覇に帰り着くの絵	康有為＊	ヒトラー＊	石永淳ほか「むかし、みんな軍国少年だった」
おっぺけぺー節の絵	官営の八幡製鉄所	映画「独裁者」	山室静編「１６歳の兵器工場－野沢高女勤労動員の記録」
板垣退助＊	田中正造＊	「のらくろ軍事探偵」の絵	野村章「植民地そだちの少国民」
大久保利通＊	小学校の勉強双六の絵	「少年倶楽部」	加藤周一編「私の昭和史」
政府軍と西郷軍の絵	「収穫」	満州などでの開拓移民を呼びかけるポスター	森住卓「沖縄戦『集団自決』を生きる」
口をふさがれた新聞記者と演説会のようす（「絵入り自由新聞」）	都市の貧しい人びとの生活（「風俗画報」）	盧溝橋	原爆ドーム
中江兆民＊	「ハイカラ」の絵	「ゲルニカ」	

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　帝　国】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで			中世
百済の冠	神話	漢書	平清盛の木像
百済の靴	ラテン文字（ローマ字）	後漢書	源頼朝と伝えられる肖像画
キトラ古墳	ギリシャの神殿	魏志倭人伝	源義経の肖像画
キトラ古墳の南側の壁にえがかれていた朱雀	ミロのビーナス	前方後円墳	北条時宗の肖像画
藤ノ木古墳の冠	ローマ時代の水道橋	埴輪	足利義満の肖像画
藤ノ木古墳の靴	太陰暦	稲荷山古墳出土の鉄剣	足利義政の肖像画
大仙古墳	太陽暦	江田船山古墳出土の鉄刀	雪舟の肖像画
新徳古墳	漢国内の王に与えられた印	須恵器	元寇襲来の絵
西都原古墳群	北方の民族の支配者に与えられた印	機織（技術）	凌雲寺跡
五色塚古墳	甲骨文字	飛鳥文化	一遍聖絵
角塚古墳	稲作	釈迦三尊像	現地の荘園支配者の館に年貢が運び込まれるようすの絵（『粉河寺縁起絵巻』）
西谷３号墓	青銅器	竜門石窟	東大寺
聖徳太子と伝えられる肖像画	漢字	広隆寺弥勒菩薩像	平将門の像
小野妹子の肖像画	兵馬俑坑	韓国の弥勒菩薩像	中尊寺金色堂
中大兄皇子の肖像画	万里の長城	法隆寺	延暦寺
中臣鎌足の肖像画	鉄製の農具	富本銭	興福寺
聖武天皇の肖像画	儒教	和同開珎	焼き打ちをする武士の絵（『平治物語絵巻』）
行基の木像	シルクロード	平城京	厳島神社
鑑真和上像	仏教	多賀城	矢を射る訓練をする武士の絵（『男衾三郎絵詞』）
藤原道長の肖像画	キリスト教	大野城	万葉集
紫式部の肖像画	イスラム教	水城	平安京
清少納言の肖像画	ヒンドゥー教	鴻臚館	アテルイとされる面
聖徳太子がえがかれた旧壱万円札	ユダヤ教	イスラム製のガラスびんと陶器	寝殿造の庭で舞を見る貴族の絵（『年中行事絵巻』）
１１世紀につくられた聖徳太子像	新約聖書	中国製の水差し	平等院鳳凰堂
１８世紀につくられた聖徳太子像	コーラン	日本製の鬼瓦	阿弥陀仏
東大寺の大仏	聖地エルサレム	籌木	天台宗
周防国衙跡	修行するシャカの像	陸前国嶋郡の戸籍	真言宗
岩宿遺跡	天井にえがかれたイエスの絵	貧窮問答歌	比叡山延暦寺
ラスコーの洞穴壁画	カーバ神殿	天平文化	高野山金剛峯寺
打製石器	縄文土器	鑑真和上坐像	浄土信仰
牧畜	弥生土器	国分寺	源氏物語絵巻
農耕	土偶	国分尼寺	庶民の生活の絵（『扇面古写経』）
磨製石器	貝塚	唐招提寺	菅原道真の肖像画
土器	たて穴住居	五弦琵琶	国風文化
港川で見つかった人骨	三内丸山遺跡	トルファンの樹下美人図	かな文字
野尻湖で見つかった動物の化石	銅鐸	鳥毛立女屏風	古今和歌集
神聖文字	銅剣	正倉院	源氏物語
くさび形文字	石包丁	校倉造	枕草子
インダス文字	高床倉庫	古事記	大和絵
金属器	銅矛	日本書紀	寝殿造
ピラミッド	姥山貝塚	石見神楽	安倍晴明像
モヘンジョダロの遺跡	首から上がない人骨	高千穂神楽	陰陽道
哲学	物見やぐら	風土記	高松塚古墳壁画

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　帝　国】（中学校　社会　歴史的分野）

中世		近世	
弓の弦を張る武士の絵（『男衾三郎絵詞』）	沈没船	ザビエルの肖像画	コロンブスの肖像画
吾妻鏡	木簡	織田信長の肖像画	バスコ＝ダ＝ガマの肖像画
おどり念仏と一遍の絵（『一遍聖絵』）	トイレの発達の絵（『餓鬼草子』）	豊臣秀吉の肖像画	マゼランの肖像画
熊野古道	トイレの発達の絵（『慕帰絵詞』）	徳川家康の肖像画	ギニア湾北部の海岸
浄土宗	トイレの発達の絵（『洛中洛外図屏風』）	徳川家光の肖像画	奴隷船内部の絵
日蓮宗	トイレの発達の絵（『洛中洛外図屏風』）	近松門左衛門の肖像画	マチュ＝ピチュ
禅宗	用水技術の発達の絵（『たはらかさね耕作絵巻』）	歌川広重の肖像画	日本にやってきた南蛮人の絵（『南蛮屏風』）
座禅	二毛作	本居宣長の肖像画	鉄砲
浄土真宗	牛馬による耕作	杉田玄白の肖像画	堺の鉄砲鍛冶の絵（『和泉名所図絵』）
時宗	陶器	伊能忠敬の肖像画	石見銀山
天台宗	宋銭	日光東照宮の陽明門	石見銀山でとれた銀でつくられた銀貨
真言宗	明銭	阿月神明祭り	長篠の戦いの絵（『長篠合戦図屏風』）
巡礼	定期市	四季耕作図屏風	比叡山延暦寺
東大寺南大門	関所	天文学の研究のようすの絵	石山本願寺
金剛力士像	のこぎりを引く大工（『三十二番職人歌合絵巻』）	イスラム商人の船	安土城
平家物語	結桶師の絵（『職人尽絵』）	イスラム教	本能寺
絵巻物	龍安寺の石庭	キリスト教	大阪城
琵琶法師の絵（『慕帰絵詞』）	馬借の絵（『石山寺縁起絵巻』）	羅針盤	天下布武の印章
称明寺	農民がつくった訴状	活版印刷術	検地のようすの絵
鎌倉街道	正長の土一揆の成果を記した碑文	天文学	京ます
切通し	蓮如の肖像画	地理学	検地尺
謡曲「鉢木」	一向一揆の旗	聖書	検地帳
高徳院	祇園祭のようすの絵（『洛中洛外図屏風』）	三美神	小早川家文書
切通しを通ろうとする一遍（『一遍聖絵』）	今掘日吉神社文書　今堀郷のおきて	教会での資金集めのようすの絵	耳塚
元軍と戦う武士の絵（『蒙古襲来絵詞』）	応仁の乱（『真如堂縁起』）	連歌	有田焼の壷
木版印刷	大友宗麟の肖像画	浦島太郎	天正遣欧少年使節の絵
防塁あと	斎藤道三の肖像画	物ぐさ太郎	姫路城
絵巻物にえがかれた防塁の絵（『蒙古襲来絵詞』）	上杉謙信の肖像画	お伽草子	城の内部の大広間
悪党の姿の絵（『聖徳太子絵伝』）	毛利元就の肖像画	金閣	唐獅子図屏風
二条河原の落書（「建武年間記」）	今川義元の肖像画	銀閣	千利休の肖像画
後醍醐天皇の肖像画	北条早雲の肖像画	東求堂同仁斎	茶の湯
足利将軍の御所のようす	武田信玄の肖像画	畳を持ち運ぶようすの絵（『春日権現験記絵』）	伏見城
足利尊氏の像	信玄堤	瑠璃光寺の五重塔	安土桃山文化
明軍と戦う倭寇（『倭寇図巻』）	城下町	水墨画	医学
勘合	朝倉孝景条々	雪舟の水墨画	航海術
足利義満が任命された称号	今川仮名目録	平安時代、白河天皇が出かける場面の絵（『春日権現験記絵』）	南蛮風マント
ハングル	甲州法度之次第	南北朝時代、後醍醐天皇が鎌倉幕府の武士に追われる場面（『太平記絵巻』）	南蛮文化
首里城正殿	田植えと田楽の絵（『月次風俗図屏風』）	銅銭で買い物をするようすの絵（『一遍聖絵』）	阿国歌舞伎（『歌舞伎図巻』）
明の時代の宮殿	猿楽	耕作をするようすの絵（『月次風俗図屏風』）	活版印刷
万国津梁の鐘	田楽	木綿に染色をするようすの絵（『職人尽絵』）	三味線
陶磁器	能	たたら製鉄	人形浄瑠璃
牙製のくま像	狂言	老人と子どもの絵（『法然上人絵伝』）	歌舞伎踊り
擦文文化	盆踊り	あの世からこの世にきた子どもの絵	三味線をひく人と双六で遊ぶ人々の絵（『彦根屏風』）

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　帝　国】（中学校　社会　歴史的分野）

近世			近代
寛永令	石見銀山	傘連判状	大正時代に建てられたビル（旧秋田商会）
朱印船の絵	生野銀山	田沼意次の肖像画	摂州神戸海岸繁栄之図
朱印状	足尾銅山	貿易品の重さをはかるようすの絵（『唐蘭館絵巻　商品計量図』）	権利の章典
山田長政の銅像	別子銅山	朱子学の講義の絵（『聖堂講釈図』）	イギリスの議会の絵
絵踏のようす	大井川の渡しの絵	松平定信の肖像画	桟留縞の着物の絵（『風流四季哥仙』）
踏絵	五街道	肥前藩の大砲製造所の絵	ロンドン＝ファッション
天草四郎の肖像画	菱垣廻船	反射炉	鉄道の開通
寛永十五年肥前島原陣之図	樽廻船	藩校	蒸気機関
島原陣図屏風・戦闘図	越後屋の店内の絵	上杉治憲（鷹山）の肖像画	独立宣言
壺井家文書	大阪の港のにぎわいの絵	根室で幕府からの返事を待つラクスマン一行の絵	人権宣言
綿考輯縁	木綿問屋の株仲間の札	大塩平八郎の肖像画	フランス革命前後の税の負担を表した風刺画
原城跡	蔵屋敷	水野忠邦の肖像画	ルソー＊
出島にあったオランダ人の住む家の内部の絵	西陣織	寺子屋のようすの絵	ビスマルクを崇拝する伊藤博文の絵
朝鮮通信使をまねた行列が通る祭りの絵（『浮絵朝鮮人』	清水焼	大地震を伝えるかわら版	アメリカ大統領リンカンの絵
唐子踊り	昆布とりをするアイヌの人々の絵	解体新書	ビスマルク＊
朝鮮人街道の碑	高田屋嘉兵衛の肖像画	国学	手作業で糸をつむぐ女性の絵
朝鮮通信使の姿をした人形	絵馬にえがかれた北前船の絵	古事記伝	工場での糸つむぎの作業の絵
出島（『長崎港図』）	道中の薬売りの絵	蘭学	マルクス＊
オランダ風説書	柳行李	日本地図	世界の産物が集められた第１回万国博覧会の絵
那覇港のにぎわいの絵（『琉球交易港図屏風』）	立山の名所図の絵	ゴッホのえがいた油絵（『タンギーじいさん』）	アヘン戦争の絵
琉球からの謝恩使の絵（『琉球中山王両使者登城行列図』）	黒砂糖づくりの絵	隅田川の花火（『名所江戸百景』）	アヘンを吸う清の人々の絵
アイヌオムシャのようすの絵（『日高アイヌ・オムシャ之図』）	歌舞伎の劇場の絵（『踊形容江戸絵栄』）	和時計	清の大臣　林則徐
シャクシャイン像	徳川綱吉の肖像画	からくり人形	高杉晋作＊
琉球のようすの絵	湯島聖堂	天体望遠鏡	反乱に立ち上がったインドの人々の絵
三本の弦の楽器	元禄文化	花火	徳川禁令考（異国船打払令）
琉球国王の紅型	慶長小判	私塾	徳川禁令考（天保の薪水給与令）
清の皇帝の肖像画	元禄小判	寺子屋	警備にあたる諸藩武士の絵
沖縄最古のシーサー	見返り美人図	化政文化	ペリー＊
掟十五条	風神雷神図屏風	葛飾北斎の風景画（『富嶽三十六景』）	かわら版にえがかれたペリー
イオマンテの絵（『蝦夷島奇観』）	松尾芭蕉の肖像画	歌舞伎の役者の浮世絵	吉田松陰＊
蝦夷地のようすの絵（『世界周航図』）	歌舞伎	東海道中膝栗毛	勝海舟との会談の絵（『江戸開城談判』）
木の皮でつくられたアイヌの衣服	俳諧	南総里見八犬伝	西郷隆盛＊
蝦夷錦	浮世絵	川柳	五稜郭
ユーカラをうたうアイヌの人々の絵（『アイヌ風俗絵巻』）	装飾画	狂歌	会津の戦いの絵
年貢を納めるようすの絵（『七難七福図絵巻』）	和算	道に捨てられる糞尿の絵	ええじゃないかの絵
儒学	正月や節句などの年中行事	神田川にかけられた木樋の絵（『江戸図屏風』）	坂本龍馬＊
朱子学	甘藷記	手習いのようすの絵	中岡慎太郎＊
分けられた男女の席の絵	目安箱	長屋での糞尿のくみ取りの絵	横井小楠＊
備中鍬の絵（『民家敬老図』）	徳川吉宗の肖像画	戦場で戦う武士（『川中島合戦図屏風』）	勝海舟＊
千歯こき（『老農夜話』）	問屋制家内工業による綿織物の生産と商品の買いつけの絵（『河内名所図会』）	長崎で積み荷を確認する武士	禁門の変の絵
紅餅をつくる作業の絵（『紅花屏風』）	工場制手工業による綿織物の絵（『尾張名所図会』）	江戸時代の裁きのようすの絵	徳川慶喜＊
藍玉をつくるまでのようすの絵	御蔭参りの絵		後藤象二郎＊
佐渡金山	米商人に対する打ちこわしのようすの絵（『幕末江戸市中騒動記』）		桂小五郎（木戸孝允）＊

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　帝　国】（中学校　社会　歴史的分野）

近代			現代
大久保利通＊	明治時代の選挙の絵	南満州鉄道株式会社	ＧＨＱが作成した新しい憲法のポスター
江戸城に入る天皇の一行の絵	当時のすごろくに見る理想とされた日本人少年像（『実業少年出世双六』）	八幡製鉄所	日本国憲法
明治天皇＊	日の丸、君が代	豊田式織機	戦後の墨塗り教科書
岩倉具視＊	小説神髄	ペスト菌発見	第五福竜丸
三条実美＊	浮雲	赤痢菌発見	東海道新幹線の開通
富岡製糸場の絵	舞姫	黄熱病研究	東京オリンピック開催
旧開智学校	高瀬舟	内国勧業博覧会の絵	映画「ゴジラ」
授業のようすの絵	たけくらべ	都市下層民のくらしの絵	漫画「ドラえもん」
地券	みだれ髪	日本之下層社会（横山源之助）	ロカビリーの演奏
銀座をえがいた錦絵（『東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉化石商家盛栄之図』）	吾輩は猫である	当時の社会を風刺した絵	ベルリンの壁
福沢諭吉＊	こころ	田中正造＊	祇園祭
太陰暦	若菜集	足尾銅山	
太陽暦	破戒	大政奉還を決意した徳川慶喜のようすの絵	
電信（東京－横浜間）	病牀六尺	大日本帝国憲法を発布する明治天皇のようすの絵	
郵便制度	一握の砂	ふっとうする大釜の絵	
鉄道開通（新橋－横浜間）	無我	米騒動の絵（『米騒動絵巻』）	
横浜の絵	読書図	成金の絵	
横浜港のようすの絵	老猿	ベルサイユ条約の調印の絵	
生糸の品質を調べる欧米の商人の絵	正岡子規＊	ワイマール憲法	
にぎわう伊勢佐木町	ヨーロッパ諸国の力関係を風刺した絵地図	三・一独立運動でたたかった少女（レリーフ）	
外来のものと日本のものの争いの絵	ノルマントン号事件の絵	ガンディー＊	
現在も残る下水道	鹿鳴館でおどる人々の絵	選挙ポスター	
台湾出兵の絵	陸奥宗光＊	平塚らいてう＊	
石垣島の養老式典の絵	小村寿太郎＊	青鞜の表紙	
尚泰＊	横浜中華街	小林多喜二＊	映画「独裁者」
人頭税石	当時の日本を風刺した絵	文化住宅	軍国主義の風刺画
アイヌ学校	山酔人経綸問答	東京の地下鉄開通を知らせるポスター	１９４１年の初等科一年生の算数の教科書
琴似屯田兵村	中江兆民＊	赤い鳥	リトアニアの切手になった杉浦千畝
手宮・札幌間の鉄道	日本政府と交渉する朝鮮の役人の絵	小学六年生	大陸への旅行をうながすポスター
囚人による道路開削	魚釣り遊びの絵	蜘蛛の糸	満州国のポスター
黒田清隆＊	黄海海戦の絵	ごんぎつね	インドで配られた日本がつくったビラ
クラーク＊	列強の仲間入りをする日本に対する風刺画	有声映画（トーキー）	蚕を飼う農家のようす
知里幸恵＊	ロシアにいどむ日本をえがいた風刺画	モガ（モダンガール）	ひめゆりの塔
開拓使麦酒醸造所とビールのラベル	シベリア鉄道	黒船屋	平和の礎
西南戦争の絵	内村鑑三＊	阪神地域のにぎわいの絵（『神戸市名所交通図会』）	ガマ（うるま市具志川）
板垣退助＊	万朝報	初代通天閣	原爆ドーム
自由民権運動の演説会の絵	与謝野晶子＊	阪神甲子園球場	浦上天主堂
演歌のオッペケペ節の絵	明星	赤レンガの東京駅	細川浩史・亀井博編「広島第一県女一年六組　森脇瑤子の日記」
五日市憲法	日露戦争の体験記	宝塚歌劇のポスター	小熊宗克「死に影に生きて－中学生の勤労動員日記」
大日本帝国憲法	忠魂碑	宮沢賢治＊	北山みね「「人間の魂は滅びない」『昭和戦争文学全集14集』
憲法発布のようすの絵	石川啄木のうた	「雨ニモマケズ」の詩	富塚清『ある科学者の戦中日記』
伊藤博文＊	大山聰著「父が子に語る世界史」	「ナチズム下の子どもたち」	陸軍が作成したパンフレット「国防の本義と其強化の提唱」
帝国議会の絵	孫文＊	「ナチズムの記憶」	桃太郎　海の神兵（アニメ）

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　日　文】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで			
３５０万年前の猿人の親子の足あと	竪穴住居	四天王寺	国風文化
洞くつの壁画	土偶	飛鳥文化	大和絵
打製石器	縄文土器	仏教文化	かな文字
土器	稲作	天平文化	竹取物語
農耕	弥生土器	正倉院	源氏物語
牧畜	銅鏡	金堂釈迦三尊像	枕草子
骨角器	銅鐸	法隆寺百済観音像	古今和歌集
磨製石器	鉄器	高松塚古墳の壁画	登り窯
古代エジプトの小麦の収穫の様子の絵	銅剣	酔胡王面	渡来文化
神殿	銅矛	五弦琵琶	百済王神社
宮殿	吉野ヶ里遺跡	紺瑠璃坏	高麗神社
１週間７曜制	三国志の魏志倭人伝	新羅のガラス製杯	石塔寺
六十進法	金印	唐招提寺金堂	舞楽
モヘンジョダロの遺跡	大仙古墳	鑑真和上像	興福寺阿修羅像
ウルのジッグラト	稲荷山古墳出土の鉄剣	東大寺大仏	源氏物語絵巻
ピラミッド	前方後円墳	行基の木像	
インダス文字で書かれた印	古墳	万葉集	
くさび形文字	埴輪	貧窮問答歌	
象形文字	須恵器	古事記	
殷の王の墓	漢字	日本書紀	
甲骨文字	江田船山古墳出土の鉄刀	風土記	
青銅器	仏国寺の多宝塔	平城京	
万里の長城	唐をおとずれた外国の使節の絵	平安京	
シルクロード	聖徳太子と伝えられる肖像画	阿弖流為と副将母礼の碑	
はかりにのせる分銅	遣唐使船の絵（『鑑真和上東征絵伝』）	藤原道長の肖像画（『紫式部日記絵詞』）	
漢字	山城	地方の武士の絵（『粉河寺縁起絵巻』）	
ラテン語	水城	都の武士の絵（『平治物語絵巻』）	
シャカの石像	難波宮	中尊寺金色堂	
儒教	大津宮	平等院鳳凰堂	
仏教	藤原京	阿弥陀如来像	
イエスの肖像画	木簡	臼杵の石仏	
カーバ神殿	平城京	延暦寺	
モスク（世界遺産）	大宰府	天台宗	
キリスト教	富本銭	金剛峯寺	
イスラム教	和同開珎	真言宗	
孔子の肖像画	戸籍（正倉院宝物）	阿弥陀仏	
野尻湖から出土した石器、キバと角	広隆寺の弥勒菩薩像	浄土信仰	
岩宿遺跡	朝鮮の弥勒菩薩像	寝殿造	
矢じり	飛鳥寺	男性の貴族の服装の絵（『上畳三十六歌仙絵』）	
貝塚	法隆寺	貴族の女性の服装（『源氏物語絵巻』）	

中世			近世
鎌倉時代の武士の館の絵（『一遍上人絵伝』）	村をあげて行われる田植えの絵（『月次風俗図屏風』）	能楽の舞台の絵	京都のようすの絵（『紙本著色洛中洛外図屏風』）
平安時代の上皇の御所（『年中行事絵巻』）	米屋と馬借の絵（『上杉本洛中洛外図屏風』）	狂言	江戸のようす（『江戸図屏風』）
ベネチア	今堀日吉神社文書	お伽草子	マゼランの肖像画
東方見聞録	正長の土一揆の碑文	直垂姿	コロンブスの肖像画
マチュピチュ	足軽の絵（『月次風俗図屏風』）	小袖	バスコ＝ダ＝ガマの肖像画
僧兵の絵（『天狗草紙』）	一向一揆の旗	かざられる生け花と掛軸の絵	世界一周したビクトリア号の絵
平清盛の木像	城下町	祇園祭（『上杉本洛中洛外図屏風』）	奴隷船の内部の絵
平家物語	今川仮名目録	雪舟の水墨画	西インド諸島に到達したコロンブスの一行の絵
厳島神社	朝倉孝景条々	水墨画	サン＝ピエトロ大聖堂
枠田荘の図	伝寿桂尼画像	書院造	免罪符販売の風刺画
源頼朝と伝えられる肖像画	「歸」の印判の記念碑	鷺舞	イスラム教徒の天文学の絵
北条政子の像	中世の京の町のようす（『洛中洛外図屏風』）	連歌	医学
市のにぎわいの絵（『一遍上人絵伝』）	とうふ売りの絵（『七十一番職人歌合絵巻』）	草戸千軒町遺跡	哲学
武具の手入れの絵（『男衾三郎絵詞』）	帯売りの絵（『七十一番職人歌合絵巻』）		紙の製法
武芸の訓練の絵（『男衾三郎絵詞』）	一遍上人絵伝		羅針盤
二毛作	東北院職人歌合		アラビアン＝ナイト
阿氐河荘の農民の訴え状	七十一番職人歌合		ダビデ像
宋銭	教えを説く法然の絵（『法然上人絵伝』）		モナ＝リザ
高利貸しの絵（『山王霊験記絵巻』）	浄土宗		銀の採掘に働かされるインディオの絵
文永の役で元軍と戦う武士の絵（『蒙古襲来絵詞』）	浄土真宗		日本に来た南蛮人のようすの絵（『南蛮屏風』）
フビライ＝ハンの肖像画	日蓮宗（法華宗）		鉄砲
てつはう（元軍の武器）	禅宗		フランシスコ＝ザビエルの肖像画
石築地	軍記物		天正少年使節の絵
恩賞を求める武士の絵（『蒙古襲来絵詞』）	平家物語		織田信長肖像画
後醍醐天皇の肖像画	新古今和歌集		安土城
足利尊氏の像	方丈記		長篠の戦いの絵（『長篠合戦図屏風』）
室町殿の絵（『上杉本洛中洛外図屏風』）	徒然草		堺の鉄砲鍛冶の絵（『和泉名所図絵』）
足利義満の肖像画	鎌倉文化		大阪城の絵（『大坂夏の陣図屏風』）
倭寇の絵（『倭寇図巻』）	似絵		豊臣秀吉肖像画
経典	東大寺南大門		本能寺
遣明船の絵（『真如堂縁起絵巻』）	金剛力士像		検地のようすの絵
首里城	琵琶法師の絵（『慕帰絵詞』）		キリスト教
首里城の絵図	重源の像		小早川家文書
ハングル	金閣		南蛮文化
志苔館あと	室町文化		活版印刷術
木びき職人の絵（『三十二番職人歌合絵巻』）	寝殿造		扇面地面（『扇面三国図』）
機織り職人の絵（『七十一番職人歌合絵巻』）	禅宗様		安土桃山時代の服装の絵（『歌舞伎図巻』）
紙すき職人の絵（『七十一番職人歌合絵巻』）	銀閣		蔚山城の戦いの絵（『蔚山籠城図』）
龍安寺の石庭	東求道の書院		亀甲船
定期市	能面		耳塚

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　日　文】（中学校　社会　歴史的分野）

近世			近代
唐獅子図屏風	佐渡の金銀山	元禄文化	江戸城に入る天皇の絵
千利休の肖像画	石見・生野の銀山	浮世草子	富岡製糸場の絵
桃山文化	足尾・別子の銅山	人形浄瑠璃	アメリカ大陸横断鉄道
書院造	銀鉱山の採掘の絵（『但州生野銀山絵巻』）	歌舞伎	スエズ運河の開通
障壁画	銅の輸出のようすの絵（『唐蘭館絵巻』）	俳諧	太平天国の乱の絵
茶の湯	棹銅	装飾画	権利の章典
歌舞伎	捕鯨のようすの絵（『捕鯨図屏風』）	化政文化	イギリスの国をあらわす印鑑
三線	赤穂の塩田（『西国名所』）	東海道中膝栗毛	クロムウェル＊
三味線	西陣織	南総里見八犬伝	人権宣言
浄瑠璃	清水焼	元旦	ベルサイユ宮殿の絵
阿国歌舞伎の絵（『国女歌舞伎絵詞』）	大阪の蔵屋敷の絵（『摂津名所図絵』）	節分	バスチーユ牢獄の襲撃の絵
西本願寺書院	久留米絣	年中行事	ナポレオン＊
妙喜庵待庵	和紙に刷ったレンブラントの版画	ひな祭りの絵（『子宝五節句遊』）	発展するイギリスの工場と鉄道の絵
三味線をひく人々の絵（『彦根屏風』）	半田の酢づくりの絵（『粉酢製法の絵図』）	おかげ参りの絵	ロケット号
有田焼	伊丹の酒づくりの絵（『日本山海名産図会』）	近松門左衛門の肖像画	蒸気機関
池田輝政の肖像画	堂島の米市場の絵（『浪花名所図会』）	瓦版	機械化されたイギリスの紡績工場の絵
姫路城天守閣	飛脚の絵	松尾芭蕉の肖像画	オーウェンの工場の絵
徳川家康の肖像画	五街道	燕子花図屏風	炭鉱で働かされる子どもたちの絵
朱印船の絵（『異国渡海船之図』）	菱垣廻船	見返り美人図	独立宣言
朱印状	樽廻船	歌川広重の風景画	アメリカの独立を進めた人たちの絵
島原・天草の一揆の絵（『島原陣図屏風』）	蔵屋敷	葛飾北斎の風景画（『富嶽三十六景』）	ワシントン＊
出島（『寛文長崎図屏風』）	京都の里山（『華洛一覧図』	聖堂学問所の講義のようすの絵（『聖堂講釈図』）	移住させられる先住民族の絵
絵踏の絵	古着売りの絵（『熙代勝覧』）	シーボルトの肖像画	リンカーンの演説の絵
踏絵	刃物直しの絵（『熙代勝覧』）	鳴滝塾の絵	インドで起こった大反乱の絵
宗門改帳	雪駄直しの絵（『熙代勝覧』）	杉田玄白の肖像画	インドのアヘン倉庫の絵
風説書（オランダと中国）	反故紙買いの絵（『熙代勝覧』）	寺子屋のようすの絵（『一掃百態』）	アヘン戦争の絵
江戸の町を進む朝鮮通信使の行列の絵（『朝鮮人来朝図』）	慶長小判	解体新書のとびら絵	間宮林蔵＊
江戸に向かう琉球使節の一行（『江戸上り行列図』）	元禄小判	伊能忠敬の日本地図	薩摩の砂糖しぼりのようすの絵（『日本山海名物図会』）
唐子踊	天保小判	伊能忠敬の肖像画	大塩平八郎＊
松前のようすの絵（『松前檜山屏風』）	万延小判	青木昆陽の肖像画	水野忠邦＊
シャクシャインの像	徳川吉宗の肖像画	儒学	黒船の絵（『武州潮田遠景』）
オムシャの絵（『日高アイヌ・オムシャ之図』）	長崎の貿易の絵（『唐蘭館絵巻』）	朱子学	黒船来航の報告に早馬を飛ばす武士の絵
百姓の作業を確認する武士（『七難七福図巻』）	田沼意次の肖像画	藩校	のんびりと見物する民衆の絵
身分のちがいの絵（『老農夜話』）	松平定信の肖像画	寺子屋	ペリー＊
女大学	問屋制家内工業の絵（『河内名所図会』）	和算	
江戸のようすの絵（『熙代勝覧』）	工場制手工業の絵（『尾張名所図会』）	農業全書	
三井越後屋の絵	商品作物のあい（『藍作及製藍図会』）	古事記	
さまざまな農具の絵（『老農夜話』）	一揆の参加者が署名した傘連判	古事記伝	
備中ぐわ	天明のききんの絵（『凶荒図録』）	国学	蘭学
万石（千石）通し	武左衛門の碑	本居宣長＊	エレキテル

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　日　文】（中学校　社会　歴史的分野）

近代			現代
井伊直弼＊	西郷隆盛＊	特殊な磁力鍋の発明	あたらしい憲法のはなしのさし絵
ええじゃないかの絵	商売する士族の絵	小説神髄	日本国憲法
徳川慶喜＊	青木家屋敷	浮雲	すみぬりの教科書
五稜郭	自由民権資料館	舞姫	中学校家庭科の教科書
綿のつみ取りの絵（『職耕図屏風』）	国会期成同盟発祥之地の記念碑	たけくらべ	ベルリンの壁
高杉晋作＊	自由民権運動の演説会の様子の絵	若菜集	東京オリンピック東京大会
坂本龍馬＊	五日市憲法草案の碑	夏目漱石＊	東海道新幹線
五箇条の御誓文宣布の様子の絵	板垣退助＊	吾輩ハ猫デアル	高速道路
天地のはかりの絵	椋神社	一握の砂	アイヌ文化博物館
地券	大隈重信＊	正岡子規＊	首里城
富岡製糸場の絵	伊藤博文＊	病床六尺	
徴兵検査の絵	大日本帝国憲法	津田梅子＊	
明治時代の１０円金貨	帝国議会のようすの図	産業技術記念館	
岩倉使節団の出発の絵	衆議院議員選挙の風刺画	豊田佐吉＊	
ビスケット工場の絵	ノルマントン号事件の絵	ワイマール憲法	
法隆寺夢殿の救世観音像	鹿鳴館の舞踏会のようす	柳宗悦＊	
岡倉天心＊	日本・清・朝鮮・ロシアの関係の風刺画	朝鮮の白磁	
フェノロサ＊	下関で講和会議にのぞむ日清両国の代表の絵	水力発電所	
旧開智学校	与謝野晶子＊	米騒動のようすの絵	
福沢諭吉＊	君死にたまふことなかれ	第１回選挙のポスター	
中江兆民＊	明星	吉野作造＊	
学問のすすめ	南満州鉄道株式会社	デパート創業の挨拶状	
文明開化	創作	宝塚少女歌劇団	
明治時代の小学校の絵	朝鮮総督府	小林多喜二＊	
明治時代の教科書の絵	孫文＊	蟹工船	
牛鍋を食べる男性の絵	八幡製鉄所	大正時代に刊行された雑誌	
１８７４年ごろの東京銀座のれんが街の絵	田中正造＊	円本	
鉄道の絵	足尾銅山のようすの絵	機織りや糸つむぎをする女性（『織耕図屏風』）	
電信線の絵	平塚らいてう＊	商家で働く女性（『洛中洛外図巻』）	
郵便局の絵	青踏社	女大学	
ポスト（書状集箱）	荒城の月	西光万吉＊	
虎列刺予防法図解	北里柴三郎＊	与謝野晶子の詩「そぞろごと」	
神田上水	破傷風の血清療法発見	ゲルニカ	
長与専斎＊	赤痢の発見	蒋介石＊	
屯田兵による北海道の開拓の絵	黄熱病の研究	衣料切符の早見表	
アイヌの伝統的な衣服	緯度（変化）の研究	アンネフランク＊	
琉球の伝統的な衣服	アドレナリンの抽出	アウシュヴィッツ強制収容所	
札幌農学校	ビタミンＢ１の抽出	原爆ドーム	
尚泰＊	地震計の発明	移住をすすめるポスター	イスラエルの切手になった杉原千畝
西南戦争の絵（『田原坂激戦の図』）	原子構造の研究	手塚治虫＊	紙の砦

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　自由社】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで			
縄文時代の復元住居	銅剣	経典	正倉院
渋谷城跡	銅矛	飛鳥寺	万葉集
打製石器	銅鏡	飛鳥寺釈如来像	螺鈿紫檀琵琶
岩宿遺跡	銅鐸	善光寺縁起絵伝（仏像）	紺瑠璃拝坏
縄文土器	たたら製鉄の技術	帰化人が伝えた技術	桓武天皇の肖像画
平底深鉢土器	石包丁とその使い方	聖徳太子二王子立像の絵	平安京
火炎土器	弥生土器	煬帝の肖像画	近江大津宮
三内丸山遺跡	環濠集落	小野妹子の肖像画	長岡京
縄文文化	吉野ヶ里遺跡	日本書紀の写本	飛鳥宮
縄文時代のビーナスとよばれる土偶	「漢委奴国王」の金印	飛鳥文化	紫式部日記絵詞
土偶	三国志	法隆寺	志波城
菜畑遺跡	魏志倭人伝	石舞台古墳	胆沢城
水田稲作	「親魏倭王」の金印	科挙	比叡山延暦寺
メソポタミア文明のくさび形文字	古墳	蘇我氏の滅亡の絵（多武峯縁起絵巻）	天台宗
磨製石器	円墳	水城の跡	最澄像
農耕	方墳	藤原京	高野山金剛峰寺
青銅器	前方後方墳	平城京	真言宗
鉄器	埴輪（手を上げる巫女）	和銅開珎	空海像
エジプト文明のピラミッド	埴輪（挂甲の武人）	富本銭	国風文化
インダス文明の都市のあと	箸墓古墳	長安の城壁跡	寝殿造
牧畜	前方後円墳	駅	十二単
漢字	副葬品	大宰府	大和絵
鉄製の兵器や農具	大仙古墳	多賀城	かな文字
儒教	古事記	秋田城	枕草子
文字	日本書紀	風土記	源氏物語
万里の長城	伊勢神宮の内宮正宮	駅鈴	古今和歌集
シルクロード	岩屋にこもった天照大神をよび出そうとする神々の絵	国分寺	竹取物語
サンフランチェスコの大聖堂の壁画	国生み神話	国分尼寺	往生要集
アミニズム	国ゆずり神話	東大寺	浄土教
多神教	天孫降臨神話	大仏　盧舎那仏座像	平等院鳳凰堂
ユダヤ教	日本サッカー協会のシンボルマーク（３本足の伝説上のカラス）	大仏開眼供養のようす　寺崎廣業筆	中尊寺金色堂
聖書	太陽暦	法隆寺の五重の塔	地獄草子の地獄図
キリスト教団	出雲大社から出土した銅鐸	釈迦三尊像	東方見聞録
仏教	高句麗の広開土王（好太王）の碑	百済観音像	富貴寺阿弥陀堂
イスラム教	倭王武（雄略天皇）の上表文	天平文化	釈迦如来
コーラン	鉄ののべ板	鑑真の像	薬師如来
ヒンズー教	稲荷山古墳鉄剣	唐招提寺	大日如来
石包丁	仏教伝来の絵（「善光寺縁起絵伝」）	興福寺の阿修羅像	阿弥陀如来
高床式倉庫	上座部仏教	東大寺の日光・月光菩薩像	弥勒如来
弥生文化	大乗仏教	四天王像	弥勒菩薩

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　自由社】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで	中世		
文殊菩薩	石塁	浄土真宗	秋冬山水図　雪舟画
普賢菩薩	愚管抄	日蓮宗	
地蔵菩薩	厳島神社	禅宗	
観音菩薩	平清盛像	臨済宗	
弥勒菩薩半跏思惟像	壇ノ浦の戦いの絵	曹洞宗	
十一面観音像	源頼朝と伝えられている肖像画	時宗（遊行宗）	
不動明王	後鳥羽上皇の肖像画	日蓮の像	
愛染明王	弓や騎馬の技	親鸞の肖像画	
孔雀明王	一遍上人絵伝	道元の肖像画	
五大明王	フビライ・ハンの肖像画	重源上人の座像（東大寺）	
不動明王座像	蒙古襲来絵詞	金剛力士像	
阿修羅像	後醍醐天皇の肖像画	平家物語	
梵天	二条河原の落書	新古今和歌集	
帝釈天	足利尊氏の像	方丈記	
毘沙門天	花の御所洛中洛外図屏風	徒然草	
四天王	足利義満の肖像画	無着・世親像（興福寺）	
十二神将	日本国王之印（木印）	東大寺の南大門	
金剛力士	遣明船をモデルに描いた船（真如堂縁起絵巻）	平家物語絵巻	
弁財天	勘合	似絵	
吉祥天	ハングル	琵琶法師（慕帰絵）	
戦う武士の姿（後三年合戦絵巻　飛騨守惟久筆）	応仁の乱（真如堂縁起絵巻）	室町文化	
	応仁記	金閣	
	武装する民衆（一遍上人絵伝）	銀閣	
	田植え風景（月次風俗図屏風）	禅宗寺院	
	鍛冶職人（職人尽絵）	猿楽	
	馬借（石山寺縁起絵巻）	田楽	
	二毛作	能	
	牛馬耕	狂言	
	水車	書院造　東求堂同仁斎	
	肥料	茶の湯	
	京都の西陣織	枯山水	
	博多の絹織物	水墨画	
	美濃の和紙	能面・小面	
	灘の酒	石庭	
	能登の輪島塗	足利学校	
	定期市	御伽草子	
	輪島塗の主漆塗り瓶	浦島太郎	
	今堀日吉神社文書	一寸法師	
	鎌倉文化	村祭り	
	浄土宗	盆踊り	

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　自由社】（中学校　社会　歴史的分野）

近世			
甲州法度次第	人形浄瑠璃	浮世絵	松平定信の肖像画
朝倉孝景条々	阿国歌舞伎	見返り美人図　菱川師宣筆	化政文化
武田信玄の像	小袖	朱子学	芝居小屋の絵
城下町	天文学	陽明学	川柳
ローマ教皇へイエズス会設立の請願の絵	医学	大日本史	狂歌
コロンブスの西インド諸島到達の絵	航海術	農業全書	東海道中膝栗毛
キリスト教	活版印刷	和算	浮世風呂
イスラム教	南蛮屏風絵	赤穂浪士の討ち入りの絵	南総里見八犬伝
鉄砲	洛中洛外図屏風	二宮尊徳の像	江戸時代の本屋の店先
堺の鉄砲鍛冶　和泉名所図会（江戸時代の作）	千利休の肖像画	備中ぐわ	瓦版
国産化された当時の鉄砲	南蛮文化	千歯こき	落語
フランシスコ・ザビエルの肖像画	徳川家康の肖像画	佐渡の金山	相撲
南蛮屏風　狩野内善筆	江戸図屏風	生野の銀山	寺社参詣
天正遣欧少年使節	朱印状	足尾、別子の銅山	錦絵
教会（南蛮寺）	朱印船の絵	五街道	富嶽三十六景
比叡山延暦寺	島原陣図屏風	蔵屋敷	東海道五十三次
浄土真宗	踏絵	菱垣廻船	名所江戸百景
安土城	宗門改帳	樽廻船	文人画
長篠合戦図屏風	出島	西陣織	富嶽三十六景・神奈川沖浪裏　葛飾北斎筆
織田信長の肖像画	伊万里焼	寺子屋のようす　一掃百態　渡辺崋山筆	東海道五十三次・庄野　歌川広重筆
天下布武の印判	寛文長崎図屏風	寺子屋	おかげ参り（「文政度御陰群参絵巻」）
関所	唐蘭館絵巻より「宴会図」	藩校	大塩平八郎の肖像画
本能寺	オランダ風説書	私塾	水野忠邦の肖像画
高松城	朝鮮通信使　朝鮮通信使来朝図	水戸の弘道館	大塩の乱で燃える大阪の町の絵（「出潮引汐奸賊聞集記」）
大阪城	唐蘭館絵巻より「商品軽量図」	主な藩校（一覧表）	印旛沼の干拓（「印旛沼保定記）
大阪夏の陣図屏風	琉球交易図	代表的な私塾（一覧表）	海国兵団
豊臣秀吉の肖像画	蝦夷錦	石門心学	亀戸梅屋敷　歌川広重画
検地図会（江戸時代の作）	農耕春秋図屏風	古事記	ゴッホの肖像画
フェリペ２世	職人としてはたらく町人の絵（近世職人絵尽）	国学	
日本史	元禄文化	蘭学	
桃山文化	日本永代蔵	解体新書	
伏見城（桃山城）	新井白石の肖像画	本居宣長の肖像画	
天守閣	徳川綱吉の肖像画	「解体新書」の扉	
障壁画	湯島聖堂での講義の絵	伊能忠敬の肖像画	
茶室・待庵	近松門左衛門の肖像画	天文学	
茶の湯	松尾芭蕉の肖像画	大日本沿海輿地図（伊能図）	
唐獅子図屏風　狩野永徳筆	燕子花図屏風（右隻）　尾形光琳筆	町火消しの絵	
三線	心中天網島	徳川吉宗の肖像画	
三味線	俳諧	田沼意次の肖像画	
浄瑠璃	屏風絵	青木昆陽の肖像画	

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　自由社】（中学校　社会　歴史的分野）

近代			現代
久松五勇士記念碑	琉球国王を「琉球藩王」に任命する文書をもって那覇港に入った使節団一行の絵	袁世凱＊	日本国憲法
イギリスの名誉革命の絵	岩倉使節団の出発風景の絵　山口蓮春筆	孫文＊	スミぬり教科書
アメリカ独立宣言の絵	西郷隆盛の肖像画	八幡製鉄所	笑いと忘却の書（ミラン・クンデラ）
独立宣言	征韓論をめぐる閣議の紛糾の絵	田中正造＊	東海道新幹線の開業
バスチーユ牢獄を襲う市民	西南戦争　鹿児島新報　田原坂激戦の図	渋沢栄一＊	大阪万国博覧会
人権宣言	富岡製糸場	破傷風の血清療法を発見	東京オリンピックの開催
イギリスの産業革命の絵	屯田兵による北海道開拓の絵	タカジアスターゼ	金閣寺、鹿鳴館（三島由紀夫）
ランカシャーの織物工場の絵	新橋停車場の絵	赤痢菌の発見	太陽の季節（石原慎太郎）
蒸気機関	市中にあふれる文明開化　東京繁栄車往来之図	地震計の発明	伊豆の踊り子、雪国、古都（川端康成）
セポイの反乱の絵	学問のすすめ	緯度変化の研究	点と線、砂の器、ゼロの焦点（松本清張）
アヘン戦争の図	食の文明開化（仮名垣魯文「安愚楽鍋」）	原子模型の研究	鉄腕アトム（手塚治虫）
インドのアヘン工場の図	ヤングジャパン	ビタミンＢ１の発見	坂の上の雲、竜馬がゆく、葉の花の沖（司馬遼太郎）
ペリー神奈川上陸図	絵で見る幕末日本史	黄熱病の病原体の研究	ベルリンの壁
阿部正弘の肖像画	イザベラ・バード＊	北里柴三郎＊	八田與一の像
ハリスの肖像画	イザベラ・バードの日本紀行・上	野口英世＊	
桜田門外の変の絵	日本その日その日	たけくらべ	
井伊直弼の肖像画	長崎海軍伝習所の日々	樋口一葉＊	
徳川斉昭の肖像画	鹿鳴館での舞踏会のようすの絵	舞姫	
吉田松陰の肖像画	陸奥宗光＊	森鴎外＊	
高杉晋作＊	自由党史	こころ	
長州征伐の図	板垣退助＊	夏目漱石＊	
木戸孝允＊	オッペケペ節の絵	高瀬舟	
大久保利通＊	自由民権派の演説会につめかけた聴衆の絵	悲母観音の絵　狩野芳崖筆	
坂本龍馬＊	大隈重信＊	荒城の月	無声映画
徳川慶喜＊	伊藤博文＊	花	文化住宅
大政奉還の絵　邨田丹陵筆	日本国憲法見込案	君が代	三越開店のポスター
江戸城無血開城の絵	大日本帝国憲法の発布の絵	レーニン＊	地下鉄開通のポスター
会津城炎上に落胆し自刃する白虎隊士の絵	大日本帝国憲法	第一次世界大戦の新兵器の絵	スターリン＊
錦の御旗	憲法発布式桜田之景の絵	国際連盟	ヒトラー＊
五箇条の御誓文の発布の絵	帝国議会の絵	ガンジー＊	ポーランドのアウシュビッツにもうけられたナチスの強制収容所（写真）
天皇の江戸入場の絵	教育勅語	中国五・四運動の絵	蒋介石＊
五箇条の御誓文	福沢諭吉＊	吉野作造＊	ジョン・マクリー＊
明治天皇＊	時事新報	原敬＊	幣原喜重郎＊
廃藩置県の布告の絵	金玉均＊	東京の本所地区の大火災　本所石原方面大旋風之真景	平和はいかに失われたか（原書房）
小学校の登校風景の絵	下関講和会議　永地秀太筆	文芸誌「白樺」	溥儀＊
地券	義和団事件（「義和団民大戦天津紫竹林得勝図」）	雑誌「キング」「赤い鳥」	樋口季一郎＊
小林虎三郎＊	シベリア鉄道	蜘蛛の糸	杉原千畝＊
国漢学校	小村寿太郎＊	民俗学	フランクリン・ルーズベルト＊
国漢学校の図	日本海海戦　戦艦「三笠」艦橋の図	円本	御前会議の絵
自死の日本史	ハングル文字の教科書（朝鮮総督府1924年発行『普通学校修身書』）	小説「宮本武蔵」	戦艦「大和」

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　育鵬社】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで			
縄文時代の丸木舟（浦入り遺跡出土）	弥生文化	コーラン	唐招提寺
縄文土器	吉野ヶ里遺跡	ヒンドゥー教	正倉院
	らくだの形の印	ブッダガヤのマハーボーディ寺院	校倉造
土偶	蛇の形の印	サンピエトロ大聖堂	興福寺の阿修羅像
大型竪穴住居	「漢委奴国王」の金印	メッカのカーバ神殿	東大寺戒壇院
大型掘立柱建物	魏志倭人伝	浦上天主堂	四天王像
竪穴住居	登呂遺跡	神道	紺瑠璃坏
高床式建物	岩宿遺跡	隋書	五弦の琵琶
打製石器	高松塚古墳	万葉集	天岩屋戸の絵
遣唐使船の絵	太安万侶墓	大宰府	出雲大社
三内丸山遺跡	法隆寺五重塔の心柱	大津宮	日本サッカー協会のシンボルマーク（３本足の伝説上のカラス）
蜆塚遺跡	箸墓古墳	藤原京	大仏開眼供養のようすの絵
貝塚	日本書紀	山城	東大寺大仏殿
土器	前方後円墳	水城	長岡京
縄文文化	大仙古墳	飛鳥文化	平安京
ピラミッド	稲荷山古墳	飛鳥寺	貴族の生活の絵（「駒競行幸絵巻」）
メソポタミアの神殿	五色塚古墳	法隆寺	小右記
モヘンジョダロ	古墳	法隆寺金堂	寝殿造
メソポタミア文明のくさび形文字	円墳	釈迦三尊像	国風文化
エジプト文明の文字（ヒエログリフ）	方墳	百済観音像	延暦寺
インダス文明の文字	古墳文化	玉虫厨子	天台宗
磨製石器	三角縁神獣鏡	弥勒菩薩像（広隆寺）	金剛峰寺
神殿	埴輪	弥勒菩薩像（中宮寺）	真言宗
青銅器	古事記	白鳳文化	大和絵
鉄器	稲荷山古墳から出土した鉄剣	伊勢神宮	かな文字
金属器	高句麗の広開土王（好太王）の碑	薬師寺金堂	枕草子
文字	宋書倭国伝	薬師寺東塔	源氏物語
甲骨文字	のぼりがま	薬師三尊像	古今和歌集　序
万里の長城	須恵器	興福寺仏頭	竹取物語
兵馬俑	漢字	法隆寺金堂壁画	古今和歌集
儒教	仏教	古今和歌集	土佐日記
論語	経典	平城京	浄土教
稲作	鉄製農具	富本銭	平等院鳳凰堂
石包丁	機織り	和同開珎	阿弥陀如来像
高床式倉庫	仏像	天平文化	中尊寺金色堂
銅矛	ガンダーラの仏像	風土記	空也上人像
銅剣	ユダヤ教	鑑真和上像	最澄の肖像画
銅鐸	キリスト教	東大寺	空海の肖像画
銅鏡	聖書	大仏	如来
弥生土器	イスラム教	東大寺法華堂	菩薩

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　育鵬社】（中学校　社会　歴史的分野）

古代まで	中世		
明王	遣明船（「真如堂縁起絵巻」）	後醍醐天皇の肖像画	備陽六郡志
天部	武士たちの絵（「平治物語絵巻」）	足利尊氏の像	草戸千軒町遺跡
新薬師寺	平治の乱の絵（「平治物語絵巻」）	楠木正成の肖像画	木簡
東大寺法華堂金剛力士像	平清盛像	建武年間記	金剛力士像　阿形
興福寺	壇ノ浦の戦いの絵（「安徳天皇縁起絵図」）	花の御所の絵（「洛中洛外図屏風」）	無着像
興福寺五重塔	切通し	足利義満の肖像画	平治物語絵巻
興福寺東金堂	笠懸を行う武士の絵（「男衾三郎絵詞」）	倭寇の絵（「倭寇図巻」）	山水長巻
興福寺十大弟子像　須菩提	市のようす（「一遍上人絵伝」）	首里城	能面　翁と孫次郎
興福寺金剛力士像	後鳥羽上皇の肖像画	応仁の乱（真如堂縁起絵巻）	厳島神社
興福寺北円堂	宋銭	一向一揆の旗	
無著像	二毛作	甲州法度之次第（信玄家法）	
世親像	牛馬を使った耕作	朝倉孝景条々	
法隆寺五重塔　塑像群	定期市	田植え（「月次風俗図屏風」）	
大宝蔵殿	東大寺南大門	機織り（職人尽絵）	
夢殿	浄土宗	鍛冶職人（職人尽絵）	
東寺（教王護国寺）	浄土真宗	馬借（運送業者）の絵（「石山寺縁起絵巻」）	
東寺五重塔	時宗	惣の掟の例（今堀日吉神社文書）	
東寺講堂	日蓮宗	信玄堤	
東寺金堂	禅宗	北山文化	
薬師三尊像	臨済宗	金閣	
不動明王像	曹洞宗	銀閣	
清水寺	親鸞の肖像画	猿楽	
清水寺本堂	道元の肖像画	田楽	
三十三間堂	永平寺	能	
本堂	踊念仏の絵（「一遍上人絵伝」）	狂言	
千体千手観音像	琵琶法師（慕帰絵詞）	書院造	
二十八部衆像	平家物語	茶の湯	
施薬院	新古今和歌集	生け花	
悲田院	方丈記	枯山水	
「縄文のビーナス」を呼ばれる土偶	徒然草	水墨画	
琴をひく埴輪	無着・世親像（興福寺）	東山文化	
法隆寺五重塔	似絵	秋冬山水図　冬景　雪舟作	
四天王像広目天	伝源頼朝像	大徳寺大仙院庭園	
源氏物語絵巻	伝平重盛像	東求堂同仁斎	
雲中供養菩薩像	大燈国師像	慈照寺	
武士の館の絵（一遍上人絵伝）	夢想国師像	御伽草子	
	フビライ・ハンの肖像画	浦島太郎	
	元軍と戦う武士（「蒙古襲来絵詞」）	一寸法師	
	石塁	足利学校	
	悪党の絵（「聖徳太子伝」）	連歌	

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　育鵬社】（中学校　社会　歴史的分野）

近世			
ルネサンス	航海術	歌舞伎	往来物
コロンブスの肖像画	活版印刷術	俳諧	大阪堂島の米市場の絵
マゼランの肖像画	かぶき踊り（「国女歌舞伎絵詞」）	浮世絵	江戸時代のお金
バスコダガマの肖像画	歌舞伎	朱子学	越後屋の店内
南蛮貿易（「南蛮屏風」）	三味線	陽明学	徳川吉宗の肖像画
鉄砲	浄瑠璃	古学	上杉鷹山の肖像画
堺の鉄砲鍛冶の絵（「和泉名所図会」）	小袖	大日本史	田沼意次の肖像画
フランシスコ・ザビエルの肖像画	茶室待庵	読史余論	松平定信の肖像画
中浦ジュリアンの版画	松本城	農業全書	印旛沼干拓のようすの絵
伊東マンショの版画	徳川家康の肖像画	見返り美人図　菱川師宣作	浅間山の噴火の絵
原マルティノの版画	江戸城（「江戸図屏風」）	水戸光圀の肖像画	傘連判状
千々岩ミゲルの版画	朱印状	菱垣廻船（「菱垣新綿番船川口出帆之図」）	昌平坂学問所
フォペルの地球儀	朱印船の絵	農具の発達（「老農夜話」）	長崎に上陸するロシア使節の絵（「ロシア使節レザノフ来航絵巻」）
長篠の戦い（「長篠合戦図屏風」）	島原・天草一揆の絵（「島原陣図屏風」）	西陣織	高野長英の肖像画
織田信長の肖像画	踏絵	玉川上水	間宮林蔵の肖像画
比叡山延暦寺	宗門改帳	瀬戸内海の塩づくり	渡辺崋山の肖像画
安土城	日本誌（ケンペル）	佐渡の金山	大塩平八郎の肖像画
豊臣秀吉の肖像画	鎖国論（志筑忠雄）	生野の銀山	大塩の乱で燃える大阪の町の絵（「出潮引汐奸賊聞集記」）
本能寺	長崎出島（「寛文長崎図屏風」）	足尾の銅山	水野忠邦の肖像画
大阪城	長崎出島とオランダ人の交易（「唐蘭館絵巻」）	年中行事	調所広郷の肖像画
天正大判	蝦夷錦	元日	富嶽三十六景・神奈川沖浪裏　葛飾北斎作
検地のようす（「検地図会」）	オランダ風説書	七草	東海道五十三次・庄野　歌川広重作
検地帳	琉球の那覇港の絵	節分	蔦屋の店先の絵
検地尺	朝鮮通信使　（「朝鮮通信使来朝図」）	上巳の節句	化政文化
刀狩令（「小早川家文書」）	年貢米の蔵入れ（「農業図絵」）	彼岸	狂歌
バテレン追放令（「松浦家文書」）	稲かりのあとの休み（「農業図絵」）	端午の節句	川柳
桃山文化	大工職人たち（「川越三芳野天神縁起絵巻」）	七夕	東海道中膝栗毛
姫路城	新井白石の肖像画	盆	浮世風呂
唐獅子図屏風　狩野永徳作	徳川綱吉の肖像画	すす払い	南総里見八犬伝
西本願寺唐門	湯島聖堂の学問所	樽廻船	俳諧
障壁画	儒学	東海道五十三次・戸塚　歌川広重作	人形浄瑠璃
透かし彫り	井原西鶴の肖像画	伊勢参り	落語
茶の湯	近松門左衛門の肖像画	奥の細道	歌舞伎の劇場の絵
洛中洛外図屏風	風神雷神図屏風	馬で糞尿を集めにきた農民の絵（「江戸名所図会」）	座敷八景　琴路の落雁　鈴木春信作
彦根屏風	日光東照宮	藩校	奴江戸兵衛の演じる大谷鬼次　東洲斎写楽　作
南蛮屏風	桂離宮	蘭学	錦絵
南蛮文化	紅白梅図屏風　尾形光琳作	弘道館	東海道五十三次
地理学	元禄文化	日新館	文人画
医学	浮世草子	明倫館	歌川広重　「名所江戸百景」のうち「亀戸梅屋敷」
天文学	人形浄瑠璃	寺子屋のようす　一掃百態　渡辺崋山筆	ゴッホ　「花咲く梅の木」

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　育鵬社】（中学校　社会　歴史的分野）

近世	近代		
葛飾北斎「北斎漫画」	黒船「サスケハナ」の絵	東京開成学校の開校	鹿鳴館の舞踏会の絵
ドガの裸婦像	権利の章典	地租改正のための測量の絵	条約改正会議の絵
鈴木春信「蓮池舟遊美人」	独立宣言	地券	ノルマントン号事件の風刺絵（ビゴー画）
モネ「舟遊び」	合衆国憲法	屯田兵による北海道開拓の絵	陸奥宗光＊
葛飾北斎「富嶽百景」のうち「快晴の富士」	人権宣言	征韓論をめぐる対立の絵	金玉均＊
セザンヌ「サント・ヴィクトワール山」	産業革命後のイギリスの絵	台湾出兵の図	下関講和会議の絵
伊能忠敬の大日本沿海輿地全図	アメリカの独立宣言の絵	岩倉使節団の出発風景の絵	日本海海戦の絵
伊能忠敬の肖像画	バスティーユ牢獄に攻め寄るパリの市民の絵	米欧回覧実記	小村寿太郎＊
本居宣長の肖像画	ワットの蒸気機関	江藤新平＊	乃木希典＊
心学	アヘン戦争の絵	西南戦争の絵	日比谷焼き打ち事件の絵
国学	オランダ風説書	中條景昭の像	高橋是清＊
古事記伝	インドの大反乱の絵	トロイア遺跡	金子堅太郎＊
蘭学	浦賀沖にあらわれた黒船の絵	大森貝塚	明石元二郎＊
解体新書	ペリー＊	ハインリッヒ・シュリーマン＊	八田與一＊
群書類従	阿部正弘＊	エドワード・Ｓ・モース＊	孫文＊
「解体新書」の挿絵と扉	ペリー神奈川上陸図	イザベラ・バード＊	日本銀行
ターヘル・アナトミア	ペリー「日本遠征記」	西郷隆盛＊	八幡製鉄所
蘭学事始	ハリス＊	大久保利通＊	岩崎弥太郎＊
エレキテル（摩擦起電器）	桜田門外の変の絵	文明開化の錦絵　東京繁栄車往来之図	生糸の輸出用のラベル
海国兵談	井伊直弼＊	官営工場	自動織機
日本外史	橋本左内＊	富岡製糸場の絵	田中正造＊
大日本史	和宮＊	新橋・横浜間の鉄道開通の絵	当時の足尾銅山の風景画
平賀源内の肖像画	薩英戦争の絵	福沢諭吉＊	豊田佐吉＊
弓曳童子	薩英戦争で使用された砲弾	前島密＊	若菜集
万年自鳴鐘	坂本竜馬＊	西洋事情	みだれ髪
象限儀	大政奉還の絵	西国立志編	武蔵野
半円方位盤	高杉晋作＊	学問のすすめ	蒲団
杖先方位盤	徳川慶喜＊	太陽暦の採用	一握の砂
二宮尊徳の肖像画	吉田松陰＊	ランプの使用	舞姫、高瀬舟
大原幽学の肖像画	松下村塾	レンガづくりの西洋建築	吾輩は猫である
高台院（北政所）の肖像画	五箇条の御誓文の発布の絵	ガス灯	病牀六尺
春日局の肖像画	五箇条の御誓文　法令全書	馬車	地震計
加賀千代の肖像画	江戸城	電灯	小説神髄
松林図	五稜郭	自由民権派の演説会におし寄せる聴衆の絵	浮雲
風塵雷神図屏風	靖国神社	板垣退助＊	野口英世＊
ポッピンを吹く女	榎本武揚＊	五日市憲法	坪内逍遥＊
不動明王像及二童子像	江戸城無血開城の絵	大隈重信＊	森鴎外＊
富極三十六景　凱風快晴	江戸城に入る天皇の行列の絵	大日本帝国憲法の発布の絵	夏目漱石＊
日光東照宮	明治天皇＊	憲法発布を祝う人々の絵	救世観音
	廃藩置県の布告の絵	大日本帝国憲法の発布の絵	悲母観音の絵　狩野芳崖
	金禄公債証書	大日本帝国憲法	舞妓　黒田清輝作
	四民平等を表した絵	帝国議会の絵	クラーク像
	小学校の授業風景の絵	教育勅語	ハインリッヒ・エドムント・ナウマン＊

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－２」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容 c　現在に伝わる文化遺産を取り上げている項目　　発行者　育鵬社】（中学校　社会　歴史的分野）

近代		現代
論語	柳宗悦＊	墨で消された教科書
たけくらべ、にごりえ、十三夜	横山大観＊	日本国憲法
伊藤博文＊	スターリン＊	マッカーサー回想録
渋沢栄一＊	蒋介石＊	第五福竜丸
天璋院（篤姫）＊	溥儀＊	ベルリンの壁
津田梅子＊	フランクリン・ルーズベルト＊	東京オリンピック開始
樋口一葉＊	ナチスの強制収容所	東海道新幹線
戦艦大和	アンネ・フランク＊	高速道路
パリ講和会議の絵	アンネの日記	日本万国博覧会
ウィルソン＊	樋口季一郎＊	太陽の塔
五・四運動の絵	杉原千畝＊	東京タワー
ネルー＊	Ｈ・Ａ・キッシンジャー＊	リンゴの歌
ガンジー＊	重光葵＊	青い山脈
アタテュルク＊	チャンドラー・ボーズ＊	伊豆の踊り子、雪国
吉野作造＊	東京大空襲の惨状の絵	羅生門、七人の侍
原敬＊	破壊された浦上天主堂	東京物語
全国水平社創立大会宣言	原爆ドーム	雨月物語
幣原喜重郎＊	下村海南「終戦記」	楢山節考
武士道	ひめゆりの塔	鉄腕アトム、火の鳥
新渡戸稲造＊	流れる星は生きている	弁財天の柵
文化住宅	終戦後日記	金閣寺、豊饒の海
文芸春秋	大佛次郎＊	
中央公論	藤原てい＊	
改造	徳富蘇峰＊	
雑誌「キング」	大阪松竹座	
善の研究	昭和初期の手回し式蓄音機	
ラジオ放送	のらくろ	
痴人の愛	レコード	
羅生門、鼻	活動写真（無声映画）	
黒船屋の絵	トーキー（有声映画）	
民芸の研究	ごんぎつね	
民俗学	クーデンホーフ光子＊	
白樺	平塚らいてう＊	
プロレタリア文学	青鞜	
赤い鳥	与謝野晶子＊	
赤とんぼ	明星	
月の砂漠	君死にたまふことなかれ	
無我、屈原		
「ゲルニカ」		
西田幾多郎＊		
柳田国男＊		
谷崎潤一郎＊		
芥川龍之介＊		

＊は、肖像画又は肖像写真を示す。

「別紙２－３」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目　発行者　東　書】（中学校　社会　歴史的分野）

	古代まで	中世	近世	近代		現代
アジア諸国との関係を示す事項	仏教 稲作 金属器 金印 邪馬台国の女王 中国・朝鮮半島との交流 倭の五王 渡来人 聖徳太子の政治 遣隋使 飛鳥文化 白村江の戦い 大宝律令 平城京 和同開珎 大宰府 遣唐使 天平文化 最澄と空海 遣唐使の停止 国風文化 福岡	宋との貿易 東大寺南大門 禅宗 元寇（文永の役・弘安の役） 倭寇 日明貿易（勘合貿易） 日朝貿易 琉球王国 宋銭 明銭 水墨画	朝鮮侵略（文禄の役・慶長の役） 桃山文化 朱印船貿易 日本町 唐船風説書 朝鮮通信使 琉球王国 アイヌ民族の交易 三味線	台湾出兵 日清修好条規 征韓論 江華島事件 日朝修好条規 日清戦争 下関条約 台湾総督府 義和団事件 韓国統監府 韓国併合 朝鮮総督府 南満州鉄道株式会社 二十一か条要求 五・四運動 三・一独立運動 関東軍 柳条湖 満州事変 満州国 盧溝橋事件 日中戦争	抗日民族統一戦線 南京事件 皇民化 創氏改名 大東亜共栄圏	日韓基本条約 日中共同声明 日中平和友好条約 拉致問題
その他の諸国との関係を示す事項	ヘレニズム	石見銀山	鉄砲 キリスト教 南蛮貿易 天正遣欧少年使節 バテレン追放令 南蛮文化 禁教令 出島 鎖国 オランダ風説書 享保の改革 外国船の接近 蘭学 錦絵 異国船打払令 雄藩	開国 日米和親条約 日米修好通商条約 薩英戦争 教育の普及 文明開化 岩倉使節団 殖産興業 官営模範工場 富岡製糸場 万国博覧会 ジャポニスム 樺太・千島交換条約 日露和親条約 大日本帝国憲法 条約改正 鹿鳴館 欧化政策 日英通商航海条約 エルトゥールル号遭難事件 ノルマントン号事件 三国干渉 日英同盟 日露戦争 日本海海戦 ポーツマス条約 日露協約 産業の発展 日本の美と欧米の美 第一次世界大戦 シベリア出兵	ベルサイユ条約 国際連盟 ワシントン会議 大衆の時代 大衆文化 都市の生活 世界恐慌 ブロック経済 ロンドン海軍軍縮会議 国際連盟脱退 日独防共協定 第二次世界大戦 日独伊三国同盟 日ソ中立条約 ＡＢＣＤ包囲陣 太平洋戦争 真珠湾攻撃 ミッドウェー海戦 本土空襲 沖縄戦 ヤルタ会談 東京大空襲 ポツダム宣言 原子爆弾	連合国軍最高司令官総司令部（ＧＨＱ） 北方領土 シベリア抑留 中国残留日本人孤児 極東国際軍事裁判（東京裁判） 日本国憲法 国際連合（国連） サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約（安保条約） 特需景気 新しい安保条約 第五福竜丸 原水爆禁止運動 日ソ共同宣言 沖縄の日本復帰 東京オリンピック 石油危機（オイルショック） 主要国首脳会議（サミット） アジア太平洋経済協力会議（APEC） 平和維持活動（ＰＫＯ） 非政府組織（ＮＧＯ） 世界金融危機 グローバル化 地球温暖化 地球温暖化防止京都会議 持続可能な社会 国連人間環境会議 国連環境開発会議（地球サミット）

「別紙２－３」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目　発行者　教　出】（中学校　社会　歴史的分野）

	古代まで	中世	近世	近代		現代
アジア諸国との関係を示す事項	儒教 仏教 朝鮮半島の国々 稲作 金属器 金印 邪馬台国 朝鮮半島・中国との交流 渡来人 新羅の朝鮮半島統一 唐の中国統一 聖徳太子の政治 遣隋使 飛鳥文化 白村江の戦い 大宝律令 平城京 大宰府 遣唐使 天平文化 平安京 最澄と空海 遣唐使の停止 国風文化	朱子学 モンゴル帝国 高麗 宋との貿易 宋銭の使用 禅宗 東大寺南大門 元寇（文永の役・弘安の役） 倭寇 印 勘合貿易 朝鮮 琉球王国 アイヌ民族 明銭 水墨画	朝鮮侵略 朱印船貿易 日本町 唐人屋敷 通信使 琉球王国 アイヌ民族	征韓論 江華島事件 日朝修好条規 日清修好条規 台湾出兵 日清戦争 下関条約 義和団事件 統監府 韓国併合 総督府 関東都督府 南満州鉄道株式会社 二十一か条要求 朝鮮総督府 三・一独立運動 五・四運動 柳条湖事件 満州事変 満州国 関東軍 盧溝橋事件 日中戦争 南京事件	抗日民族統一戦線 皇民化政策 創氏改名 大東亜共栄圏 中国残留日本人孤児	日韓基本条約 日中共同声明 日中平和友好条約 日朝平壌宣言 日本人拉致
その他の諸国との関係を示す事項			鉄砲の伝来 キリスト教の伝来 南蛮貿易 天正遣欧少年使節 銀で結びつく世界 宣教師が見た日本 宣教師の国外追放 南蛮文化 禁教令 鎖国 オランダと長崎 白石の政治 田沼の政治 ロシア人の蝦夷地への進出 蘭学	外国船打払令 外国船の接近 開国 日米和親条約 日米修好通商条約 生麦事件 万国博覧会 薩英戦争 小学校 徴兵令 お雇い外国人 殖産興業 富岡製糸場 官営模範工場 文明開化 岩倉使節団 樺太・千島交換条約 大日本帝国憲法 条約改正 欧化政策 日英通商航海条約 ノルマントン号事件 三国干渉 日英同盟 日露戦争 日本海海戦 ポーツマス条約 製糸業と紡績業	近代文化 第一次世界大戦 シベリア出兵 ベルサイユ条約 国際連盟 ワシントン会議 都市の生活 文化の大衆化 世界恐慌 ロンドン海軍軍縮会議 国際連盟脱退 日独防共協定 三国防共協定 第二次世界大戦 日独伊三国同盟 日ソ中立条約 太平洋戦争 真珠湾攻撃 ミッドウェー海戦 東京大空襲 沖縄戦 ヤルタ会談 ポツダム宣言 原子爆弾（原爆） シベリア抑留	連合国軍総司令部（ＧＨＱ） 極東国際軍事裁判 日本国憲法 国際連合（国連） 特需（特殊需要）景気 サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約（安保条約） 北方領土問題 日ソ共同宣言 第五福龍丸 原水爆禁止運動 安保改定 沖縄の本土復帰 東京オリンピック 石油危機 経済摩擦 平和維持活動（ＰＫＯ） グローバル化 地球温暖化 京都議定書

「別紙２－３」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目　発行者　清　水】（中学校　社会　歴史的分野）

	古代まで	中世	近世	近代	現代
アジア諸国との関係を示す事項	イネ 儒教 金属器（青銅器・鉄器） 金印 邪馬台国 ５人の倭王 渡来人 仏教 唐 遣隋使 飛鳥文化 大宰府 白村江の戦い 藤原京 大宝律令 平城京 遣唐使 天平文化	日宋貿易 東大寺南大門 禅宗 宋銭 元寇（文永の役・弘安の役） 倭寇 勘合貿易（日明貿易） 琉球王国 朝鮮王朝 明銭 水墨画 平安時代の仏教 国風文化	朝鮮侵略（文禄の役・慶長の役） 桃山文化 朱印船貿易 日本町 朝鮮通信使 琉球 長崎貿易	日清修好条規 征韓論 江華島事件 日朝修好条規 台湾出兵 日清戦争 下関条約 義和団運動 台湾総督府 関東都督府 南満州鉄道株式会社 関東軍 統監府 韓国併合 朝鮮総督府 二十一か条要求 三・一独立運動 五・四運動 在日朝鮮人 満州事変 満州国 盧溝橋 日中戦争 柳条湖 南京大虐殺 大東亜共栄圏 大東亜会議 皇民化政策 創氏改名	日韓基本条約 日中国交正常化 日中共同声明 日中平和友好条約 北朝鮮による日本人の拉致事件 日朝首脳会談
その他の諸国との関係を示す事項	法隆寺		ポルトガル 石見銀山 鉄砲 南蛮貿易 キリスト教 天正遣欧少年使節 宣教師の国外追放 南蛮文化 キリスト教禁止令 長崎の出島 鎖国 実学の奨励 ロシアの接近 外国船の来航 異国船打払令 蘭学 錦絵	異国船打払令廃止 藩政の改革 開国 日米和親条約 日米修好通商条約 咸臨丸 尊王攘夷 富岡製糸場 模範工場 通貨・金融制度 殖産興業 文明開化 学校教育 岩倉使節団 樺太・千島交換条約 大日本帝国憲法 鹿鳴館 欧化政策 条約改正 ノルマントン号事件 三国干渉 日英同盟 日露戦争 ポーツマス条約 産業革命 都市 新たな学問と芸術の発展 第一次世界大戦 国際連盟 シベリア出兵 ベルサイユ体制 ベルサイユ条約 ワシントン体制 ロンドン海軍軍縮会議 外国への移住 新しい生活様式 世界恐慌 ファシズム 国際連盟脱退 第二次世界大戦 日独伊防共協定 日独伊三国同盟 日ソ中立条約 アジア太平洋戦争（太平洋戦争） 真珠湾攻撃 ミッドウェー海戦 東京大空襲 沖縄戦 ポツダム宣言 原子爆弾	連合国軍総司令部（ＧＨＱ） 極東国際軍事裁判（東京裁判） 日本国憲法 国際連合 レッドパージ 特需景気 サンフランシスコ平和条約 日米安全保障（日米安保）条約 日ソ共同宣言 領土（北方領土）問題 第五福竜丸事件 原水爆禁止世界大会 日米新安全保障条約 貿易摩擦 主要先進国首脳会議（サミット） オリンピック東京大会 石油危機 マンガ、アニメ 祖国復帰運動（沖縄の復帰） グローバル化 ＡＰＥＣ（アジア太平洋経済協力） 六か国協議 国連平和維持活動（ＰＫＯ）等協力法 テロ対策特別措置法（テロ特措法） イラク復興支援特別措置法

「別紙２－３」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目　発行者　帝　国】（中学校　社会　歴史的分野）

	古代まで	中世	近世	近代		現代
アジア諸国との関係を示す事項	儒教 仏教 稲作 青銅器や鉄器 金印 邪馬台国の卑弥呼 倭国と朝鮮半島の関係 ヤマト王権の支配の拡大 渡来人 遣隋使 飛鳥文化 白村江の戦い 遣唐使 大宰府と鴻臚館 大宝律令 平城京 大仏の造営 天平文化 密教と浄土信仰 国風文化	日宋貿易 禅宗 東大寺南大門 元寇（文永の役・弘安の役） 倭寇 勘合貿易 金印 朝鮮 琉球王国 アイヌ文化 宋銭 明銭 木綿 水墨画	東アジアの中継貿易 朝鮮侵略 三味線 朱印船貿易 日本町 唐人町 唐人屋敷 朝鮮通信使 琉球王国 アイヌ 儒教	日清修好条規 台湾出兵 江華島事件 征韓論 日朝修好条規 日清戦争 下関条約 義和団事件 韓国併合 朝鮮総督（府） 南満州鉄道株式会社 二十一か条要求 三・一独立運動 五・四運動 満州事変 満州国 抗日民族統一戦線 盧溝橋事件 日中戦争 南京虐殺事件 満蒙開拓団	大東亜共栄圏 皇民化政策 創氏改名 中国残留日本人孤児	在日コリアン 日韓基本条約 日中共同声明 日中平和友好条約 戦後補償 北朝鮮による日本人の拉致
その他の諸国との関係を示す事項			鉄砲 南蛮貿易 キリスト教 天正遣欧少年使節 宣教師の海外追放 南蛮文化 禁教 鎖国 出島 オランダ風説書 暦 享保の改革 田沼意次の政治 外国船の接近 異国船打払令 蘭学 浮世絵	フランス革命 欧米諸国の世界進出 外国船の来航 アヘン戦争 開国 日米和親条約 日米修好通商条約 生麦事件 薩英戦争 殖産興業 官営工場 富岡製糸場 徴兵令 文明開化 岩倉使節団 樺太・千島交換条約 日露和親条約 自由党 立憲改進党 大日本帝国憲法 欧米文化と伝統文化 欧化政策 条約改正 日英通商航海条約 ノルマントン号事件 三国干渉 日英同盟 日露戦争 ポーツマス条約 日本の工業化 海外移民 第一次世界大戦 シベリア出兵	ベルサイユ条約 国際連盟 ワシントン会議 大衆の文化 世界恐慌 国際連盟脱退 第二次世界大戦 日独伊三国同盟 日ソ中立条約 太平洋戦争（アジア太平洋戦争） 真珠湾攻撃 ミッドウェー海戦 沖縄 東京大空襲 ヤルタで会談 ポツダム宣言 原子爆弾 シベリア抑留	連合国軍総司令部（ＧＨＱ） 極東国際軍事裁判（東京裁判） 日本国憲法 国際連合（国連） 原水爆禁止運動 警察予備隊 第五福竜丸 朝鮮特需 サンフランシスコ平和条約 日ソ共同宣言 北方領土 シベリア抑留 日米安全保障条約（安保条約） 安保条約改定 東京オリンピック 沖縄の復帰 石油危機 先進国首脳会議（サミット） 貿易摩擦 南北問題 文化の大衆化 多様な文化 グローバル化 地球温暖化 京都議定書 非政府組織（ＮＧＯ） エルトゥールル号

「別紙２－３」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目　発行者　日　文】（中学校　社会　歴史的分野）

	古代まで	中世	近世	近代		現代
アジア諸国との関係を示す事項	仏教 儒教 稲作 青銅器や鉄器 金印 邪馬台国 かまど 中国・朝鮮との交流 渡来人 遣隋使 遣唐使 白村江の戦い 大宝律令 大宰府 飛鳥文化 天平文化 平城京 平安時代の仏教	日宋貿易 宋銭 元寇 倭寇 勘合貿易 朝鮮 琉球王国 禅宗 水墨画 東大寺南大門 国風文化	秀吉の朝鮮侵略 桃山文化 朱印船貿易 風説書 日本町 朝鮮通信使 琉球王国 アイヌ 長崎の貿易	日清修好条規 征韓論 江華島事件 日朝修好条規 台湾に出兵 日清戦争 下関条約 義和団事件 南満州鉄道株式会社 関東軍 韓国統監府 韓国併合 朝鮮総督府 二十一か条要求 五・四運動 三・一独立運動 朝鮮人殺害 満州事変	満州国 柳条湖 盧溝橋事件 日中戦争 南京事件 創氏改名 皇民化政策 大東亜共栄圏	日韓基本条約 共同声明 日朝平壌宣言 日中平和友好条約 北朝鮮から帰国した拉致被害者
その他の諸国との関係を示す事項	飛鳥文化		鉄砲 キリスト教 天正少年使節 南蛮貿易 南蛮文化 宣教師の国外追放 キリスト教の禁止 鎖国 出島 風説書 蘭学	欧米諸国の接近 異国船打払令 開国 日米和親条約 日米修好通商条約 薩英戦争 官営工場 富岡製糸場 教育 文明開化 岩倉使節団 樺太・千島交換条約 大日本帝国憲法 条約改正 ノルマントン号事件 三国干渉 日英同盟 日露戦争 ポーツマス条約 産業革命 新時代の文化芸術 第一次世界大戦 シベリア出兵 ベルサイユ条約 国際連盟 ワシントン会議 海軍軍縮条約 都市的生活 世界恐慌 ロンドン海軍軍縮条約 国際連盟脱退 第二次世界大戦 日独伊三国同盟 日ソ中立条約	太平洋戦争 真珠湾 ミッドウェー海戦 沖縄 本土空襲 ヤルタ会談 ポツダム宣言 原子爆弾 日本人の海外移民	国際連合（国連） 連合国軍総司令部（ＧＨＱ） 極東国際軍事裁判（東京裁判） 日本国憲法 財閥解体 原水爆禁止世界大会 サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約（日米安保条約） 北方領土問題 オリンピック東京大会 新しい安保条約 沖縄返還 主要先進国首脳会議（サミット） 石油危機 国連平和維持活動（ＰＫＯ） 非政府組織（ＮＧＯ） 国際環境会議（地球温暖化防止京都会議） グローバル化

「別紙２－３」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目　発行者　自由社】（中学校　社会　歴史的分野）

	古代まで	中世	近世	近代		現代
アジア諸国との関係を示す事項	水田稲作 仏教 金属器 金印 邪馬台国と卑弥呼 百済を助け高句麗と戦う 倭の五王 任那の滅亡 仏教伝来 帰化人（渡来人） 儒教 遣隋使 遣唐使 白村江の戦い 藤原京 大宝律令 平城京 和同開珎 大宰府 大仏造立 飛鳥文化 天平文化 平安仏教の新しい動き 国風文化	日宋貿易 元寇（文永の役・弘安の役） 金印 倭寇 勘合貿易（日明貿易） 日朝貿易 琉球王国 禅宗 東大寺南大門 綿 水墨画	朝鮮出兵（文禄の役・慶長の役） 朱印船貿易 日本町 中国との交易 朝鮮通信使 琉球王国 アイヌ	日清修好条規 台湾出兵 征韓論 江華島事件 日朝修好条規 日清戦争 下関条約 義和団事件 黄禍論 韓国統監府 韓国併合 朝鮮総督府 二十一か条要求 三・一独立運動 五・四運動 中国の排日運動 柳条湖事件 満州事変 満州国 南満州鉄道（満鉄） 関東軍 西安事件 南京事件 盧溝橋事件 日中戦争	大東亜共栄圏 大東亜会議 大東亜共同宣言 創氏改名	日韓基本条約 日中国交正常化 日中共同声明 日中平和友好条約 北朝鮮に拉致されて帰国した人たち
その他の諸国との関係を示す事項			鉄砲 キリスト教 南蛮貿易 天正遣欧少年使節 バテレン追放令 南蛮文化 キリスト教禁止令 出島 鎖国 オランダ風説書 蘭学 享保の改革 外国船の接近 異国船打払令 浮世絵	アヘン戦争 開国 日米和親条約 日米修好通商条約 薩英戦争 小学校 徴兵令 樺太・千島交換条約 岩倉使節団 殖産興業 官営工場 富岡製糸場 文明開化 条約改正 鹿鳴館 ノルマントン号事件 日英通商航海条約 大日本帝国憲法 三国干渉 日英同盟 日露戦争 日本海海戦 ポーツマス条約 大学と科学研究 西洋の美と伝統の美 第一次世界大戦 シベリア出兵 ベルサイユ条約	国際連盟 ワシントン会議 都市の生活 世界恐慌 国際連盟脱退 ロンドン軍縮会議 ＡＢＣＤ包囲網 第二次世界大戦 日独伊三国軍事同盟 日ソ中立条約 南部仏印進駐 ハル・ノート 大東亜戦争 真珠湾攻撃 ミッドウェー海戦 東京大空襲 沖縄戦 ヤルタ会談 ポツダム宣言 原子爆弾 シベリア抑留	連合国軍総司令部（ＧＨＱ） 東京裁判（極東国際軍事裁判） 日本国憲法 国際連合（国連） 朝鮮特需 日米安全保障条約（日米安保条約） サンフランシスコ講和条約 北方領土 日ソ共同宣言 日米安保条約の改定 東京オリンピック 万国博覧会 沖縄本土復帰 石油危機 文学と自然科学 アニメ 現代マンガ 国際社会における日本の役割 エルトゥールル号事件 国連平和維持活動（ＰＫＯ）協力法

「別紙２－３」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｄ　国際関係・文化交流を取り上げている項目　発行者　育鵬社】（中学校　社会　歴史的分野）

	古代まで	中世	近世	近代		現代
アジア諸国との関係を示す事項	稲作 金属器 金印 邪馬台国 倭の五王 帰化人（渡来人） 儒教 のぼりがま 仏教 イスラム教 遣隋使 白村江の戦い 大宰府 藤原京 飛鳥文化 白鳳文化 遣唐使 大宝律令 平城京 和同開珎 天平文化 大仏開眼 仏教の新しい動き	日宋貿易 宋銭 禅宗 元寇（文永の役・弘安の役） 倭寇 勘合貿易（日明貿易） 琉球王国 朝鮮国（李氏朝鮮） アイヌ 綿 水墨画 東大寺南大門	朝鮮出兵（文禄の役・慶長の役） 朱印船貿易 日本町 朝鮮通信使 琉球 アイヌ 新井白石の政治 享保の改革 長崎貿易	日清修好条規 台湾に出兵 征韓論 江華島事件 日朝修好条規 日清戦争 下関条約 義和団事件 黄禍論 日韓議定書 日韓協約 韓国統監府 台湾総督府 韓国併合 朝鮮総督府 南満州鉄道（満鉄） 二十一か条の要求 五・四運動 三・一独立運動 関東軍 張作霖爆殺事件 柳条湖事件 満州事変	抗日民族統一戦線 満州国 日中戦争 盧溝橋事件 南京事件 大東亜会議 大東亜共同宣言 大東亜共栄圏 創氏改名	日韓基本条約 中国との国交を正常化 日中共同声明 日中平和友好条約 拉致
その他の諸国との関係を示す事項	キリスト教		鉄砲 キリスト教 南蛮貿易 天正遣欧使節 バテレン追放令 南蛮文化 禁教 鎖国 オランダ風説書 長崎出島 蘭学 ロシアの接近 外国船の接近 異国船打払令 浮世絵	オランダ風説書 開国 日米和親条約 日米修好通商条約 生麦事件 薩英戦争 維新の内戦 義務教育制度 日露和親条約 樺太・千島交換条約 岩倉使節団 殖産興業 官営工場 富岡製糸場 文明開化 自由党 立憲改進党 大日本帝国憲法 欧化政策 鹿鳴館 条約改正 日英通商航海条約 ノルマントン号事件 三国干渉 日英同盟 日露戦争 日本海海戦 ポーツマス条約 新しい文学 芸術の動き お雇い外国人 第一次世界大戦	シベリア出兵 国際連盟 ベルサイユ条約 ワシントン会議 文化住宅 日本人移民 世界恐慌 ロンドン軍縮会議 国際連盟脱退 北部仏印進駐 第二次世界大戦 日独伊三国軍事同盟 日ソ中立条約 南部仏印進駐 ＡＢＣＤ包囲網 ハル･ノート 大東亜戦争（太平洋戦争） 真珠湾攻撃 ミッドウェー海戦 マリアナ沖海戦 沖縄戦 東京大空襲 ヤルタ会談 ポツダム宣言 原子爆弾 シベリア抑留 戦前・戦中の文化	連合国軍総司令部（ＧＨＱ） 極東国際軍事裁判（東京裁判） 日本国憲法 国際連合（国連） サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約（日米安保条約） 日ソ共同宣言 冷戦の進行 第五福竜丸事件 朝鮮特需 新安保条約 東京オリンピック 日本万国博覧会 石油危機（オイル・ショック） 沖縄本土復帰 戦後の文化 京都議定書 主要国首脳会議（サミット） アジア太平洋協力会議（ＡＰＥＣ） 北方領土などの領土問題 エルトゥールル号

「別紙２－４」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｆ　東京に関する歴史的事象を取り上げている内容】（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	古代まで	中世	近世	近代	現代
東書	弥生土器の発掘 五畿七道と国府	源平争乱の勢力範囲 北条氏による支配	日本橋の昔と今 江戸城の様子 江戸幕府開府と参勤交代 「将軍のおひざもと」１００万都市 昌平坂学問所 化政文化 名所江戸百景（大はしあたけの夕立） 蘐園塾 江戸のエコ社会 近世の交通と特産物 越後屋呉服店 近世の江戸 五街道の中心 金座・銀座 菱垣廻船、樽廻船の往復 目安箱の設置 江戸の市川団十郎 将軍家斉相撲観戦 化政文化	旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮） 桜田門外の変 江戸城明け渡し 東京遷都 文明開化の銀座通り 新橋・横浜間鉄道開通 小笠原諸島の領有決定 五日市憲法 帝国憲法発布の式典 帝国議会のようす 鹿鳴館 日比谷焼き打ち事件 交通と産業の発達 中国同盟会の結成 大学等の設立 国会議事堂を取り巻く民衆 投票所からあふれる人 浅草六区 関東大震災 東京のバスガール 浜口首相遭難 ラジオ放送の開始 金融恐慌 五・一五事件 二・二六事件 出陣学徒壮行会 東京大空襲	新宿の闇市 極東国際軍事裁判（東京裁判） 憲法公布の祝賀会 サンフランシスコ平和条約後の小笠原統治 第五福竜丸記念館 安保闘争 小笠原諸島返還 友好記念のパンダ 東京オリンピック 石油危機のトイレットペーパー売場 高度経済成長と公害問題（大気汚染）
教　出	弥生土器の発掘	承久の乱とその後の動き 北条氏による支配	名所江戸百景（大はしあたけの夕立） 江戸幕府開府と参勤交代 江戸図屏風に描かれた江戸城 朝鮮通信使の江戸到着 江戸の町の様子（江戸名所図屏風） 「将軍のおひざもと」 越後屋呉服店 湯島聖堂 昌平坂学問所 金座・銀座 東廻り航路、西廻り航路と廻船 江戸時代の産業と交通 芭蕉の旅の始まり 菱川師宣 目安箱の設置 伊能忠敬の学習 化政文化 リサイクル都市・江戸の町人 江戸に貸本屋	品川の台場跡 桜田門外の変 江戸での打ちこわし 新政府軍江戸占領 東京遷都 新橋・横浜間鉄道開通 洋風化する町並み 小笠原諸島の帰属 幕末社会の主な出来事（江戸大地震・洪水・大火） 五日市憲法 鹿鳴館 日比谷焼き打ち事件 工場や鉱山と鉄道の広がり 高等教育の設立（東大など） 護憲運動（議事堂を取り囲む） 投票所に並ぶ人々 大正時代の銀座通り 関東大震災 地下鉄開通 奉安殿への「捧げ銃」（東京中目黒国民学校） 銀行に押し掛けた人々（金融恐慌） 大日本帝国憲法発布式 帝国議会の様子 大学等の設立 中国同盟会の結成 浜口首相狙撃事件 五・一五事件 二・二六事件 万世橋の移り変わり 南京占領を祝う 標語のビル掲示 学徒出陣壮行会 東京大空襲	国会議事堂周辺のアメリカ兵舎 極東国際軍事裁判 闇市 憲法公布記念式典（皇居前） サンフランシスコ平和条約と小笠原諸島 安保条約反対運動 東京のごみ処分場 東京オリンピック トイレットペーパ売り場に殺到 史上最高値を記録した東京株式市場 第五福竜丸展示館

「別紙２－４」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｆ　東京に関する歴史的事象を取り上げている内容】（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	古代まで	中世	近世	近代	現代
清　水	大森貝塚 大塚遺跡や弥生町遺跡 弥生土器の発掘 大型古墳の分布 平将門の首塚	室町時代の都市と航路 上杉氏による支配	北条氏による支配 江戸幕府開府と参勤交代 江戸時代の産業（佃煮、浅草海苔、黄八丈） 江戸時代の交通 大消費都市江戸 越後屋の店内 日本橋の様子 江戸の花見 綱吉の江戸市中取締り 湯島聖堂での儒学の講義 元禄時代の民家（綱島家） 赤穂事件 小石川養生所、目安箱の設置 町火消 江戸の打ちこわし 昌平坂学問所 化政文化の中心（江戸の絵草子屋・歌舞伎） 江戸の長屋 五街道の中心 廻船 市川団十郎の人気	桜田門外の変　鹿鳴館 東京遷都　大学等の設立 鉄道開通（新橋・横浜間）　第一回メーデー 文明開化の銀座通 江戸から東京へ（地図や風景の新旧比較） 五日市憲法 憲法発布の東京の様子　五・一五事件 日比谷焼き打ち事件　二・二六事件 都市のくらし（四谷付近）　関東大震災のときの自警団 普通選挙運動（日比谷公園） 関東大震災 震災後の東京の復興 大正時代の東京駅 浅草花やしき 銀座の興亜奉公日 東京大空襲 東京大空襲を体験した人の回想 慶喜の引退と勝海舟による講和 小笠原諸島の日本領有 憲法発布式典 第２回帝国議会のようす	極東国際軍事裁判（東京裁判） 焼けあとでの生活 日本国憲法公布記念祝賀都民大会 サンフランシスコ平和条約（小笠原は米軍施政下に） 第五福竜丸の展示 砂川事件 原水禁世界大会と杉並区の主婦 安保闘争 オリンピック東京大会 地下鉄サリン事件
帝　国	大森貝塚、中里貝塚 弥生土器の発掘 主な古墳の分布 防人の出身地 都までかかる日数	平氏による支配 武士団の分布 鎌倉街道 応仁の乱による文化拡大 上杉氏による支配 北条氏による支配	北条氏の勢力範囲 江戸幕府開府と参勤交代 １８世紀江戸の町の様子 江戸時代の交通 「将軍のおひざもと」 江戸での打ちこわし 化政文化 隅田川花火 「百万都市・江戸」（環境都市） 越後屋 湯島に聖堂 「奥の細道」出発の地 歌舞伎の劇場 市川団十郎の人気 東廻り航路、樽廻船、菱垣廻船 五街道の起点日本橋 目安箱、町火消、養生所の設置	桜田門外の変　東京大空襲 江戸城明け渡し　ぜいたくをいましめる銀座の看板 東京遷都　空襲の被害 銀座をえがいた錦絵　「満州」移民数 小笠原諸島の日本領宣言 新橋・横浜間鉄道開通 五日市憲法 大学等の設立 憲法発布のようす 帝国議会 鹿鳴館 日比谷焼き打ち事件 中国同盟会の結成 明治時代の産業と交通（東京の鉄道・工場） 海外移民数 新宿駅のサラリーマン 関東大震災 地下鉄開通 創建当時の東京駅 五・一五事件 二・二六事件 国会議事堂周辺にバリケードを作る兵士	1948年の渋谷駅周辺のようす 東京裁判 サンフランシスコ平和条約と小笠原諸島 安保闘争 東京オリンピック 日中友好のパンダ来日

「別紙２－４」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｆ　東京に関する歴史的事象を取り上げている内容】（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	古代まで	中世	近世	近代		現代
日　文	前方後円墳の分布 渡来人と狛江市 都までかかる日数 武士の反乱と成長	承久の乱の勢力図 北条氏による支配	江戸のようす（江戸図屏風） 江戸幕府開府と参勤交代 江戸の町と朝鮮通信使 図版特集・江戸のようす 主な新田開発と鉱山 江戸時代の交通網と主な特産物 「将軍のおひざもと」 江戸に見られるくらしのくふう 江戸に目安箱をもうける 化政文化 歌舞伎の様子 聖堂学問所 昌平坂学問所 五街道の中心 菱垣廻船と樽廻船 江戸日本橋生まれの青木昆陽 江戸に出て伊能忠敬が学ぶ	天皇の江戸入城 桜田門外の変 江戸城明けわたし 東京遷都 大学等の設立 新橋・横浜間鉄道開通 銀座のれんが街 東京郵便局の窓口 コレラの流行～東京司薬場・神田下水 小笠原諸島領有 町田市青木家屋敷（自由民権運動） 五日市憲法 民権結社・政社の数 帝国憲法の発布式 鹿鳴館 日比谷焼き打ち事件 中国同盟会結成 影山家の記録写真 米騒動の広がり 普通選挙制を求める演説会 都市的生活 関東大震災 五・一五事件 二・二六事件 本土空襲	東京大空襲 帝国議会のようす 大学生の壮行会	青空教室 チャンバラごっこ 集団就職 バラック 大規模な集合住宅 極東国際軍事裁判（東京裁判） 食糧メーデー 日本国憲法公布の祝賀会 サンフランシスコ平和条約と小笠原諸島 オリンピック東京大会 安保反対デモ 東京都江戸東京博物館
自由社	代々木八幡遺跡 渋谷城跡 弥生土器の発掘 主な武士団の分布	室町時代の交通・特産品 上杉氏による支配	北条氏による支配 江戸幕府開府と参勤交代 渋谷区の隠田水車、富士塚、庚申塚 江戸時代の渋谷区地図 江戸城の様子 家康による江戸の町づくり 湯島聖堂 赤穂事件 江戸時代の交通路と都市 「将軍のお膝もと」 荻生徂徠の蘐園塾 町火消し 貸本屋・瓦版の流行（大消費都市） 朝鮮通信使の来朝 菱垣廻船と樽廻船 五街道の中心 目安箱の設置 昌平坂学問所 化政文化の中心 伊能忠敬が学ぶ	明治時代の渋谷区地図 桜田門外の変 江戸城無血開城 東京遷都 天皇の江戸入城 東京府の設置 小笠原諸島の日本領決定 新橋～横浜間鉄道開通 文明開化の築地 鹿鳴館 大日本帝国憲法の発布 大日本帝国憲法祝賀の様子 第一回帝国議会 日比谷焼き打ち事件 アメリカの砲艦外交と新橋駅の様子 東京でのガラスの普及 中国同盟会の結成 渋沢栄一の東京養育院 大学等の設立 関東大震災	地下鉄開通 三越開店 五・一五事件 二・二六事件 大東亜会議開催 学徒出陣壮行大会 東京大空襲	１９４５年の東京 ２００５年の東京 東京裁判 安保闘争 東京オリンピック 昭和天皇崩御の皇居前の様子

「別紙２－４」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｆ　東京に関する歴史的事象を取り上げている内容】（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	古代まで	中世	近世	近代		現代
育鵬社	前方後円墳の分布 弥生土器の発掘 大島町の地層	室町時代の主な交通路と特産品 上杉氏による支配 北条氏による支配 地方の戦乱と武士団	江戸図屏風による日本橋の様子 江戸開府と参勤交代 江戸図屏風による江戸城の様子 朝鮮通信使の歓迎 湯島聖堂 生類憐みの令と江戸の人々 江戸時代の交通と都市と産物 100万都市、江戸 玉川上水 武士道と忠臣蔵 江戸のエコロジー 越後屋 昌平坂学問所 化政文化の江戸（蔦屋、歌舞伎） 家康による江戸の町づくり 五街道の中心 菱垣廻船と樽廻船 江戸の市川団十郎 目安箱の設置 江戸町奉行大岡忠相	桜田門外の変 江戸城無血開城 東京遷都 江戸城が皇居に 東京開成学校の開校 小笠原諸島の日本領通告 モース、大森貝塚発見 大久保、紀尾井坂で遭難 文明開化の築地 新橋・横浜間の鉄道開通 全国に広がった鉄道路線 五日市憲法 憲法発布を祝う人々 鹿鳴館 大日本帝国憲法の発布 第１回帝国議会 日比谷焼き打ち事件 大学等の設立 天璋院篤姫、津田梅子（寛永寺、津田塾大学） レンガ造りの東京中央停車場 地下鉄開通 昭和初期の家族生活 浅草のようす 衆議院の門前に押し寄せた民衆 関東大震災 町を歩く若い女性 浜口首相東京駅で遭難 五・一五事件 二・二六事件	幻の東京オリンピック 大東亜会議開催 学徒出陣壮行大会 東京大空襲 敗戦当日の皇居の様子	極東国際軍事裁判（東京裁判） 憲法公布の祝賀大会 東京裁判の法廷 安保闘争 東京タワー 東京オリンピック ひばりが丘団地 昭和天皇崩御の日の皇居前広場の人々 沖縄本土復帰記念式典

「別紙２－５」　【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　ｇ　言語活動を取り上げている事例の内容】　（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	項　目	古代まで	中世	近世	近代	現代	合計
東　書	・説明（説明する、発表するなど）	11	10	8	22	3	54
	・伝え合い（話し合う、意見交換など）	1	1	1	2	1	6
	・要約（まとめる、整理する、箇条書きにする等）	3	1	9	15	7	35
	・その他（年表・地図等）	0	0	0	0	0	0
	計	15	12	18	39	11	95
教　出	・説明（説明する、発表するなど）	13	11	12	36	8	80
	・伝え合い（話し合う、意見交換など）	0	2	1	3	2	8
	・要約（まとめる、整理する、箇条書きにする等）	2	4	4	7	4	21
	・その他（年表・地図等）	0	1	1	3	1	6
	計	15	18	18	49	15	115
清　水	・説明（説明する、発表するなど）	0	0	0	1	1	2
	・伝え合い（話し合う、意見交換など）	0	1	0	0	1	2
	・要約（まとめる、整理する、箇条書きにする等）	11	7	13	20	6	57
	・その他（年表・地図等）	3	1	2	2	0	8
	計	14	9	15	23	8	69
帝　国	・説明（説明する、発表するなど）	3	1	3	7	1	15
	・伝え合い（話し合う、意見交換など）	4	4	5	9	3	25
	・要約（まとめる、整理する、箇条書きにする等）	2	6	3	11	1	23
	・その他（年表・地図等）	1	1	0	1	0	3
	計	10	12	11	28	5	66
日　文	・説明（説明する、発表するなど）	13	10	11	17	3	54
	・伝え合い（話し合う、意見交換など）	0	0	0	1	1	2
	・要約（まとめる、整理する、箇条書きにする等）	4	3	7	17	7	38
	・その他（年表・地図等）	0	0	0	2	0	2
	計	17	13	18	37	11	96
自由社	・説明（説明する、発表するなど）	1	0	3	0	0	4
	・伝え合い（話し合う、意見交換など）	1	2	2	2	2	9
	・要約（まとめる、整理する、箇条書きにする等）	3	3	1	4	1	12
	・その他（年表・地図等）	0	0	0	0	0	0
	計	5	5	6	6	3	25
育鵬社	・説明（説明する、発表するなど）	0	0	0	0	0	0
	・伝え合い（話し合う、意見交換など）	1	1	0	2	0	4
	・要約（まとめる、整理する、箇条書きにする等）	1	1	2	2	2	8
	・その他（年表・地図等）	1	1	1	2	1	6
	計	3	3	3	6	3	18

「別紙２－６」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　我が国の領域をめぐる問題の扱い】　（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
東　書	・〔本文〕北方領土は、ソ連によって占拠されました。欄外〔注〕北方領土は、千島列島南部の国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島からなります。(p226) ・〔注〕このとき日本は、北方領土について日本固有の領土であると主張しましたが、ソ連が応じなかったため、平和条約を結ぶことができませんでした。ソ連の解体後も、北方領土を占拠しているロシア連邦との間で、解決に向けた努力が続けられています。(p234)		
教　出	・〔本文〕ソ連とは、北方領土問題が未解決のまま、1956年、日ソ共同宣言に調印して国交を回復しました。〔写真〕「北海道の東端から見た北方領土」手前は、根室市の納沙布岬です。ここから見える歯舞群島のいちばん近い島までは、４ｋｍほどしかありません。〔注記〕ソ連が調印を拒否したことから、千島の帰属については平和条約で決められませんでした。歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方四島は、わが国固有の領土であり、日本はこれまでソ連に対して返還を要求してきました。ソ連の解体後は、ロシア連邦と交渉を続けており、これを北方領土問題といいます。(p238～239) ・〔歴史の窓〕現在、ロシア連邦により不法に占拠されている北方領土（北海道）については、日本への返還を求める交渉が続けられていますが、いまだに実現していません。(p251)	・〔歴史の窓〕北方領土とともに、竹島（島根県）や尖閣諸島（沖縄県）も日本固有の領土です。日本海に位置する竹島については、韓国との間に、その領有をめぐって主張に相違があり、未解決の問題になっています。(p251)	・〔歴史の窓〕（左の記述に続いて）一方、東シナ海に位置する尖閣諸島については、中国がその領有を主張しています。(p251)
清　水	・〔地図〕四島の島名を明記。(p178) ・〔本文〕ソ連とは1956年に日ソ共同宣言を発表し、領土（北方領土）問題を残したまま、国交を回復した。(p255)		
帝　国	・〔本文〕1956年には、鳩山一郎内閣がソ連と日ソ共同宣言を調印し、北方領土問題は未解決のまま、戦争状態の終了を宣言し、国交を回復しました。(p234) ・〔注〕日本の国土は、ポツダム宣言によって、本州・北海道・九州・四国とその周辺の島々に限られました。ソ連が占領した国後島・択捉島・歯舞群島・色丹島の北方四島（北方領土）もそれにふくまれていましたが、ソ連は国交回復後も返還せず、未解決のままになっています。ソ連解体後は、交渉の相手はロシア連邦に引き継がれています。〔地図〕「日本の戦後の国境」中に『北方領土（ロシアと係争中）』(p235)	・〔地図〕「日本の戦後の国境」の中に「竹島」(p235)	
日　文	・〔注〕日本は北方領土（国後島・択捉島・歯舞群島・色丹島）は日本固有の領土であると主張しましたが、ソ連は応じませんでした。北方領土問題については、現在もロシア連邦と交渉を進めています。(p255) ・〔地図〕「日本への祖国復帰と近隣諸国との関係」の中に「北方領土未解決」(p259)		
自由社	・〔地図・注記〕地図中に四島を示す。歯舞、色丹、国後、択捉の北方4島は、この交換条約以前から日本領として確定していた。(p166) ・〔本文〕ソ連は、北方領土の国後・択捉島などを不法占拠しているため、日ソ間では平和条約を締結できず、1956年10月に日ソ共同宣言で戦争状態を終結し、国交を回復した。(p250)		
育鵬社	・〔注〕ソ連軍は終戦後に択捉島以南に侵攻し、ソ連がロシアになった今日に至るまで不法占拠している（北方領土問題）。(p221) ・〔本文〕ロシアに不法占拠されたままの北方領土などの領土問題や、北朝鮮の工作員に多くの日本人が拉致された事件、中国の軍事力拡大に伴う問題などの解決が急がれています。(p246)		

※　我が国の領域をめぐる問題として、ここでは「北方領土」及び「竹島」にかかわる記述の概要について調査する。
　「その他」については、「北方領土」及び「竹島」以外で、我が国の領域をめぐる問題の扱いについて、特記すべき事項があれば記載する。

「別紙２－７」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　神話・伝承を知り、日本の文化や伝統に関心をもたせる資料】（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	取り上げている資料名	記述の概要（内容・分量等）
東　書	・〔本文〕(p32) ・〔本文〕(p43)	・「古墳にえがかれた絵や、のちにまとめられた神話などから、死後の世界についての考え方を知ることもできます。国のおこりや大和政権の王たちについての神話や伝承も、しだいに形づくられていきました。」（６行） ・「神話や伝承、記録などをもとにまとめた歴史書の『古事記』」と『日本書紀』、地方の国ごとに、自然、産物、伝説などを記した『風土記』がつくられました。」（９行）
教　出	・〔コラム「歴史の窓『古代の人々の信仰』」(p23) ・〔本文〕と〔注〕(p33)	・「高い木や山などを神々の宿るところとしてあがめるようになりました。」（５行） ・〔本文〕「神話や国の成り立ちを記した『古事記』・『日本書紀』という歴史書や、郷土の地理・言い伝えなどを国ごとに記した『風土記』がつくられました。」（４行） 〔注〕「神々が国土をつくった「国生み」の神話や、大国主神と因幡の素うさぎの物語などがあります。」
清　水	・〔本文〕と〔コラム「神話と伝承」〕(p43) ・〔特集『深める歴史・神話と伝承〕「古事記」、神楽の写真、出雲大社と猪目洞窟の写真(p44～45)	・〔本文〕「神話や地名などにまつわる伝承・記録などを、天皇を中心とした国の成り立ちとしてまとめなおし、８世紀はじめには『古事記』・『日本書紀』〔『記紀』〕として完成した。」（７行） 〔コラム〕神話や伝承には、古代日本人のもののみかたや考え方、願い等を知ることができる旨の記述。（４行） ・「風土記」提出の命令、「風土記」の神話と「記紀」神話について記述がある。具体例として「出雲国風土記」の神話と伝承で、出雲大社及び猪目洞窟の写真とともに宇賀郷の地名の由来、出雲国の成り立ち、黄泉の国への入り口の記述がある。（見開き２ページ全体）
帝　国	・〔本文〕と〔コラム「地域史『古代の神話』」記紀や神事・神楽について(p37)	・〔本文〕「『古事記』や『日本書紀』という歴史書がつくられました。これは、伝承や説話・神話をもとに、天皇の地位や権力の正統性を明らかにする目的をもって書かれました。産物や地名の由来・伝承などを地方の国ごとにまとめた『風土記』もつくられました。」（５行） 〔コラム〕『古事記』『日本書紀』の神話に登場する神々の多くが各地の神社にまつられていること、神話が神事や神楽として残っていること、高千穂神楽でアマテラス、石見神楽でスサノオなどが登場することを紹介。（１/４ページ）
日　文	・〔コラム「古代史＋α『古墳と信仰』〕(p31) ・〔本文〕と〔コラム「古代史＋α『日本の神話』〕(p45)	・「稲作が広まるにつれ、稲そのものや太陽や水、また、山・川・海や巨木・巨岩、そして蛇・鳥など、おそれ敬うべきものを人々は神としてあがめました。それらの神への信仰は、祭りをした遺跡や遺物、のちにまとめられた神話伝承などからわかります。」（９行） ・〔本文〕「国のおこりや古代の国の中心となる天皇の由来などを説明するために、『古事記』や『日本書紀』などの歴史書がつくられました。このほか、全国の国ごとに、自然・産物・地理や伝説などをまとめた『風土記』もつくられました。」（５行） 〔コラム〕神話は、国土の成り立ち、農産物・海産物の生産、国の統一についての物語であること、また、日本の神話は、アジア太平洋諸国の神話と共通するものがあることなどについて記述。(11行)
自由社	・〔本文１単元〕『神話が語る国の始まり』　天照大神をまつる伊勢神宮の内宮正宮の写真、岩屋にこもった天照大神をよび出そうとする神々の絵、神々の系図(p42～43) ・〔コラムもっと知りたい「国譲り神話と古代人」〕　出雲大社の伝承に基づく復元模型、出雲の国から出土した銅鐸の写真(p44～45)	・「『古事記』『日本書紀』に書かれた神話・伝承」（要約）　「古事記」や「日本書紀」の中で語られる神話・伝承は、国土や自然、社会の成り立ちを信仰なども取り入れながらまとめたものと考えられ、神々が織りなす物語は、大和朝廷の始まりにつながっているということ等が記述されている。（10行） 「イザナキ・イザナミとアマテラスの誕生」「天孫降臨と神武天皇」（要約）　「国生み神話」「国ゆずり神話」「天孫降臨神話」が系図とともに取り上げられている。脚注の中で、「古事記」「日本書紀」が伝える大和朝廷の始まりとして、イザナキ、イザナミの国生み、最高神アマテラスの誕生、オオクニヌシの国ゆずり、ニニギの命の天孫降臨、神武天皇東征について記述されている。（１＋１/３ページ） ・「大国主神の『国譲り』」、古代日本人のものの考え方などが取り上げられている。（見開き２ページ）
育鵬社	・〔読み物コラム「日本人の宗教観」〕(p34) ・〔本文〕(p44) ・〔読み物コラム「神話に見るわが国誕生の物語」〕天岩屋戸の絵、神楽の写真、出雲大社と伊勢神宮の写真等(p46)	・「わが国固有の宗教・神道の特色」について説明し、日本人の宗教観は「古事記」では「八百万の神」と表現されていること、「外来文化を取り入れてゆく寛容さ」等について紹介。（１ページ） ・「・・・『古事記』は民族の神話と歴史として伝えられているものを記録した、文学的な価値の高い物語であり、『日本書紀』は国家の正史として歴代の天皇とその歴史が年代順に記されたもの・・・地方ごとに伝説や地理、産物をなどを調べさせ、『風土記』を編集させました。」（10行） ・「日本の神々の物語」「三種の神器と神武天皇」「伝説の英雄が活躍する神話」が取り上げられている。（見開き２ページ）

「別紙２－８」【（１）内容　イ　調査項目の具体的な内容　北朝鮮による拉致問題の扱い】（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	扱い方（本文・コラム・写真）	取り上げている項目	記述の概要
東　書	本文、写真、注記(p240)	第7章現代の日本と世界 第2節新たな時代の日本と世界 2 変化の中の日本	（本文）「多数の日本人を不法に拉致したことが明らかになった北朝鮮との関係も難しい問題です。」 （写真）拉致問題（2002年10月15日） （注記）「被害者のうち5人が2002年に、その家族が2004年に北朝鮮から帰国しましたが、いぜんとして問題は解決されておらず、国交正常化の動きも進んでいません。」
教　出	本文、写真(p251)	第8章　現代の日本の世界 3. 冷戦の終結とこれからの日本 10. 隣国と向き合うために	（本文）2002年、日本の小泉純一郎首相が北朝鮮を訪問して、日朝首脳会談を行い、両国は国交の正常化を目ざす日朝平壌宣言に署名しました。会談で、北朝鮮側は日本人拉致の事実を認めて謝罪し、まもなく一部の拉致被害者の帰国が実現しました。しかし、いまだに行方のわからない被害者も多くいるため、日本政府は、その消息と帰国を求める交渉を続けています。 （写真）北朝鮮から帰国した拉致被害者（2002年）
清　水	注記(p265)	第6章　現代の日本と世界 第2節　冷戦下の世界と日本の経済成長 3　沖縄の復帰、中国・朝鮮との関係	（注記）1991年に両国による国交正常化のための交渉がはじめられたが、中断した。2002年9月、はじめて日本の首相が訪朝して日朝首脳会談がおこなわれ、交渉が再開されたが、北朝鮮による日本人の拉致（むりやり連れ去ること）事件が解決されていないことや、北朝鮮の核問題もあって交渉は進んでいない。
帝　国	本文、写真、注記(p244)	第6部現在に続く日本と世界 第3章これからの日本と世界 1 グローバル化が進む社会	（本文）・・・40年近く続いた55年体制が終わりました。このなかで北朝鮮による日本人の拉致問題が明らかになるなど、近隣諸国との関係には多くの課題もありますが、その重要性はますます高まっています。 （写真）拉致被害者の帰国 （注記）北朝鮮によって日本から拉致された被害者のうち5名が、2002年、24年ぶりに帰国しました。その他の被害者のさらなる情報開示・帰国が求められています。
日　文	注記(p258) 写真、注記(p263)	第6編現代の日本と世界 第2節国際化する世界と日本 2 日本を取りまく国際関係 4 21世紀と日本の役割	（注記）「・・・この会談のなかで、北朝鮮側が日本人の拉致の事実を認めました。」 （写真）北朝鮮から帰国した拉致被害者（2002年） （注記）「消息が明らかでない拉致被害者も多く、この問題は現在も未解決のままです。」
自由社	写真、注記(p263)	第6章現代の日本と世界 第2節高度経済成長と冷戦の終結 90 冷戦の終結と共産主義の崩壊	（写真）北朝鮮に拉致されて帰国した人たち （注記）1970年代から日本海側を中心に、一般市民が突然行方不明になる事件が多発していた。2002年9月、平壌に出向いた日本の小泉首相に対し、北朝鮮は日本人を拉致した事実を認めた。その後、拉致被害者の一部は帰国したが、しかし、日本政府は認定していないものの、今なお拉致された可能性もある多数の日本人が消息不明で、問題は未解決だ。
育鵬社	本文、写真、注記(p246)	第6章現代の日本と世界 第2節経済大国・日本の国際的役割 83 冷戦の終結と日本の役割	（本文）「・・・北朝鮮の工作員に多くの日本人が拉致された事件・・・などの解決が急がれています。」 （写真）北朝鮮に拉致されて帰国した人たち（2002.10.15） （注記）2002（平成14）年９月、訪朝した小泉純一郎首相に対し、北朝鮮は日本人を拉致した事実を認めた。その後、拉致被害者の一部は帰国したものの、今なお拉致されたとされる多数の日本人の消息が不明であり、問題は解決していない。

「別紙３」　【（２）構成上の工夫】　（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	構成上の工夫
東　書	【資料等の活用と作業的、体験的な学習活動】 ・資料活用の技能を習得するための手引きとなる【歴史スキルアップ】を設けている。(p53) 【適切な課題を設けて行う学習】 ・各時代のはじめに、写真や絵画資料で時代をイメージする学習を行い、終わりに人物カードや歴史新聞、比較表等の学習活動を行う【この時代の特色をとらえよう】の頁を設け、学習のまとめとして、ディスカッション、ディベートの学習活動を提示している。(p57,p87) 【発展的な内容の扱い】 ・各節ごとに、単元の学習をより詳しく明らかにする【深めよう】という頁を設けている。(p86) 【コンピュータや情報通信ネットワークの活用】 ・第１章「歴史のとらえ方」、３歴史の調べ学習をするには・・・で、インターネットを利用した学習活動が【歴史スキルアップ】の項に提示されている。(p16)
教　出	【資料等の活用と作業的、体験的な学習活動】 ・見開きごと（１単位時間）に、資料を読み取ったり、考えを深めたりする学習活動を提示した【読み解こう】という項を設けている。(p37) 【適切な課題を設けて行う学習】 ・各時代のはじめに、その時代を代表する遺跡の写真や絵画資料を掲載し、終わりに時代の移り変わりを年表や地図、資料でまとめる【学習のまとめと表現】の頁を設け、その時代の終わりの写真や絵画資料を掲載し、次の時代との相違点、連続性を考える学習活動として【時代の変化に注目しよう！】の項を設けている。(p47,80) 【発展的な内容の扱い】 ・【発展】という項目で、さらに学習したいときに取り組める題材が提示されている。(p16) 【コンピュータや情報通信ネットワークの活用】 ・「未来をひらくために」の社会の変化のなかでインターネット、電子メール、携帯電話について記述している。(p254)
清　水	【資料等の活用と作業的、体験的な学習活動】 ・各時代に、資料・絵画資料・グラフ・地域調査で作業的・体験的な学習活動を提示する【深める歴史】の頁を設けている。(p68) 【適切な課題を設けて行う学習】 ・各章の終わりに【まとめてみよう】という頁があり、その時代の学習の整理とまとめを行う学習活動を設けている。(p88) 【発展的な内容の扱い】 ・各章ごとに【深める歴史】の頁が設けられ、発展的な内容が記述されている。(p138) 【コンピュータや情報通信ネットワークの活用】 ・【深める歴史】の項で、インターネットの検索の注意点、パワーポイントのまとめでコンピュータを利用し学習する際の注意点・工夫について記述している。(p141,143)
帝　国	【資料等の活用と作業的、体験的な学習活動】 ・各章の終わりに、作業を通して時代の要点を習得する「チェック」と資料を活用して時代の特色を明確にするための「トライ」という項を設けている。(p43) 【適切な課題を設けて行う学習】 ・各時代の始めに、時代を大観する【タイムトラベル】という頁を、終わりに時代の特色を考察する【学習のまとめ】の頁を設けている。(p46,78) 【発展的な内容の扱い】 ・歴史における、自然とのかかわりや、人権・福祉・教育などを紹介する【時代末コラム】という頁を設けている。(p80) 【コンピュータや情報通信ネットワークの活用】 ・巻末の【地域調査・まとめ発表マニュアル】で専門の情報を集めたり、調べたことを紹介したりする方法の一つとして、インターネットの利用を提示している。(p251)

「別紙３」　【（２）構成上の工夫】　（中学校　社会　歴史的分野）

発行者	構成上の工夫
日　文	【資料等の活用と作業的、体験的な学習活動】 ・見開きごと（１単位時間）に、地図・図版・資料等を考察する学習活動を提示した【？コーナー】という項を設けている。(p66) 【適切な課題を設けて行う学習】 ・各時代ごと、導入ページで、時代を概観したり、前の時代と比較したりして、時代の特色をとらえていく学習のねらいを定め、まとめのページで各時代の特色を考える【学習の活用　とらえよう！時代の特色】の頁を設けている。(p58,92) 【発展的な内容の扱い】 ・各編ごとに歴史の学習をはば広く豊かにする【歴史を掘り下げる】という頁を設けている。(p82) 【コンピュータや情報通信ネットワークの活用】 ・地域調べを行う際に、インターネットを利用した学習活動を提示している。(p46)
自由社	【資料等の活用と作業的、体験的な学習活動】 ・時代を代表する絵画や資料を考察する学習活動を、章の最初の頁に設けている。(p79) 【適切な課題を設けて行う学習】 ・各時代の終わりに、時代の特色を考える【〇〇とはどんな時代か】の頁を設けている。(p103) 【発展的な内容の扱い】 ・各時代に、本文に簡潔に書いている内容を、より詳しく発展させた歴史読み物【もっと知りたい】、【人物クローズアップ】、【外の目から見た日本人】という頁を設けている。(p84) 【コンピュータや情報通信ネットワークの活用】 ・序章の調査活動において、インターネットを用いた調査について提示し、利用に際しての注意点を記載している。(p13)
育鵬社	【資料等の活用と作業的、体験的な学習活動】 ・古代、近世、現代において、文化遺産等を調べる【課題学習】という頁を設けている。(p35) 【適切な課題を設けて行う学習】 ・各時代のはじめに、【歴史絵巻】の項を設けるとともに、終わりに時代の特色を考える【まとめ】の頁を設けている。(p61,86) 【発展的な内容の扱い】 ・各時代に、出来事や人物を詳しく発展させた【読み物コラム】【人物コラム】という頁を設けている。(p84) 【コンピュータや情報通信ネットワークの活用】 ・調べ学習に役立てるためのホームページアドレス一覧として、巻末に【インターネットを役立てよう】という頁を設けている。(p262)